

四國地方地盤變動調查報告書 第九集(災害並復旧狀況)

四國地方地盤變動調查報告書

第 九 集

(災 害 並 復 旧 狀 況)

昭 和 2 6 年 7 月

四國地方經濟復興開發委員會
地盤變動調查專門委員會

目 次

南海地震及び地盤変動による被害並に復旧状況及び被害分布について

昭和24年度現在に於ける四国地方の地盤変動量分布について

第一章	現地に見る南海地震及びそれに伴う地盤変動被害.....	1
前	書.....	1
徳島	県.....	1
香川	県.....	11
愛媛	県.....	23
高知	県.....	47
第二章	各事業別被害並に復旧状況及び被害分布	57
1	総括.....	57
2	塩田.....	61
3	河川及び砂防	63
4	道路.....	65
5	都市.....	67
6	海岸.....	69
7	農耕地.....	71
8	漁港.....	73
9	港湾.....	75
第三章	各縣別被害状況及び復旧状況	77
1	徳島県.....	77
2	香川県.....	91
3	愛媛県.....	104
4	高知県.....	130
5	鉄道.....	141

- 1 -

第一章 現地に見る南海地震及び それに伴う地盤變動被害

まえがき

昭和21年12月21日に発生した南海大地震は四国全域に激甚な災害をもたらし、爾來関係各機関は全力をあげてこれが復旧に努力したのであるが、その復旧半ばにして当地方一帯に地盤の大規模な沈降隆起が発見され、耕地、塩田、港湾、河川等々諸施設に甚大な被害を生じ、然も現在尙増加の一途を辿っていると言はれる。

この地盤變動に対し合理的、総合的な対策を樹立するために昭和23年9月各県関係各出先機関が相図り、その根本的且つ徹底的な調査と究明を計ることに決し四国地方経済復興開発委員会に調査を委託した。本委員会では早速その中に地盤變動調査専門委員会を設置し、爾來その原因、実態の把握を目的とする第一部基本調査に努力をつづけて来た。その結果は第一編より第八編に至る四国地方地盤變動調査報告書により発表されて来た。

以上により一應基本調査の結論を見、引続いて全般的な災害対策の樹立、復旧対策事業の遂行を実施することとなつた。

今回この南海地震及び地盤變動の諸施設面における被害の実態お知り、合理的災害対策の樹立に資するため建設省中国四国地方建設局係官を現地に派遣し、被害地の主要部分につき直接限に見た被害の概況を調査せしめ報告することとした。

以下市郡別に被害概況、復旧状況、対策につき概説し、尙被害顯著な町村については詳細を述べることにする。

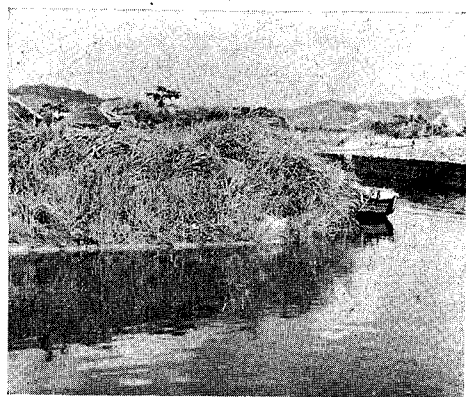
徳 島 縣

A. 鳴 門 市

變動状況一鳴門市及び島嶼部の平均沈下量は平均48cmと云はれ、位置により21~65cmの沈下を示すが特に塩田地帯及び里浦大手海岸一帯が顯著である。里浦海岸では巾500~400mの寄洲が南海地震後次第に消失し海岸線が後退している。

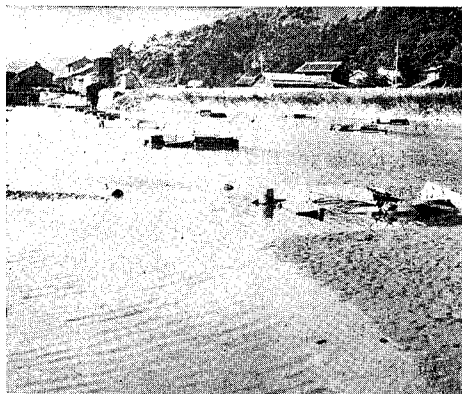


防潮堰の決潰により海となつた塩田

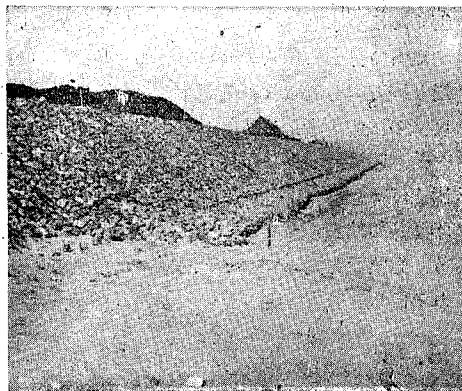


塩田堤防の沈下状態、右手に見えるのは60cmの嵩上を完了したもの

鳴門市浸水区域圖 縮尺1/100,000



高潮の波浪により破壊された塩田施設



鳴門市里浦大手海岸の海岸堤防修築工事

被害状況—地震による直接被害もさることながら地沈による堤防その他の沈下、弱体化、加うるに数次の高潮による被害が大きく一般被害として家屋の地震による破壊は44戸であるが、昭和23年以後の高潮被害として浸水家屋約1800戸と云はれ市の東半全域にわたっている。被害耕地約700町歩、塩害耕地約200町歩と云はれ、里浦地区では未だに所々に濕地を残している。塩田地帯では震災後は常時海水が浸透し、満潮時には堤防天端まで海水が上る爲僅かな波浪にても塩田内部に海水が浸入し、一度び高潮が來襲すれば必ず塩田は一面の海となるである。その冠水面積約200町歩、設備の破損は60~100%と云はれ、生産量は震災前の約2/3である。

公共建設物関係被害としては旧吉野川及び市内堀川の堤防、護岸の決潰27ヶ所延長13km 余り、里浦大手海岸約4kmの海岸堤防流失、その他塩田地帯、入海等の防潮堤、バラベツト40数ヶ所、延長約17kmの崩潰等がその主なもので、全被害額は昭和25年変單價に更正して約2億7千万円にのぼると云はれる。

復舊状況—耕作放棄耕地及び塩害耕地は平均40~60cmの客土を必要としているが、それは大部分農民が自力で2~3kmの遠方より手押車、トロ等により土砂を運搬し客土してをり、大体40%完成とみられる。

塩田関係では施工済のものとして平均40~50cmの堤防の嵩上げ延長約10km、その事業費約1300万円、破壊堤防の復旧延長15km、事業費約3300万円、塩田地盤の補強約150町歩、事業費約1400万円がその主なもので、塩田地盤の補強、客土には専売局関係より1/2の補助があり、又堤防の一部については県費補助

— 3 —

があるが、それでも地元負担が非常に大きく復旧工事の実施に行悩んでいる。

公共建設物関係復旧工事としては現在県工事は約40%、市町村工事は60%完了といはれ、現形復旧及び平均40cmの嵩上げがその主なものであり、特に大なるものとしては里浦海岸堤防約4kmの修築工事で、これは県工事として23年災により査定をうけ、本堤、仮堤合して約574百万円を要するものである。これは延長特に長く当初より本堤工事を行つたのではその途時必ず数度の高潮をうけることが予想され、完成が困難である故、一應本堤計画法線より約40m海岸寄りに仮堤を築造しその上で本堤工事を施工することになつてをり、現在仮堤の大部分を完成し次年度より本堤工事にかかることになつている。本堤天端は中等潮位から5.47mあり一應今後の沈下もみこんで嵩上げしてあるため防潮対策としては十分と思われる。

復舊対策—塩田については今後外塩輸入の杜絶に伴い国産塩の増産が要望されている現在此等被害塩田の早急な復旧、改良が望まれる。堤防の40~60cmの嵩上げは大體完了しているが、高潮に対する恐威は依然大きく今後最低50cmの嵩上げ、或いはパラベットのつぎたしを必要とする。その延長約7km。

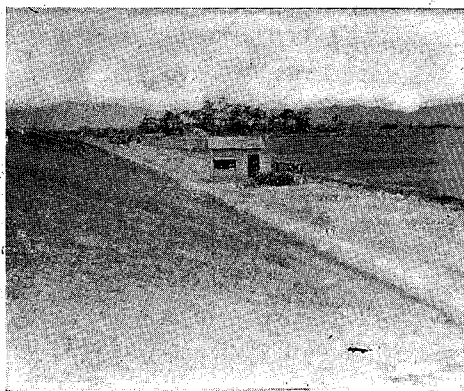
然し部分的にはその水路、入川の全川にわたつて両岸を嵩上げすることよりは、その入口に樋門を造り潮の流入を防除する方が効果も大きく、簡単な角落、観音開きとすれば工費も一門当り20万円程度で済む筈である。本地区全体で約20門必要とされている。

塩田の客土は最低20cmを必要とし、その場合必然的に諸設備の嵩上げも要するので、その工費は町歩当り70万円と云はれ、全面積約200町歩にわたるとすればその地元負担は非常に大きいものとなりこれが軽減の法途を考えることが急務である。

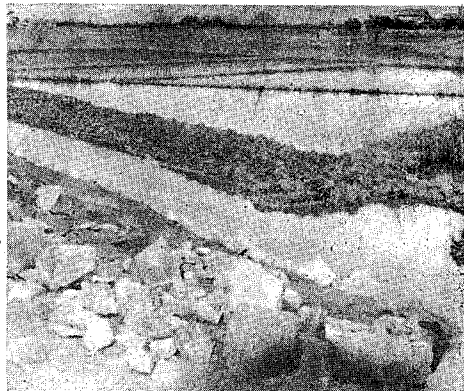
公共建設物関係として今後に残された地沈対策、高潮対策要望工事は、大體原形復旧及び30~50cmの嵩上げで、市町村工事として約3,000万円、県工事として約6,600万円で、特に海岸堤、河川堤及び農耕地関係の比重が大きい。耕作放棄耕地の復旧についてはむしろ工場用地の轉用等も考えるべきであろう。豊富な労働力、製塩業関係の地元蓄積資本、那賀川の電気、交通の便等々はその好立地条件と見做される。現在でも宇部ソーダの進出が傳えられている。

B. 板 野 郡

變動状況—地盤の沈下量は20~60cmで、平均40cmの沈下と云はれるが、これは同郡東部特に河内村松茂村が顯著で、被害も殆んどこの河内に集中している。川内村小松大手海岸にをいても鳴門里浦海岸と同じく巾300~400m程度の寄州が消滅し、海岸線の大巾な後退がみられる。



河内村にける吉野川堤防の海水浸透防止工事



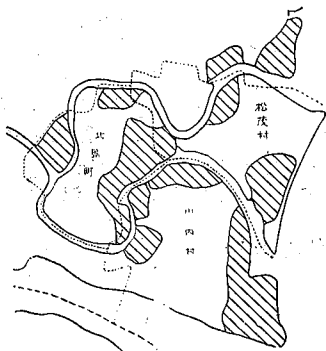
右同 側溝を示す

被害状況—本地区は地震被害よりも沈下被害がはるかに大きく、堤防の弱化、海水の漏水による耕地の

塩害、海岸堤防の高潮による流失等がその大なるものと云はれる。

岡村にける地下水中の塩分含有量は平均10g/立に及び、約500町歩が塩害をうけ、減収又耕作放棄に至っている。又小松大手海岸に於て延長1.5kmの海岸堤防の流失、吉野川、旧吉野川、今切川の堤防、護岸延長約16kmにわたる決潰により耕地の浸水するもの約400町歩、いまだに水が引かず濕地となつて残つているもの約50町歩と云ふ。減収は1万石とみられている。

板野郡浸水区域圖
縮尺1/200,000



復舊状況—塩害耕地、浸水耕地の大半は30cm程度の客土を必要とし、現地農民の自力による客土及び500馬力のサンドポンプ液漕船1乃至2隻による客土が行われ現在0%程度進行しているとみられる公共建設物関係は大体40%の完成をみてをりその主要なものとしては吉野川からの漏水を防止するための堤防拡巾工事で、これは工費1,000万円により全延長1.7kmのうち上流側800mは堤防裏小段のスロに赤土を深さ2m、巾15mに、下流側に巾10mに敷き、埋立地を造成して漏水を防止し、尙浸透してくる塩水を耕地との間に造つた巾2m、深さ2mの側溝により集水し、村内水路に連絡しポンプ排水を行うもので、現在上流側約500mを施工中である。又小松大手海岸全延長1.5kmの海岸堤防修築工事が大きく、ジェーン颱風時その大半を流失したもので、総工費約1億4,000万円により中等潮位より完成断面の天端までの高さ5.5mに嵩上することになつてをり、

大体40%竣工している。

復舊対策—吉野川の漏水防止工は防災研究所の研究により、巾30~50m、深さ5mの埋立をすればよろしかろうと云う意見に従つたものであるが、工費の関係上現計画の如く縮少されたもので、注目すべき工法である。若し効果顯著ならば工費は少く、施工容易なため今後他地区にも應用されるであろう。

今切川河口部を港灣化する計画があるが、これは米津、富久に在いて、海面及び濕地、塩害地等約70町歩を干拓し、港灣施設をほどこし、一方今切川河口部を液漕し且つ河口部両岸から防波堤を突出させ港灣を造成するものである。然し海岸砂州が海岸線にそつて北方に向い発達し、河口部を閉す傾向にあることと、東北又東南方向の危険風をまともにより港灣維持に困難であり避難港として不利であり、又徳島の沖州港及び鳴門港が近接していること等によりあまり有利な条件をそろえていとは云えない。然し塩害耕地に高額の復旧費を投じて生産力の低い、地價の安い耕地に復旧するよりは、むしろ工場地帯を造成する方が有利であろう。

C. 徳 島 市

当市一帯は40~70cm、平均50cmの地盤沈下をうけ、異状高潮時当市の約80%までが浸水するに至つている。

ジェーン、キジア颱風時の浸水面積は約10平方軒、浸水家屋約1,800戸と云い、沈下又は塩害耕地は約600反、公共建設物関係被害の大なるものとしては、修築嵩上を要する堤防護岸の延長約16km、海岸堤防約2km、道路の崩壊又沈下約2.5km、その他津田港、沖州港等の岸壁、荷揚場の破壊があり、その被害総額は5億3,000万円と云はれる。

復旧工事の進捗状況としては現在建設省関係が約40%、農林省関係が約30%の完成をみている。その主なものは、地盤沈下対策において海岸及び河川堤防並に護岸延長7km、工費2,200万円、高潮対策に在いて延長約6km、工費約4,000万円、又潮止樋門7ヶ所、排水ポンプ1基、その他耕地554反の平均40cmの客土が竣工又は工事中である。

復旧対策としては一應原形復旧が主で、嵩上、客土の基準は今後の沈下をみこし、平均90cmとしている。各省関係査定外の復旧所要額は約1億円とみられている。



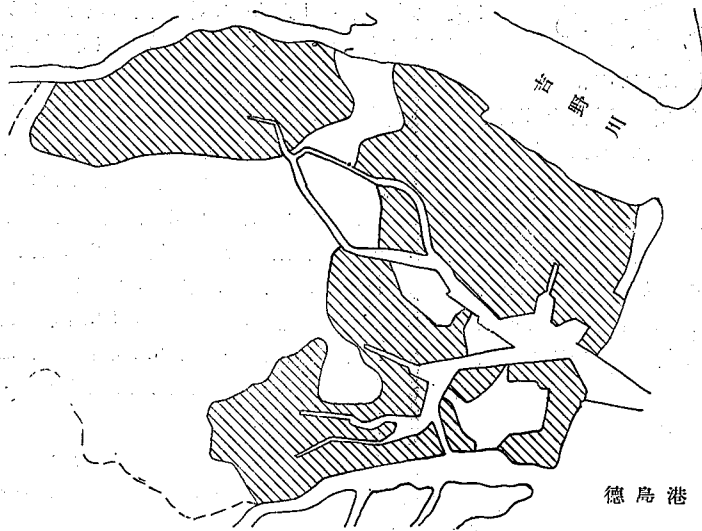
徳島市南部に於けるジェーン颱風時の浸水状況



ジェーン颱風時勝浦川を逆流した高潮が堤防をのりこえて市街地に流入する状況

徳島市浸水区域圖

縮尺1/100,000



D. 勝 浦 郡

当郡の沈下被害の特にはなほだしいのは、小松島町の大半及び勝占村の一部で、地盤沈下量は 25~30cm と云はれ、平均40cm と見られる。しかも小松島町一帯は地盤の高低差が非常に小さく一度び高潮又洪水あるときはその被害は全町くまなく波及する。ジェーン、キジア颱風時には地沈又地震により崩壊又弱化した勝浦川堤防及び横須、金磯大手海岸の海岸堤防から洪水並びに高潮が同時に浸入し、約 500 町歩にわたり浸水し、流失家屋 40、浸水家屋約 1,000、船舶の流失、沈没 50 隻に及び、海岸堤防の大半、勝浦川堤防の随所が流失した。地区内耕地の内現在尙濕地又強変の塩害地として全然放棄されているもの約 50 町歩塩害耕地 120 町歩と云はれる。

復旧工事としては市町村工事により神田瀬川、新堀川等の堤防修築、嵩上げ工事が大体 50% 完成し、県工事においては高潮により流失した金磯、横須の両海岸堤防が施工されており、特に横須大手海岸堤防は小松大手海岸海岸堤防と同定規により大部分完成している。耕地の復旧としては、客土による塩害防止が

大部分で、サンドポンプにより金磯、田野、中弁等の各地区にわたり平均40cmの客土が現在行われて居るが、約50%の完成とみられるのみで、現地農民の被弊甚しく、早急な解決を要する。小松島港の修築は運輸省第三港湾において実施中で、岸壁、荷揚場及び防波堤の修築、嵩上げが施工され、又防波堤のうち波浪に対する最危険方向たる真東に開いている200mの出入口は、魚船出入のための巾20mの開口部を残して締切中である。

上述の復旧工事により一應原形に復せる部分でも、現在満潮時において余裕高が殆んどなく、今後各部分にわたつて平均30cmの河川堤防の嵩上げ、護岸に対するパラベツトウォールのつぎたしが必要とされる。特に勝浦川堤防の復旧、補強は全然行われていないので、これが早急な施工が必要である。



小松島町に於けるサンドポンプによる耕地客土工事

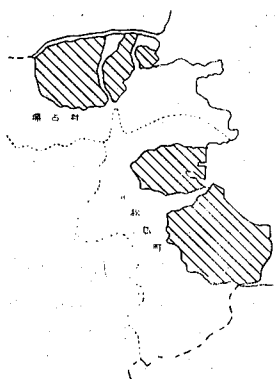


勝占村にをける塩害耕地。耕作不能のまま放置してある。

耕地の復旧の場合、客土する土壌の性質にもよることであるが、当地域の場合はその大部分が砂の多い土砂であるため、客土された耕地の沃土化は今後相当な費用と時日を必要とするであろう。即ち沈下した耕地は必ずしも客土による耕地造成が最良の方法とは云えないであろう。当町の如く年間荷役能力約110

勝浦郡浸水区域圖

縮尺1/200,000



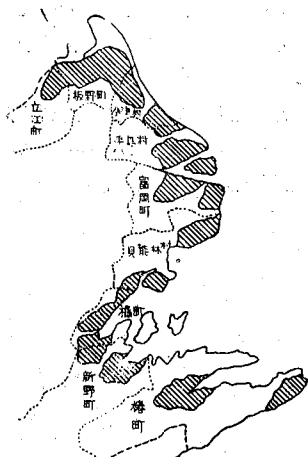
万トンの小松島港、勝浦川の豊富な水産、労働力、及び那賀川の新期開発電力を控えている場合、これら被害耕地の工場地帯への転用が可能である。特に神代瀬川河口右岸の埋立地約10町歩余りは接岸工場、工業港地帯として有利であり、しかも既に町において売収済となつており転用は容易である。剣山地区の木材を原料とするパルプ、レーヨン、小松島港による漁業を背景とした水産加工又は窒素肥料及び合成繊維が期待される。

この場合当地と奥地を結ぶ爲勝浦川に架つている野上橋は、現在延長約100mの木橋で度々の洪水に非常に危険状態になつてをり、これを永久橋として交通を確保することが必要である。延長240mの永久橋とするときその工費は5,000万円と云はれる。

E. 那 賀 郡

当郡の海岸線一帯の沈下量は地震研究所が検潮記録よりもとめたものによると23~39cmと云はれるが地元におけるみかけ上の沈下は平均60cmとみられ、復旧工事における嵩上の標準も大体60cmにとられている。

那賀郡浸水区域圖
縮尺1/400,000

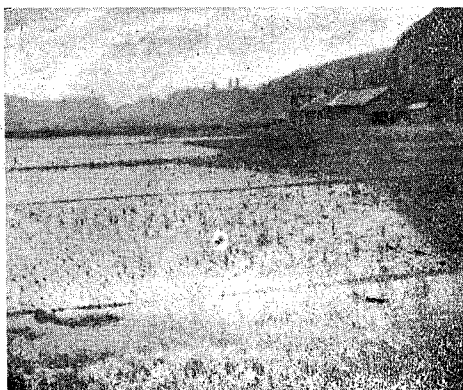


当郡下特に被害の甚だしかつたのは板野町、富岡町、橋町及び椿町、見能林村等である。板野町では地沈により強度塩害地区となつて全然使用に耐えなくなつた耕地は、小松島湾に面する約160町歩、そのうち年々の大潮の満潮時に浸水の危険のあるもの約50町歩。公共建設物関係では小松島湾に面する海岸堤防約1,800mの流失、紀伊水道に面する約6kmの海岸堤の崩壊及び太田川左岸約1kmの堤防決潰が被害の主なるものであり、その他5ヶ所があるが、現在迄に県工及び町村工により復旧済のものは樋門及び太田川の河川堤防の一部復旧、和田島港護岸の嵩上げその他海岸堤の一部の修築が施工されたのみで、被害の大半が未復旧のまま残されている。特に小松島湾に面する耕地が排水不良のまま残されていることは地元農民の死活に関する問題で、関係地区160町歩に対する平均40cmの客土を施し、又100馬力程度の機械排水設備を設置して水田の塩水排除に努め、一方那賀川より用水幹線を導入し、塩害地域の改良を計ることが急務である。

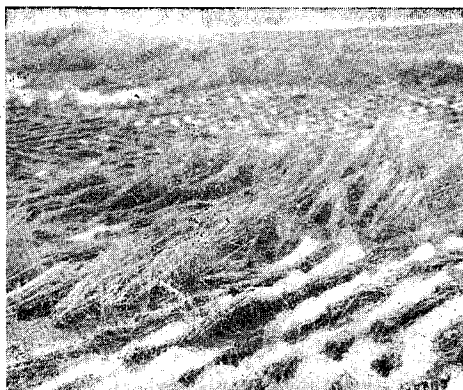
富岡町では豊益新田、辰巳新田一帯が特に被害大きい。この地区では地盤の沈下により耕地の平均高が中等潮位以下となりしかも地震及び更々の高潮により海岸堤防が弱体化崩壊し、塩水が浸透するため、約40町歩の耕地が塩害を受け、更に全く濕潤化し耕作を放棄しているものは約20町歩に及ぶ。ジェーン颱風の高潮害としては耕地の冠水約250町歩、浸水家屋270戸、堤防の欠潰2.5km、護岸の破損1.2kmと云はれる。

沈下耕地、塩害耕地の客土については、わづかに地元農民が自力でトロ又は荷車を使用して平均40~50cmの客土を行つているのみで、みるべき復旧工事は行われていない。公共事業関係では海岸堤及び護岸の修築嵩上等大体40%竣工と云はれるが、その竣工部分と云えども高潮防止のためには安全とは云い得ず、今後50~80cmの嵩上げが必要である。

塩害耕地については当地方でも工業用地その他への転用が考えられてをり、那賀川河口部に良好な港湾が得られないというハンディキャップがあるが、塩害耕地に平均2万坪以上の圃地が数ヶ所に得られること、陸上交通の便、ヒンターランドの木材及び石灰等の資源を控えていること等工業地帯としては有利な条件をもつものと考えられる。



塩害により放棄されている富岡町の水田

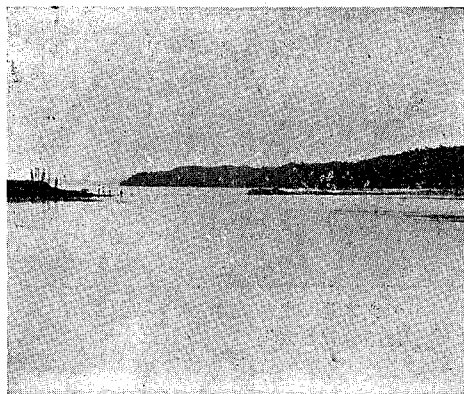


塩害水田にをける立枯れの稲

橘町一帯は平均50cmの沈下がみとめられ、特に新開田地帯が著しく沈下し、その爲ジェーン颱風により海岸堤防や堤塘の大部分が破壊され、海水流入し一面の海となつたのであるが、海岸堤の一應復旧された現在にいたるも尚耕作の放棄を余儀なくされている。



ジェーン颱風の時決潰した橘町海岸堤防



海岸堤防の決潰により海となつた橘町の耕地

冠水面積は南新田、土居崎で27町歩、北新田10町歩、塩害耕地約10町歩と云はれる。

復旧工事としては耕地を護る海岸堤が、その決潰部分に土俵その他による應急復旧がなされ、市街地の護岸の平均50cmの嵩上げ、崩壊道路の修築が行われた。更に次年度より着工されるものとして数ヶ所の護岸の復旧約1,100万円が計上されている。

当町北部一帯には無盡蔵な石灰岩が埋藏されてをり、桑野川、福井川等の豊富な水源を持ち、前に高島小勝島、長島、龍高崎にかこまれた平均水深5mの天然の良港を控えているのでこれが工業港化は容易である。爲に此等沈下、冠水耕地はその客土による耕地造成も、その沃土化が困難故むしろ埋立により工業地帯を造成する方がはるかに有効である。この埋立にサンドポンプを使用し港内浚渫を兼ね、平均水深6m最大水深9mとすれば1万屯級船舶の出入が可能となるであろう。又現在当町には小規模ながら上水道施設を有し、将来人口の増大、工業用水への用意等のため設備拡張が予定されている。

埋立地として予定されているものは冠水耕地、陸塩田その他で、工場地帯として36万坪、商港用地として4万坪、計40万坪が計上されている。尚陸塩田部分では既に約5,000坪余りが埋立られている。

当地方に期待される工業は、石灰、電力を中心とするセメント、カーバイト、石灰窒素、合成繊維等の石灰化学工業コンビナートの造成、又水産加工工業等が非常に有望である。

F. 海 部 郡

当郡海岸線一帯の地盤沈下は北部が地下量が大きく、南に向りに従い漸減して居り、高知県々界を境として南部が隆起しているわけで、当郡一帯は大体沈下被害とゆうよりは地震被害の方がはるかに大である。検潮記録からみた日和佐の地沈量は21cmと云はれる。

当郡における震害、地沈被害の特に大なる地区は、三岐田町、日和佐町、牟岐町、浅川村、鞆奥町と云はれる。

三岐田町では平均40cmの沈下と云はれ、南海地震の被害としては損害家屋約500戸、浸水家屋約700戸堤防の決潰1.1km、道路の破壊680m、田畑の流失35町歩、船舶被害約140隻と云はれ、地沈及び高潮被害としては浸水家屋400戸、道路の決潰370m、田畑の流失冠水70町歩に及ぶといわれる。

現在県工事、市町村工事として復旧済のものとしては、由岐港西岸約500mの護岸、パラベツトウウォールの修築及び平均50cmの嵩上げ、木岐浦荷揚場及び防波堤の一部復旧及び志和岐浦海岸堤防の一部で、大体査定をうけているものに対し65%の竣工とみられる。

— 9 —



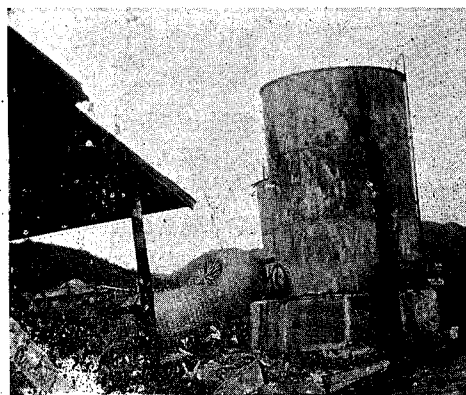
キジア颱風時の高潮により破壊された
鞆奥町の突堤



南海地震による鞆奥町の護岸の崩壊



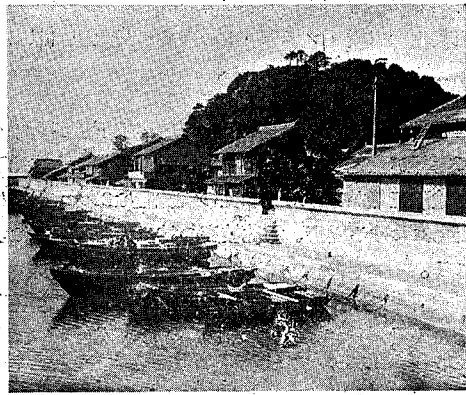
デラ颱風時日和佐川堤防の決潰により
土砂に埋没した日和佐町の水田



南海地震により破壊された日和佐港
の岸壁施設



災害復舊工事として根堅めを完成し
た木岐浦港



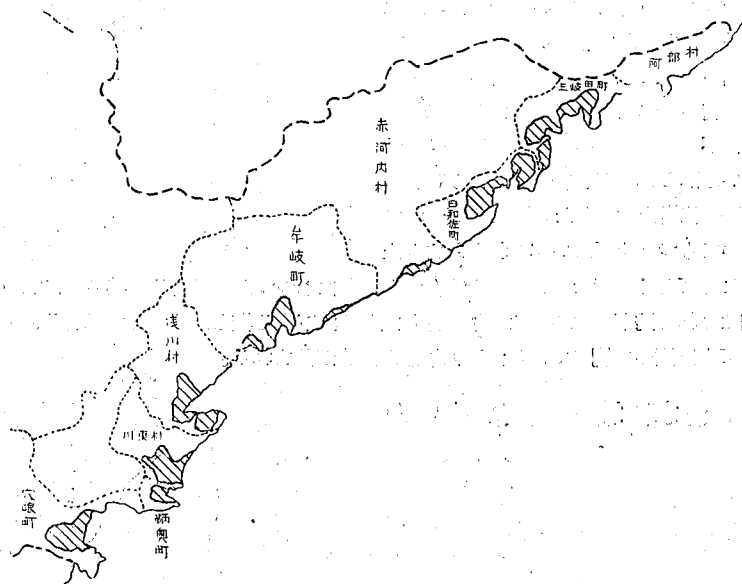
由岐港の沈下対策工事として完成を
みたパラペット及び護岸の嵩上

未復旧部分としては由岐港東岸海岸堤防の嵩上、防波堤嵩上、木岐東町その他の堤防嵩上及び護岸の復旧、志和岐大手海岸の海岸堤防嵩上がその主なるもので、元來本町は水産業を主なる生業としているため漁業関係諸施設の修築復旧が急務である。

日和佐町では平均20cmの地盤沈下がみられ、沈下後耕作を放棄せる耕地約50町歩、毎年の大潮時浸水の危険ある区域は約5町歩といわれる。南海地震の震害としては浸水耕地約350町歩、浸水家屋約200戸、堤防決潰約4.5km、海岸堤防の決潰、流失約2.5km、道路の崩壊約4kmである。

既復旧のものとして護岸堤防の復旧嵩上約3km、潮止施設2ヶ所、排水設備1ヶ所のみで、大部分が未復旧と云える。

海部郡浸水区域圖 縮尺1/400,000



これら未復旧部分の早急な復旧と同時に、浸水地区の岸壁に防潮堤を新設し高潮を防止すると共に、防風保安林の拡充、燈台の設置、海洋气象台新設による災害の事前察知を計り、災害防除につとめ、一方港湾拡充、繋船設備の充実等により町の漁業の発展をはかるべきである。

新奥町では検潮記録よりみた変動量は10cm 余りと云はれるが、地元での見掛上の沈下は異状高潮の影響もあつて50cm程度と云はれる。当町関係の震害は、防波堤の崩壊延長65m、岸壁の決潰延長57m、突堤の崩壊50mと云はれ、地盤沈下及び高潮による被害は、物揚場の崩壊延長270m、防波堤の決潰100m、満潮時又連続降雨時に冠水する耕地3町歩と云はれる。

防波堤、護岸、突堤、物揚場等の修築、嵩上は大部分工事を完了してをり、排水路延長330m、樋門2ヶ所等が新設、修理されている。

現在未復旧となつているものとしては新港船溜防波堤の延長100mであるが、地元では、当町一帯の地盤沈下が続行していることをみとめて居り、今後の高潮、高浪の被害を防止するためには、防波堤延長470m岸壁5,000坪の改築、嵩上又岸壁の新設等による新港の大修築、排水路の改修、耕地の嵩上による農地の改良、又導流堤300mを含む海部川の改修により現在生じつつある被害並びに將來の危険を防止することが必要である。

浅川村では沈下量は15cm内外とみられる。

香 川 縣

A. 高 松 市

地震による直接被害は建物だけでも文教施設9ヶ所に及びその他の小さな被害は相当広範囲にわたつて居る、沈下量は約29cm、キジャ颱風及びジューン颱風にともなう高潮の被害は漁港護岸500m 同防波堤50m、下水道25ヘクタール、港灣護岸1,000m同岸壁1,500mに達し飲料水の被害を受けた人口は約2,000人である。ところがこれが復旧は、海岸堤防、河川堤防等は0.40~0.60mの嵩上を行ひ30~50%、上水道の如きは約10%しか進んで居ない。

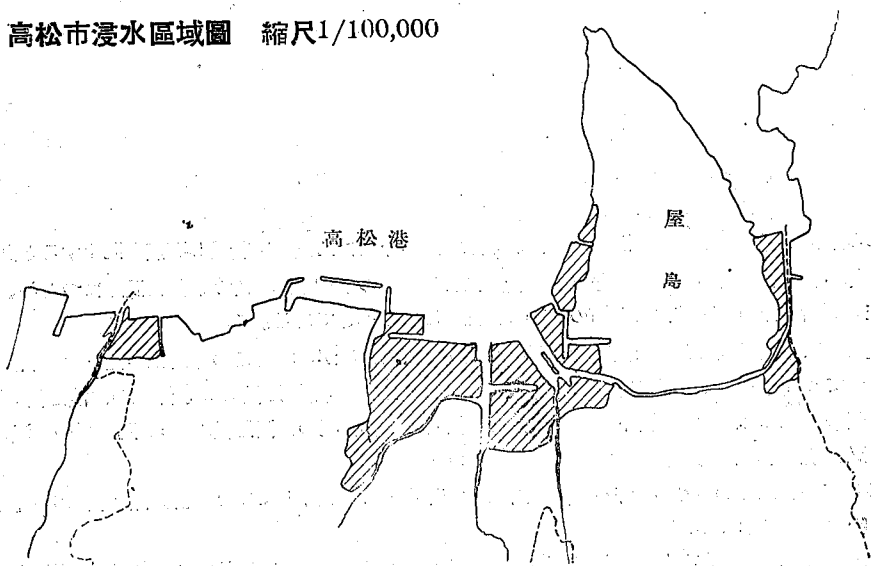
物揚場は高潮の都度浸水するので相当の嵩上げを必要とするが干満の差がはげしく、あまり上げると干潮時の使用に不便を感じるのでそれも出来ず困つて居る。小さいながら春日川、新川等がありこれ等の潮止堰は0.30m位嵩上げをした、ところがこれではまだ不足なのでつと上げたいが此れをあまり上げると堤防をことごとく上げなければならず複雑な問題にぶつかつて居る。其の爲に堰の上に角石を並べて普通の潮はこれで防ぎ洪水の時はこれを押し流して流下する様な方法をとつて居る。

いづれにしても四国の玄関口であるだけに早急な解決が望まれる。



キジャ颱風時に於ける高松港縣管棧橋附近

高松市浸水区域圖 縮尺1/100,000



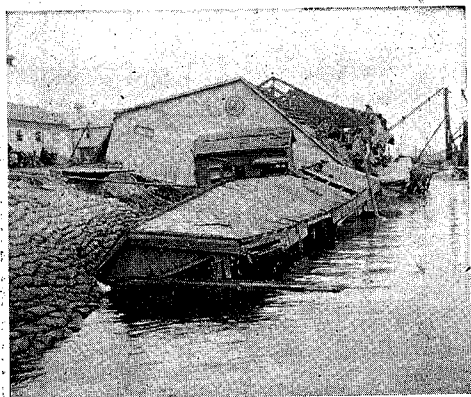
B. 坂 出 市

坂出市はもともと低い都市で平均満潮面より最低部で2.30m、平均しても1.80m低くその爲排水困難なところが沈下後(約37cm)はいよいよ危険な状態となつて居る。

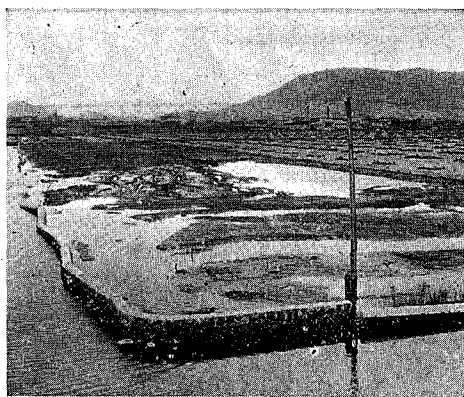
地震によつては坂出市西部の御供所から海岸線を林田町に到る帯状の区域が最も大きな被害を受け、中

でも西岸壁(274m)及び附属建物全部、沖港浦の岸壁(200m)、西塩田(10ヘクタール)、明治浜塩田(20ヘクタール)、金山新塩田(26.3ヘクタール)、本條塩田(15.9ヘクタール)、阿賀浦塩田(15.1ヘクタール)林田塩田(25.7ヘクタール)、総社塩田(39.6ヘクタール)及林田町一帯の家屋(60戸)は完全に破壊されたその後これ等の被害は一應復旧されたが昭和25年の颶風では又々相当の被害あり浸水面積約580町歩(宅地、塩田、耕地)に及んだ。因に坂出市西部の耕地約50町歩は昭和25年中に実に13回冠水した。

塩田に關係ある海岸堤は、昭和23年度に完了しその他の部分もほとんど完成して居る。(嵩上、及び修理)又一番重点をおかれて居るのは市内の排水設備で市内を三つに分け東部、中部、西部、の三排水場を計画して居る。その中で東部ポンプ場は1,200mm軸流ポンプを完了し、西部は600mm径の軸流ポンプを目下



地震の爲に崩壊した坂出港西岸壁及上屋



坂出市總社塩田の地震被害



同上



坂出市林田町(地震の爲に倒壊した家屋)

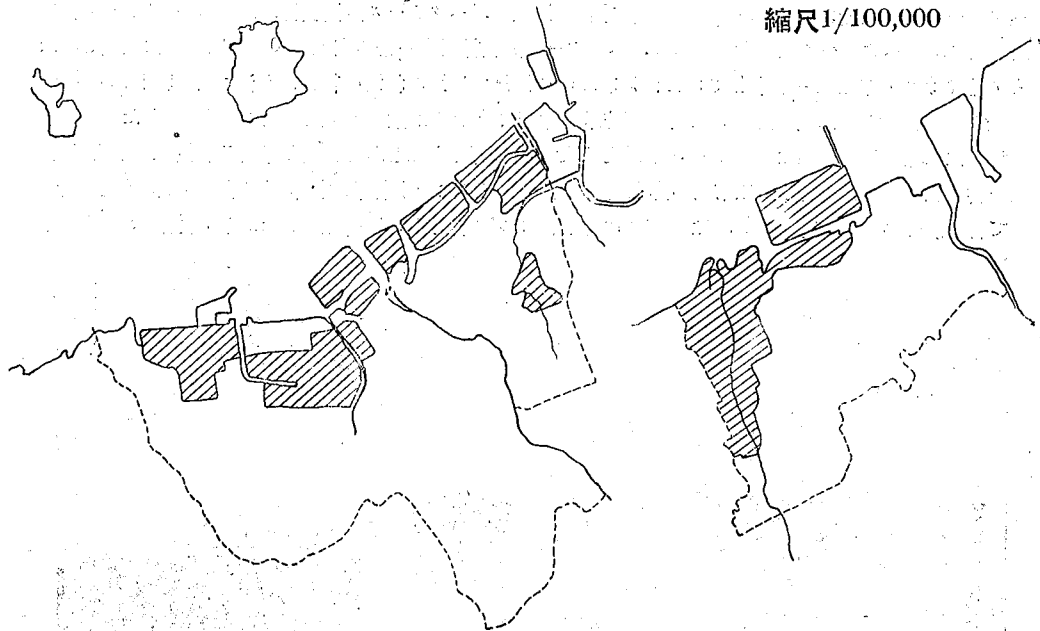
工事中である。又中部は同じく600mm径のポンプを設置すべく申請中で以上の3排水場が完成すれば、790ヘクタールを浸水から守ることが出来る。

前述した様に坂出市は昔から地盤が低いので考えて見れば発展したのが不思議な位である。大きな希望を述べるならば市街地と港湾とはさまれた塩田はこれを陸止、盛土して宅地又は工場用地としたいところである。

坂出市浸水区域圖 縮尺1/100,000

丸龜市浸水区域圖

縮尺1/100,000



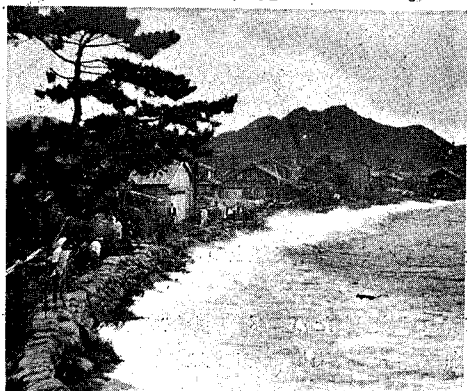
C. 丸 龜 市

丸龜市周辺の沈下量約37cm、地震による破壊家屋5戸、沈下による浸水家屋345戸

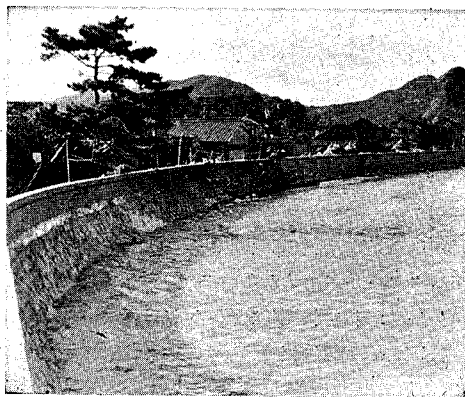
沈下及びその後の高潮で被害のあつた海岸堤は約2,000mその被害額11,757,000円、港湾被害延長241m被害額1,064,000円、これ等の破壊により塩田に及ぼした被害は、2,117,000円、農耕地11,169,000円となつて居る、又沈下後全々使用出来なくなつた塩田約15町歩がある。ところが此れ等の復旧は遅々として進まず、上下水道約38%、海岸堤防58%、農耕地41%となり塩田の如きは全々対策を講じてない。

D. 大 川 郡

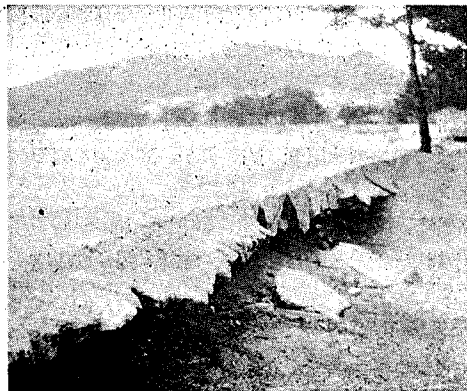
香川県では、大川郡と三豊郡が沈下被害が大きい。このあたりの沈下量29cm、相生村では沈下後その用をなさなくなつた水門を通じ、又一部は弱小堤防を浸透あるいはオーバーして高潮が浸入し、水田約35町歩を48時間にわたつて水底に沈めてしまった。その爲收穫皆無。



大川郡引田町大明神海岸
(地盤沈下未復舊時)



同 左
(復舊後)



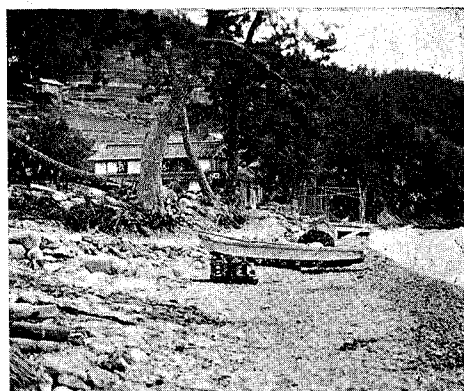
大川郡白鳥本町海岸（沈下後一應石積護岸を築造復舊したが尙僅かの波浪にも背後を洗われ崩壊する）



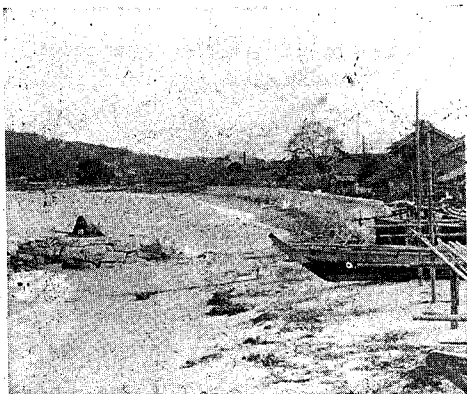
大川郡白鳥本町海岸（左の寫眞と同一ヶ所、波浪は堤防を越え人家を洗う）



大川郡三本松港の物揚場石段
（地震による直接被害）



大川町津田町猪塚海岸（沈下後寄洲がなくなり波浪は直接人家を洗う）



大川郡志度町海岸（波切水制を新設したが早速その効果が見られる）



大川町志度町（キジヤ颱風時高潮の被害を受け枯死したままで放置されて居る稲）

—15—

引田町でも安戸、大新浜の二水門が高潮の水圧により水門板を破壊され耕地約50町歩(全耕地の25%)が冠水した、又大字大川、字知方の海岸一帯には相当の寄洲があり煮干鱈の天日乾燥が行われていたが現在では漁船の曳上げも出来ず大小600隻の漁船は年中水中にある。

白鳥本町では、水田32町歩冠水、収穫皆無。

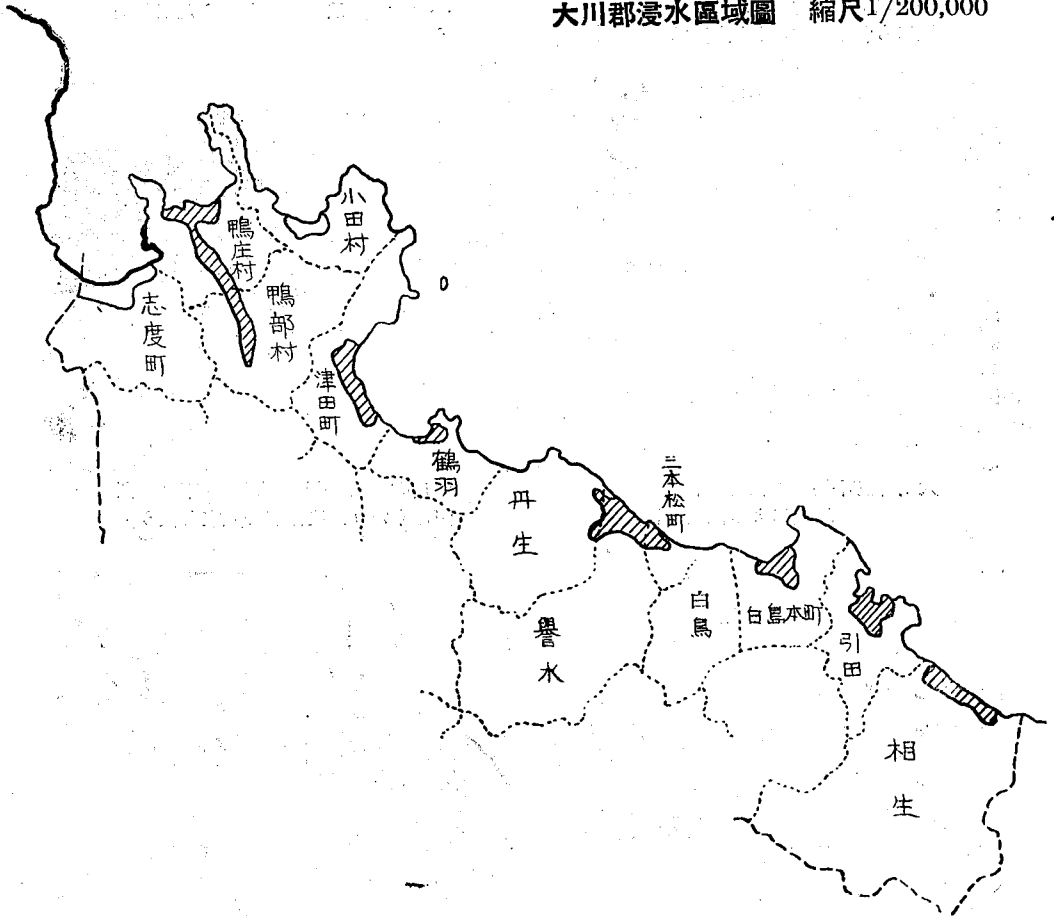
三本松町では地震による倒壊家屋25戸沈下後の颱風による被害は水田冠水約3町歩、港灣物揚場その他延長約500m、防波堤全部(250m)河川堤防延長950mである。

津田町江泊漁港防波堤約70m及び琴林水門が地震の際破潰、平畑部落約450m、瀬下部落約220m、猪塚部落約150mの護岸が沈下後昭和25年9月の颱風で破壊された、津田川河口一帯、琴林水門の周辺は現在でも毎年の大潮満潮時には浸水の危険にさらされて居る。

小田村地内では石積崩潰約500m、交通不能延長約5kmとなつた。

志度町でも水田約20町歩が完全に冠水し収穫はなく水田約1町歩は今でも被害当時のままの状態で放置されて居る。

大川郡浸水区域圖 縮尺1/200,000



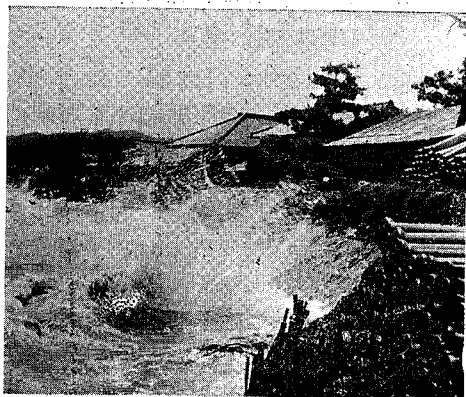
復旧工事としては、海岸堤を石積とし天場にバラバット(高1.00m程度)を築造して居る、又海岸に50~60m間隔に30m位の波切水制を直角に出して居るが此れは相当の効果をあげて居る様である。又風向によつては海岸の堤防天場を巾1.50m位コンクリートで被覆して居る。

又白鳥本町約140戸は飲料水(井戸)中に塩分の含有量が増加して使用出来ずこれが解決は、最も急を要する問題である。松西海岸の根本的な復旧は昭和26年度より高潮対策事業費で行うこととなつて居る。三本松町、志度町に於ても同じことである。

大川郡の被害総額594,018,000円復旧率57%である。

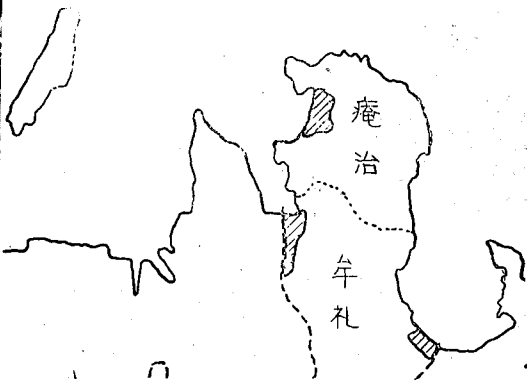
E. 木 田 郡

沈下量29cm位、昭和23、24年の高潮時に被害のあつた家屋約300戸、農耕地の被害113町歩、塩田は屋島の西側だけであるが此れの被害額5,873,000円このうち約88%が修理完了して居る。河川被害堤防決壊550m、この金額18,333,000円。海岸堤防被害延長2,902mこの金額64,951,000円。農耕地の被害金額136,930,000円。漁港被害は延長にして273m、金額12,204,000円。港湾被害延長約1,000m、金額12,693,000円、となつて居るが此れの復旧状況は遅々たるもので農耕地の95%漁港の100%港湾の80%を除いてはそれぞれ約半分位しか完了して居ない。



木田郡牟禮村海岸(寄洲がなくなつた爲普通の波浪も人家を洗う)

木田郡浸水区域圖
縮尺1/200,000



木田郡には昔から海岸堤の無い所が多く沈下後新しく堤防を作らなければならない箇所が相当に出た屋島の内側を両側の海とつなく相引川も御多聞にもれず嵩上げをする必要があつたがこれは両河口に潮止水門をつくつて嵩上げを止めてしまつた。

庵治村は漁港の町であり海岸堤が無い所が多かつたので新しく堤防、護岸等を2,000m余作つた。

庵治村では役場のあたりの被害が一番大きい。

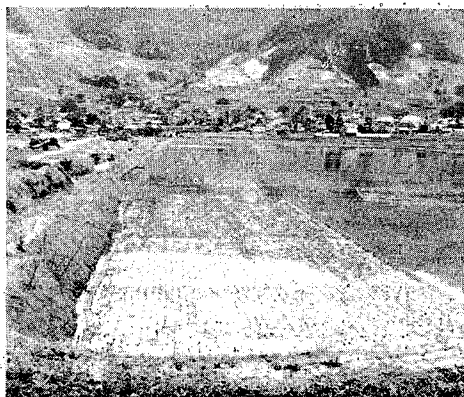
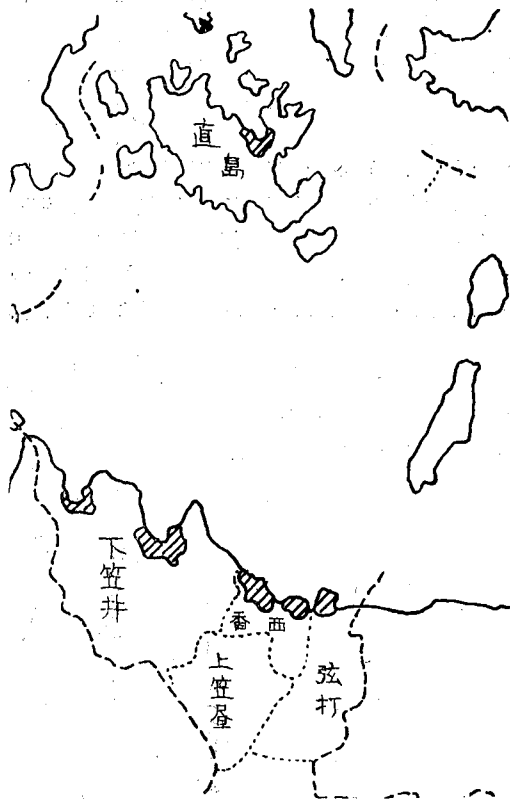
F. 香 川 郡

沈下量約30cm 地震以後昭和25年迄に床下に浸水した家屋は約300戸、農耕地の被害面積113町歩此の被害金額37,819,000円、河川関係では被害延長140m、金額72,100,000円、上下水道関係の被害額21,936,000円、海岸堤防延長1,150mこの金額148,980,000円、漁港被害7,305,000円、港湾被害91,380,000円であり、これ等の平均復旧進捗率は70%である。此の郡は海岸線が割に短く直接海は突出して居る部分は山地なので被害はなく入江になつて居る部分のみ被害を受けて居る、下笠井村の生島塩田の周囲と陸地の周囲と二重、三重に堤防の嵩上げを行わなければならず小さな区域で相当の工事量である。又小さな河川の両側も皆30~60cmの嵩上げを行つて居る。(香川郡の浸水区域圖は次頁参照)

G. 綾 歌 郡

綾歌郡では王越村、松山村、宇多津町が海に面して居る、沈下量は坂出市で37cmである。王越村には木沢と乃生に塩田があるが地盤沈下によつてこれ等が各々被害を受けた。此の地区での耕地への浸水は主と

香川郡浸水区域圖 縮尺1/200,000



綾歌郡玉越村(地盤沈下後常に塩害を受け作付け不能の水田)

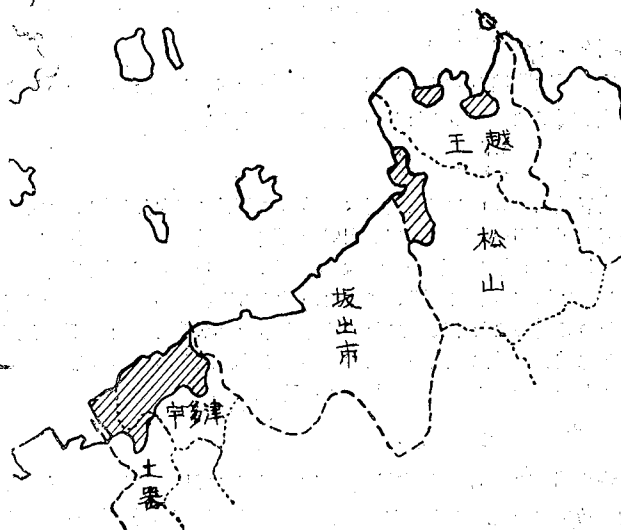
して塩田と陸地との間にある潮まわし水路から入つて来る、水路の両入口で水門を設ければ完全に浸水を止めることが出来るが、塩田ではそれも出来ず40cm~50cmの嵩上げを行つて居る。木沢及び乃生部落での浸水面積約40町歩。松山村では青海川の沿線が最も大きな被害を受け、約50町歩が浸水した、此れに対し青海川の河口から500m位の箇所にも水門を新設しこれまでの河岸を嵩上げされて居る。宇多津町では、直接地震によつて堤防決壊50m建物倒潰1戸(49坪)橋梁1ヶ所(長30m木造)を出した。又沈下及びその後の颱風では海岸堤(塩田分も含む)9,250mが被害を受け

150町歩が冠水した。

全々使用出来なくなつた宅地及び耕地が4町5反、大潮時の満潮では常に浸水の危険にさらされて居る面積約30町歩この中に家屋72戸がある、町民の話では水位との相対的な沈下は3尺位と見て居る。これに対して嵩上げ補強を完了した海岸堤約7,500mで残りは土俵その他で仮復旧をしたままで放置されて居る。水門、樋門の修理又は新設3ヶ所があり此の他上、下水道新設の計画を立てて居る。

永久的な宇多津町復興対策としては塩害田は寧ろ塩田化してはとの意見が出、既に全国真空製塩業者協議会を宇多津町で開催しその機会に権威者の打診を受けて居る(一部の水田は河床よ

綾歌郡浸水区域圖 縮尺1/200,000



り0.3m 低下して居る) 又港湾の拡充強化については現在より1,000m も突堤を出すならば急に深くなり丸亀、坂出港よりもつと良い港となる。又両市にはさまれて特に宅地に困つて居る坂出市の爲に文化的な明るい宅住を提供するならば宇多津の発展は間違いないその爲にも早急に上、下水道の不便を解決する必要がある。現在宇多津町の約80%の住民は1荷28円の水を飲んで居る。(宇多津町長の意見)

H. 仲 多 度 郡

仲多度郡一帯の沈下量は37~38cmである。多度津町について記述すれば、

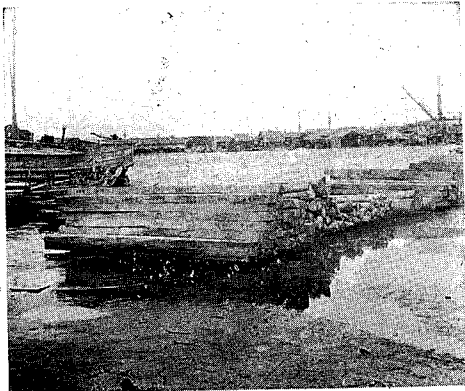
地震被害 倒潰家屋10戸 半潰家屋50戸

沈下及び高潮による被害

西防波堤 580m 及び棧橋

櫻川流域浸水 家屋350戸 水田30町歩

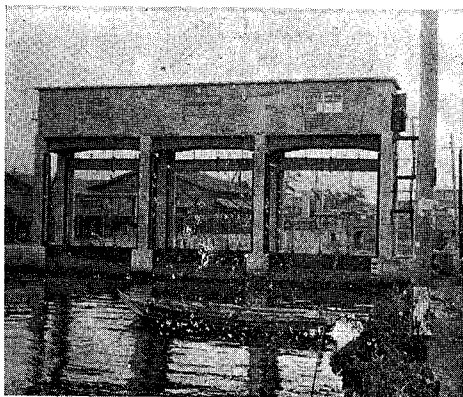
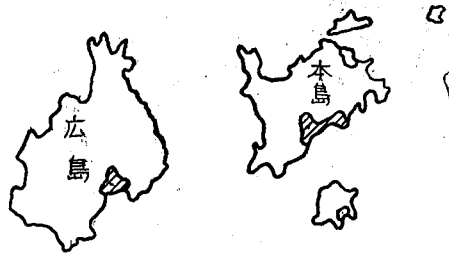
となり、又市街地一帯の井戸水は飲料として使用不能(約9,000人分)。多度津町は香川県下に於ける農地交換分合の指定町となつて居るが海岸線一帯及び櫻川流域は全く実施出来ない、(沈下後全々使用出来ない田畑60町歩、宅地約350戸分がある) これ等の被害に対して西防波堤340m、棧橋、豊浜海岸嵩上工事は完成



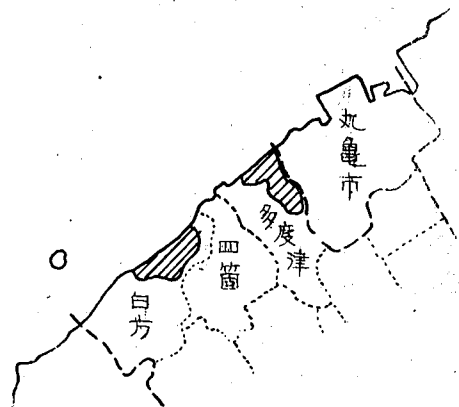
仲多度郡多度津港に於けるキジヤ颱風時の高潮状況(西側物揚場)

仲多度郡浸水区域圖

縮尺1/200,000



仲多度津町(櫻川に新設した水門)



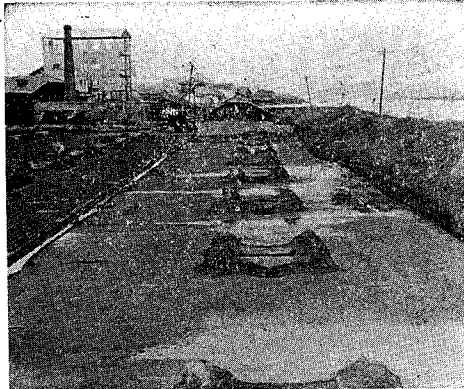
した。櫻川水門(昭和24年11月完成工費410万円)外5ヶ所の水門を新設又は修理した。然し西防波堤の170m 及び内港南、東岸壁の嵩上げ、堀江海岸の護岸、櫻川堤防と上水道は未復旧のまま放置されて居る。新設した櫻川水門は5mスパンの3径間で電動巻揚げ扉のついた立派なものでキジヤ颱風の時水位差

1.40mの効果があつた。これが無ければおそらく多度津町は全部遠く四箇村までも浸水したのであろう、然し根本的にはまだ解決されて居らず、水門をもつと新設又は修理し護岸を補強嵩上げて干拓工事を行い、濕田を乾田化することを計画して居る。櫻川流域は人家が密集して居つてバラベツトすら作る余裕がなく、颱風、高潮には事前に警告を發し水防に従事させる計画で居る様な状態で根本的な対策を講ずるには町の財政があまりに貧弱である。白方村では海岸に相当の家屋があり今後の被害も考えられるのであるがまだ復旧されて居ない。この延長約1,500m弘田川(海岸寺川)の兩岸は嵩上げ工事を完了して居る。

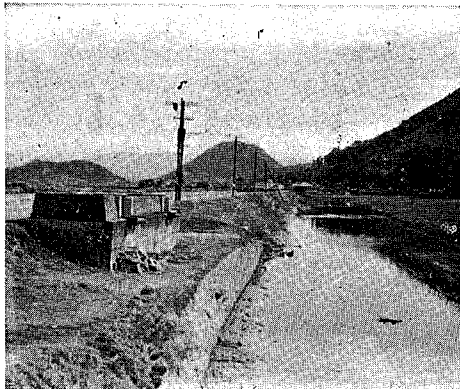
1. 三 豊 郡

三豊郡も沈下は約37~38cmであるが香川県では大川郡とならんで最も被害の大きい郡である。その中でも特に詫間町、仁尾町、観音寺町が被害が大きい、そこでこれを順に説明すれば、詫間町には、高瀬川と言う香川県では大きい方に属する河川があり又相当の塩田がある、これが地震地盤沈下高潮ですべて被害を受け海岸堤52ヶ所延18,000mが嵩上げ又は補強しなければならなくなつた、又字池尻では満潮面より耕地面の方が低くなり巾100m長約1,500mの水田は支障が1/3に下つてしまつた。

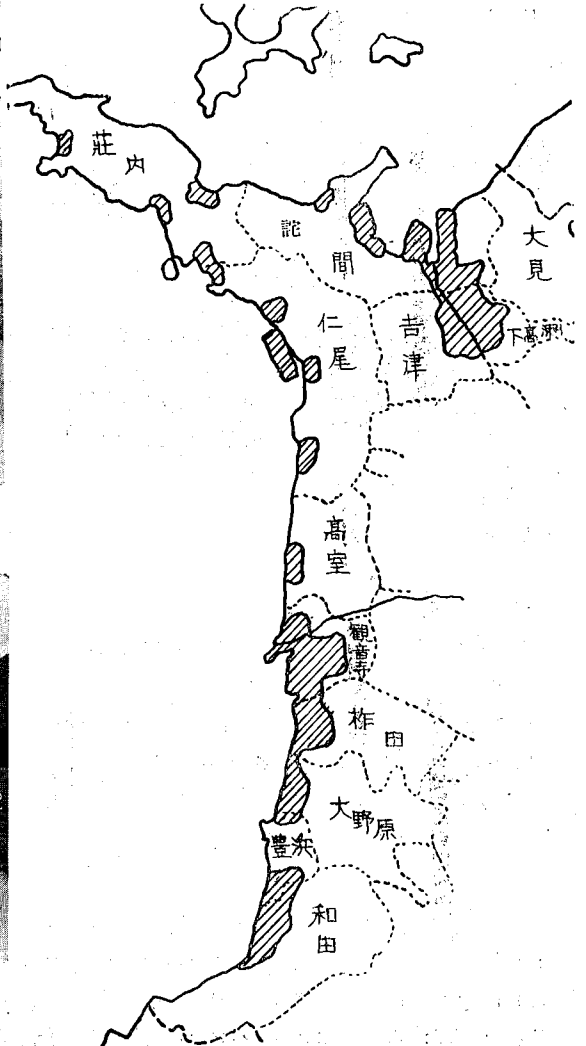
三豊郡浸水區域圖 縮尺1/200,000



三豊郡詫間町(満潮時は海水が浸透し堤防沿いの部分は収穫出来ない)



三豊郡詫間町回轉橋附近(満潮より約20cm低くなつた時であるが尙耕地面より相當高い高瀬川沿岸)

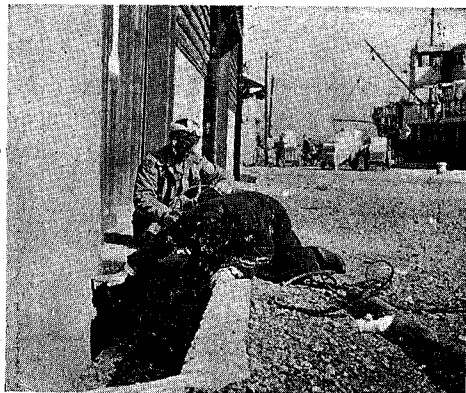


浸水の危険にさらされて居る面積35町歩、海水が洲崎橋上流1,000m位までこたえるので約600m上流に防潮堰を農林省の補助工事で築造した。海岸堤被害の内約90%は石積嵩上げを完了して居るがまだまだ根本的には解決されない。

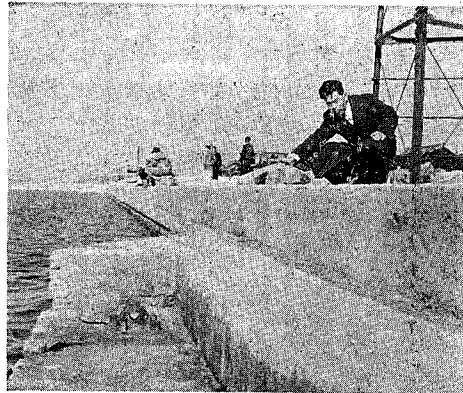
仁尾町の被害は

- a. 直接地震によるもの
 - 全倒潰家屋5戸 被害家屋765戸
 - 塩田堤防3,400m 排水路530m 鹹水溜120ヶ
 - その他道路、河川、港湾に若干の被害
- b. 海岸及び河川流域一帯約48haは毎年の大潮満潮時には浸水の危険にさらされて居る。
- c. 仁尾港防波堤、仁尾、小島漁港及び仁尾町下水道、江尻川下流耕地約1町歩、海岸地帯の井戸(420戸分)は、沈下後使用出来なくなった。

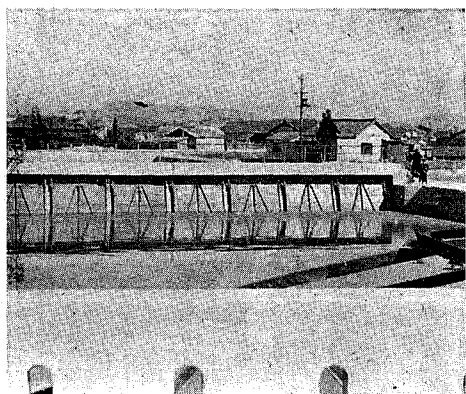
となつて居り復旧概況は、塩田関係の堤防は早速復旧されたがその他の海岸堤は未だ半分も補修されて居ない。江尻川、友川に加茂神社、内田川下流にそれぞれ石造水門を新設し、新塩田の北側に26馬力の軸流ポンプ1台を新設した。



三豊郡観音寺町(観音寺港の物揚場は沈下後70cm嵩上げしたが昭和24年7.8月の満潮時には尙此の上へ上る)



三豊郡観音寺町(約70cm嵩上げをした観音寺港の物揚場昭和24年の7.8月頃は尙此の上へ上る)



三豊郡観音寺町(一ノ谷川七間橋上手に新設した水門、非常に有効に働いて居る)

次に観音寺町では干満の差が4.20mもありその爲高潮時と満潮が重なると被害は予想外に大きくなる。地盤沈下による被害の甚だしいのは一ノ谷川流域と港湾施設である。

キジヤ颱風時に於ける主な浸水被害は

財田川左岸約1,000戸浸水

一ノ谷川流域耕地 50町歩浸水

となつて居りその爲観音寺町の倉敷紡績は一時移轉せんとした程である。

面白い事は観音寺港は沈下前までは1,000ton位迄の船舶しか入港することが出来なかつたが現在ではもつと大きな船まで入れる様になつた。復旧工事としては、田畑約1反歩は完全に海中に没してしまつ

たので手の付け様もないが一ノ谷川に新しい作つた水門附近の約3反の水田は沈下後作付出来ず地上けをして宅地にしてしまつた。海岸堤はバラベツト建設のみでは完全な防潮が出来ないので石積前面をコン

—21—

クリートで被覆する計画で居る。

復旧進捗率は港湾関係60~70%、堤防、護岸で60%と言うところ。

観音寺町から豊浜町を経て愛媛県の川之江町に至る海岸は、道路防災費もつぎ込んで海岸堤(部分的には道路と兼用)の嵩上げ、バラベツト、石積の前面へ捨石、波切水制を施工して居る。又山田海岸(杵田村)花稻海岸(大野見村)は昭和25年度より高潮対策事業として根本的に復旧して居る。一ノ谷川海岸は昭和26年以降に於て同工事で修築する計画で居る。

J. 小 豆 郡

小豆郡は島である爲山がうんと海岸までせまつて居り被害は小さい、それでも、

被害家屋	破壊134戸	浸水家屋618戸
農耕地被害	80町歩	
河川被害	7,591,000円	27%復旧完了
道路被害	25,471,000円	7%復旧完了
海岸被害	27,678,000円	59%復旧完了
漁港被害	31,882,000円	100%復旧完了
港湾被害	45,854,000円	90%復旧完了

となつて居る。この内海岸及び道路はほとんど兼用して居るもので30~40cm 宛嵩上げして居る。又土庄町淵崎では沈下により水路への排水が出来ず下水道の構造を変えなければならなくなつた。然し他の市郡と比較すると何と言つても平地が少いので漁港を除いてはあまり大きな被害ではなく一ヶ所せいぜい20~30万円の工事である。



(左) 小豆郡淵崎村(縣道土庄一坂手線の高潮浸入状況 昭25.9.13)

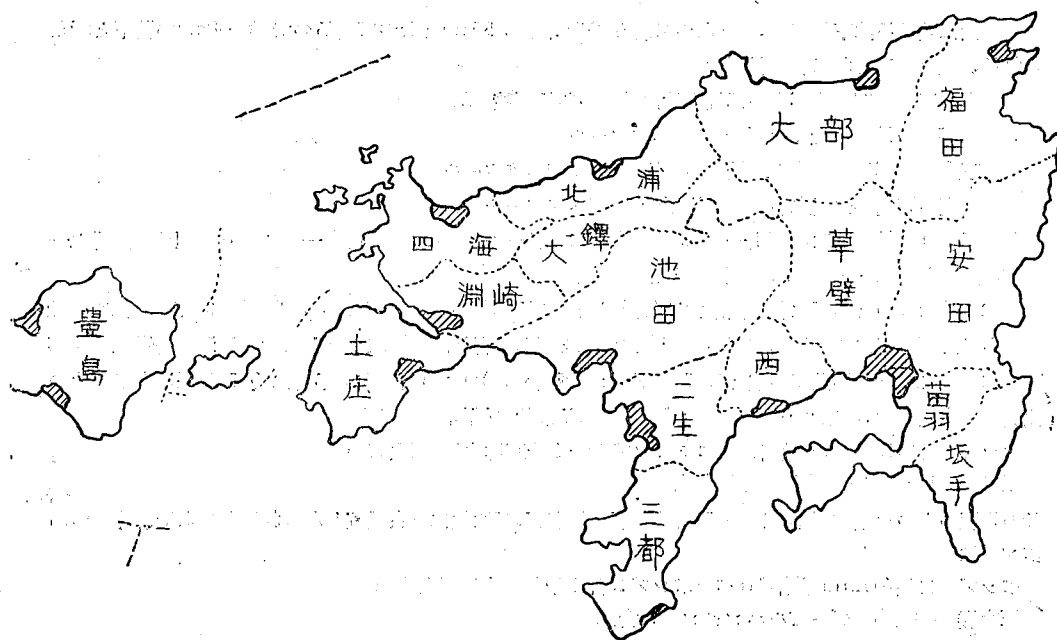


(上) 小豆郡土庄町(縣道土庄一平尾線の被害状況 昭25.9.13)



(左) 小豆郡淵崎村(縣道土庄一坂手線の海水浸入状況—昭25.9.13)

小豆郡浸水區域圖 縮尺1/200,000



愛媛県

A. 新居濱市

多喜浜に於ける沈下量が39cmとなつて居り壬生川町が55cmとなつて居るので40~50cmの沈下と考えられる、現在尙残されて居る被害は

- 1 海水浸透及び排水不良の爲農作物に被害のある面積 260町歩
- 2 飲料水の被害を受けた面積 860ヘクタール
- 3 下水排除不良の爲宅地に被害のある面積 380ヘクタール
- 4 大潮の満潮時に浸水の危険ある面積 430ヘクタール

となつて居り、被害額は、河川—15,592,000円、都市—9,389,000円、海岸—158,508,000円、農耕地—5,700,000円、港湾—2,634,000円である。

又二次的なものとしては新居濱市には各種工場があるが此の従業員が毎年の高潮時及び豪雨時には会社を休んで防備避難にあたる爲工場の生産力に支障を來して居る。復旧状況としては、沢津の海岸改良工事を昭和25年より3ヶ年継続事業として開始した(延長3,000mこの内昭和25年度に於て1/3程度完了)。その他機械排水設備を2ヶ所新設し2ヶ所計画として居る。その規模を示せば

- ポンプ 口径1,000mm軸流プロペラポンプ 1台 1分間排水量125立方m
 原動機 125馬力(電動機直結) 1台

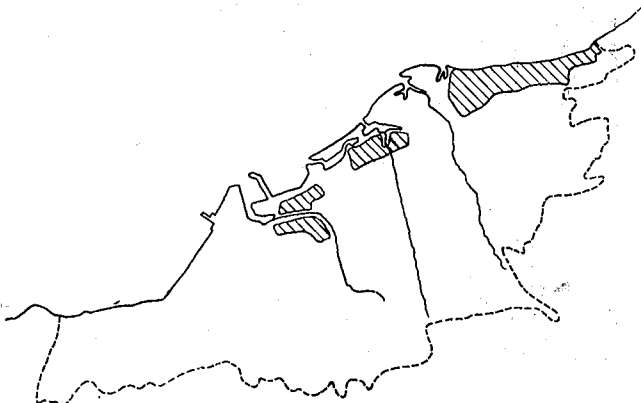
此の規模のものを昭和24年度に於て1台完成し計画としては他に3台設置しなければならない。今一つのポンプは

- ポンプ 口径700mm軸流プロペラポンプ 2台 1分間排水量60立方m
 原動機 60馬力 デーゼルエンジン 2台

これを昭和25年度に於て完成した。然しこれは未だ小部分にしか効果なく全体の復旧計画としては。

海水の浸透に対して海岸堤防沿いに遊水池を新設すべく計画中、從來新居濱市には下水道と称せられるものはなく不規則な開渠によつて流下し樋門によつて排除して居つたが地盤沈下により樋門の排水能力が減少し機械排水の必要を生じた爲之の総合計画を立案し国庫補助を得て逐次施行して居る。又上水道も施設は少く部分的に簡易上水道を設けて特に飲料の不良地区へ給水して居たが沈下によつて市の相当部分が水質が悪化し飲用に適しないので昭和26年度に於て総合計画を樹立し以後之を全市に布設の予定で居る。

新居濱市浸水区域圖 縮尺1/100,000

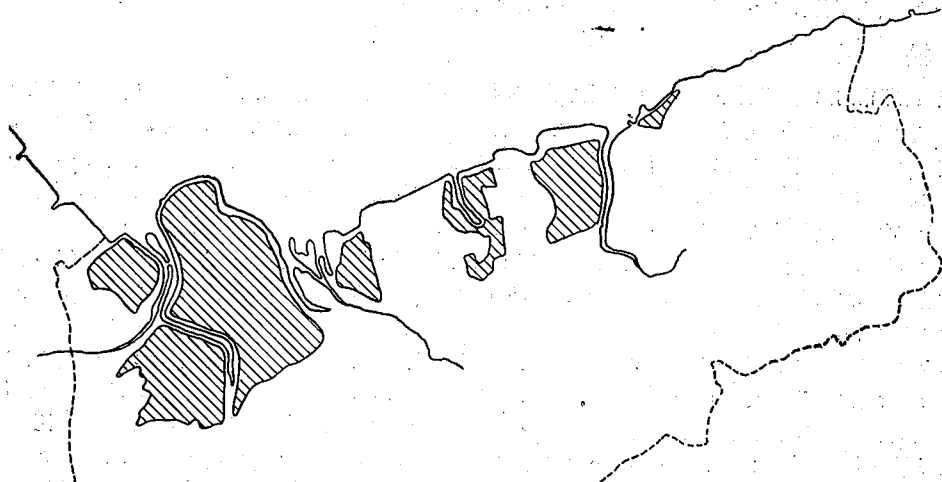


B. 西條市

西條市の沈下量は測定結果が手元がないので正確な数値は不明であるが多喜浜、壬生川町の沈下量よりおして40~50cm位であろう。

西條市は中山川、加茂川、室川にはさまれ沖積層地帯である爲か被害は案外に大きい。特に中山、加茂の両河川にはさまれた難波、禎瑞地域の海岸線及び耕地が最も大きな被害を受けて居る(特にキジヤ颶風時

西條市浸水区域圖 縮尺1/100,000



の高潮による) 西條市の被害額及び復旧率を総括すれば次の如くである。

破壊家屋248戸	床下浸水36戸		
農耕地被害面積	821町歩		
河川	26,264,000円	此の内76%復旧済	
道路	5,869,000円	" 36% "	
都市	13,505,000円	" 21% "	
海岸	25,553,000円	" 44% "	
農耕地	112,196,000円	" 13% "	
港湾	699,000円	" 7% "	

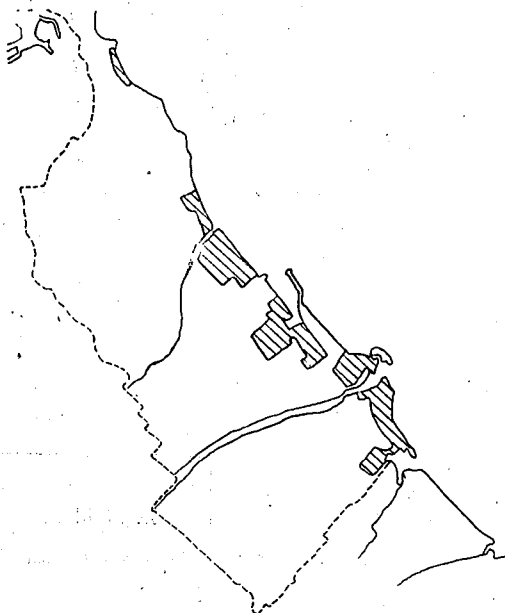
となつて居り西條市全体では約37%しか復旧工事が完了して居ない。

今治市浸水区域圖 縮尺1/100,000

C. 今 治 市

今治市は四国では屈指の工業都市である(特に綿業、タオル等)此れが蒼社川の下流に広げた平地であり、地盤のあまり良くない所へ今回の地盤で沈下し(22cm) 加えて風向の関係で被害は案外に大きい、キジヤ颱風にともなう高潮はほとんどが海から直接被害を及ぼしたもので蒼社川の両岸約300ヘクタールが浸水した、此れに対して海岸線、河川堤防樋門等を60~90cm宛嵩上げて居る。

今治市の被害額は河川—13,855,000円(91%) 道路—3,391,030円(25%)、都市—12,817,000円(0%) 海岸—47,439,000円(22%)、農耕地—62,565,000円(20%)、漁港—43,222,000円(19%)、港湾—45,979,000(50%)となつて居る… ()内は昭和25年度末に於ける復旧工事の進捗率を示す…



—25—

今治港は尾道、宇品への連絡船の港であり45,979,000円の被害額に対してわづか13,763,000円の査定しか受けて居らず根本的な修築工事を要するもの様である。

D. 松 山 市

松山市旧市内に於ける沈下量38cm、三津浜地区28cmとなつて居る。松山市に於ては北部久万川河口地区、三津浜町地区、重信川河口地区が被害を受けて居る。先づ久万川河口附近について言えば、久万川の西方坂浪より堀江に至る海岸には全面的にほとんど堤防と見做される程の物がなく、その爲に数次の高潮の都度これを越えて浸水した。特に昭和25年9月13.14日に此の地方をおそつたキジャ颱風時には久万川を逆流した海水と共に全面的に和氣町の水田をひとのみにし約70町歩が収穫皆無となり数戸の住宅を破壊又は流し去つた。又三津浜地区では内港深く入つた高潮が堤防を越え45町歩の耕地を浸して居る。三津浜の市街地地区は全体に低く小河川の西側に面する区域は特に昔より排水に困難を感じて居つた所であるが沈下後はますます悪化し20馬力及び6馬力のポンプを1基据え付け下水の排除を考えて居る。恒生港及びその周辺の水田(重信川河口北側)もキジャで被害を受け50町歩が収穫無し、以上相当広範囲にわたり耕地に浸水した爲収穫に及ぼした影響3,800石減収。又破堤その他直接には冠水せずして浸透等による塩害と見做される減収1,600石、河川被害延長—1,018m その被害額9,974,000円、道路被害—539m—6,451,000円、都市被害23,691,000円、海岸被害—3,293m—44,464,000円、農耕地被害—87,455,000円、漁港被害—877m—117,277,000円、港湾被害—1,277m—15,882,000円。復旧状況は堀江港防波堤170m松山西港護岸420m、恒生港防波堤210m同護岸540mを残し海岸港湾の修理は完了して居る。

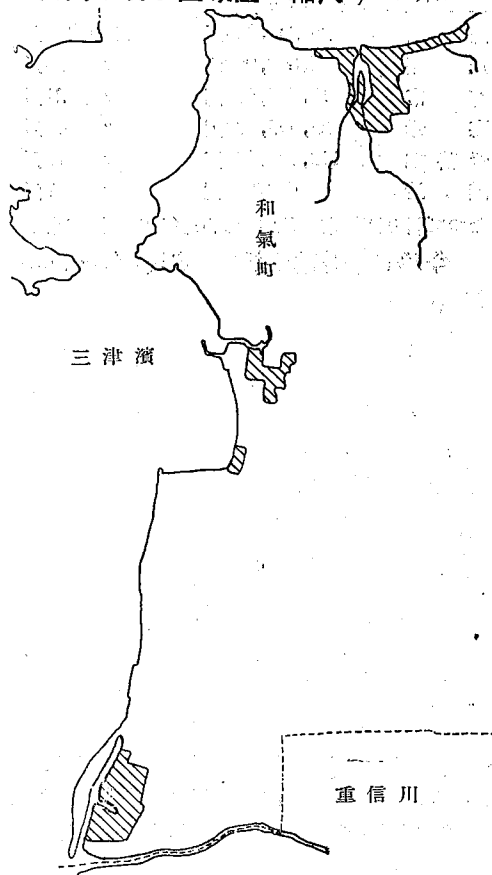


松山市三津浜町(キジャ颱風時に於る縣道郡中—三津濱線の被害状況)



松山市和氣町(久万川左岸の冠水せる水田—キジャ颱風時)

松山市浸水區域圖 縮尺1/100,000





又海岸線全域に防潮壁を作り、或は堤防、護岸の嵩上げを行う等地盤沈下に対する恒久対策を立て農業に対しては排水施設、除塩対策、肥料特配等万難を排して復興に努めて居る。何と言つても松山市は四国の西の支関であり高潮、洪水氾濫等の心配なく増々発展する様早急に根本的、恒久的な復旧が望まれる。

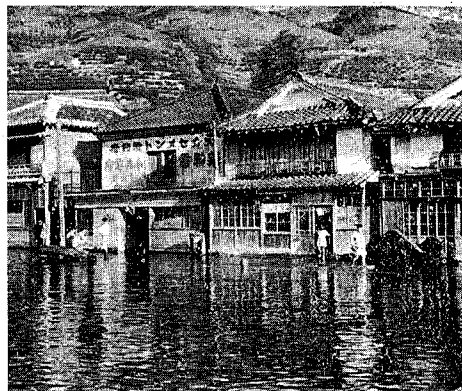
(左) 松山市和氣町(キツヤ颱風の時高潮の爲に枯死した稲—昭26.2.15)

E. 八幡濱市

八幡濱市は四国西岸のリアス式海岸の都市で山麓が海岸にせまり都市の面積は小さい。結局地盤が良いのと一般に高いので沈下(16cm)による被害は他の市郡に見る様な大きなものではない、八幡濱港の兩岸特に東側及び東北方の市街地が浸水の被害を受けて居る。



八幡濱市内(キツヤ颱風時の市内浸水状況)



同 左

次に八幡濱市提出になる被害状況を見れば、直接地震、沈下のみ起因するものが、

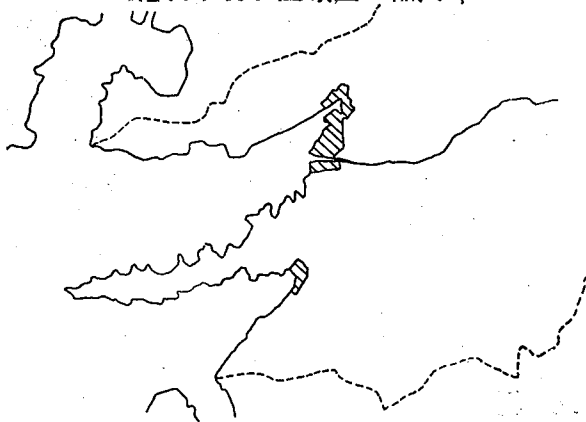
家屋浸水	650戸
河川堤防被害	210m
道路被害	7ヶ所 1,650m
浸水耕地	2町歩
防波堤沈下	1ヶ所 370m
港湾物揚場浸水	10ヶ所 1,584m
漁港船曳場被害	1ヶ所 100m
〃 網干場被害	5ヶ所 2,000坪
〃 護岸被害	3ヶ所 800m
〃 上水道被害	3ヶ所 2,000m

となり此の他に毎年大潮毎に浸水する箇所が25.0ヘクタール。沈下後颱風による高潮で被害を受けたものに港湾物揚場崩壊流失1ヶ所180mがある。これに対して復旧状況を見るに現在までに復旧済の箇所は

-27-

道路	3ヶ所	841.0m
河川	2ヶ所	850.0m
防波堤	1ヶ所	80.0m
物揚場	4ヶ所	953.0m
しかなく未復旧個所はまだ		
道路	4ヶ所	809.0m
河川	1ヶ所	60.0m
防波堤		150.0m
物揚場	6ヶ所	631.0m
船曳場	1ヶ所	100.0m
網干場	5ヶ所	2,000坪
護岸	3ヶ所	800.0m
上水道	3ヶ所	2,000m

八幡濱市浸水区域圖 縮尺1/100,000



が残されて居り全体として25%の進捗率に止り今後に残されて居る工事額は42,017,000円(査定額に対し)に及んで居る。

根本的な対策としては八幡濱市独自で別に計画されて居らず。現在では應急的な復旧に日夜心痛して居る様子である。

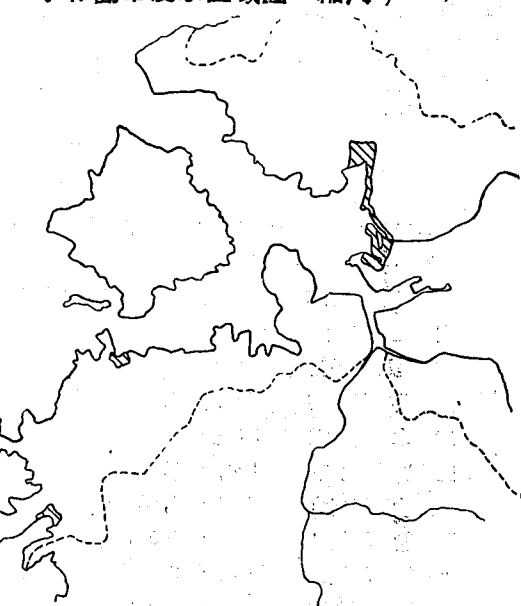
F. 宇和島市

宇和島港は現在指定港湾であるが面積55万坪で時化の時でも63%即ち34.6万坪が安全碇泊地として残り港湾施設としても相当な施設があるので宇和島市では第二種重要港湾の資格ありとの自信を持つて居る。



宇和島市内(キツヤ颱風時に於る宇和島内港の高潮状況)

宇和島市浸水区域圖 縮尺1/100,000



(昭和24年度港湾統計によれば全国平均1人当り1.8tonの荷動きに対し宇和島市は1人当り3.2tonの荷動きとなつて居る)ところが此の宇和島港及び宇和島市が周辺より群を抜いて29cmと言う沈下を生じたのでその被害及び宇和島の市勢に及ぼした影響は想像外に大きい。被害及復旧済額をあげれば、

道路被害金額24,067,000円で復旧済額は20,485,000円、都市では75,702,000円に対し1,832,000円、農耕地では34,834,000円に対し10,190,000円、漁港では581,410,000円に対し1,023,000円港湾では2,216,000円に対し2,002,000円となつて居り総被害額718,229,000円査定額75,566,000円で査定額の総被害額に対

する割合はやつと1/10それに加えて査定額に対する復旧率は47%と言う貧弱なものである。その爲ばかりでもあるまいが(全体に地盤が低く市の中央部で沈下前の標高2.29m)宇和島市では現在尙浸水の危険にさらされ、被害は続いて居る。四国西南地域総合開発計画区域内の唯一の大港湾である宇和島港ではあり根本的恒久的な対策を早急に樹立し明日の四国の一大中心地としたいものである。

C. 宇 摩 郡

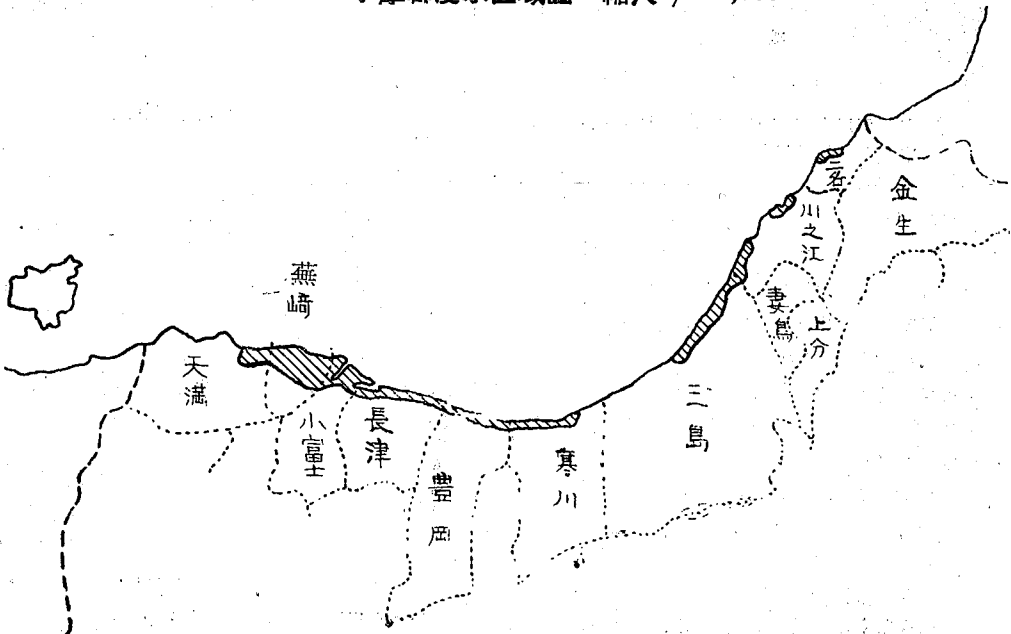
愛媛県ではこの宇摩郡と周桑郡が最も大きな被害を受けて居る。香川県との県境から新居郡に到る海岸全線に亘り相当奔達して居た寄州はなくなり少しの風浪でも家屋を洗う。三島町に於ける沈下量0.38m

宇摩郡を東から順に被害及び復旧の状況を見て行けば、県境から川之江町に到る二名村は一般に山麓が海岸にせまり被害は極少である二名村長須より川之江町の金生川河口までの海岸沿い区道は波浪が路面え上る爲波止バラベツト工事を行い既に完成して居る。次に川之江町の二次的な被害について見れば、

- イ) 耕地の荒廃による復旧費、収穫減少による収益減等により預金の引出し預金の激減税徴収の不成績を引起した。
- ロ) 収穫に直接大きな影響をもつ肥料、農機具の購入、労務者の傭入等の資力にとぼしい貧農は収穫減の爲供出は不良となり、質は低下し、他地方への出荷適品は漸次減少して居る。
- ハ) 物品購買力の低下の爲小商工業者は採算のとれぬ投資を生じ一時的ではあるが商品適價の維持が困難となつた。
- ニ) 賃金日傭、轉業等による労働者が安定所に殺倒し求人側はこれを見越して低賃金の労働にしか應ぜず一時ものすごい低賃金労働者を生じた。
- ホ) 在来ならば税収成績は85%位であつたが沈下災害後納税不振となり50%前後と言う状態である。
- ヘ) 川之江町周辺の家域は西に向つて広く西北の風波は相当なものでその爲沿岸低地帯(60%)は大潮時には常に海水浸入の危険にさらされて居る。

と言う状況である。川之江町から三島町に至る約4kmの海岸は災害助成工事(工費7,900万円)で一應嵩上げ、バラベツト等應急工事を完了して居る。

宇摩郡浸水区域圖 縮尺1/200,000

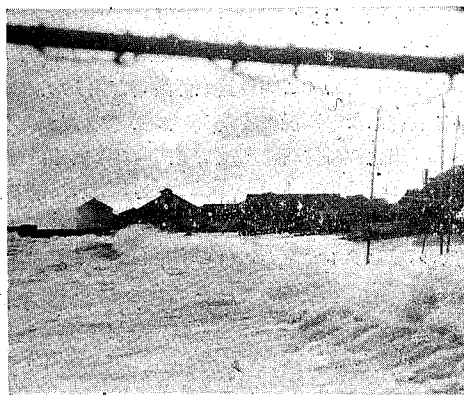


前述した如く三島町に於ける沈下量は38cmであるが三島町民が日夜潮位との相対的な沈下として見て居るのは約70cmで、事実嵩上げ工事はこれを基準に行われて居る。地震による直接被害は海岸堤防約1,200m(自宮ノ川、至赤ノ井川)、三島港防波堤250m、三島港護岸60mで、具定から金子に至る約1,200mの海岸堤防は地盤沈下後の颱風で被害を受けて居る。又毎年の大潮には耕地30ヘクタール、宅地10ヘクタール家屋45戸が浸水の危険にさらされて居る。沈下後全々使用出来なくなつた耕地が町歩ある。

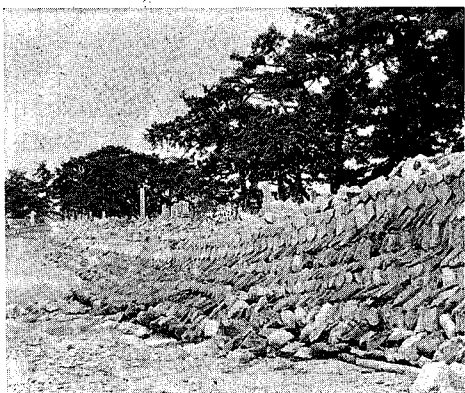
此れに対して復旧は、寺川附近海岸堤500mを建設省の補助を得て県で、又金子の海岸約200mは農林省の補助を得て町でそれぞれ復旧して居る程度で、未だ約2,000m近い海岸堤は完全に復旧されないままで放置され少しの高潮にも町民は懸々競々として居る。小富士村、蕪崎村、長津村は関川下流の平地であり海岸堤防の延長が長く従つて被害も大きい。長津村東宮より天満村西ノ江に到る海岸堤防約8kmについて2億3,000万円を計上して海岸堤修築工事を行つて居る。小富士村に於ける浸水面積60町歩この爲産米事前割当1,059石を159石に減額した、蕪崎村に於いては地震により海岸線全段(4,000m)にわたりその被害を受け堤防、護岸を狂損一部は崩壊した。その後高潮により約60町歩が浸水し宅地150坪、家屋2棟水田約3反、山林約8反が全々その用をなさなくなつた。又海岸の寄州が喪失し水田約15町歩は作付不能となつたのである。然しこれ等に対し早速萬難を排して復旧に着手し現在すでに2ヶ所630mの海岸堤を修理し現在も着々と復旧につとめて居る。



宇摩郡川之江町(キジャ颱風時の宇中須町の浸水状況)



宇摩郡川之江町(キジャ颱風時の海岸)



宇摩郡松柏村(40間ばかりあつた寄洲が全々なくなり護岸崩壊の原因となつた)



宇摩郡三島町(昭23.10.4午後10時30分頃宇川原町海岸の高潮状況)



宇摩郡小富士村(大字藤原海岸の堤防が決潰し一瞬にして耕地は海と化した—キシヤ颱風時)



宇摩郡寒川村(キシヤ颱風時の海岸高潮状況—大字江ノ元)



宇摩郡長津村大字上市(海岸堤防が決潰し冠水した水田)



宇摩郡燕崎村(海岸堤破壊状況—キシヤ颱風直後)

天満村、燕崎村、小富士村、長津村の4ヶ村は結集して西宇摩海岸防災工事促進期成同盟会を作り関係各方面に早急な対策樹立を陳情して居る。この計画によれば136,000,000円の工費を投じ築堤102,000m³、護岸30,600m²根固5,800mの工事を行うことにより水田533町歩、畑100町歩、人家730戸を高潮の危険から防ぐことが出来る。宇摩郡の中心と言えは三島であるが、三島町は耕地の割に人口が多く相当数が製紙に従事して居る。ところが沈下後海岸沿いの住宅は常に波浪の危険にさらされ、加えて製紙工場の流す「アタク」が風向きによつては(特に冬期)再び海岸に吹きよせられこれが海岸沿の住居に吹き込んで来て実に不衛生である。この爲海岸沿いの住居に対しては何らかの手をうたないことには三島町の発展すらあやぶまれるのではあるまいか。

宇摩郡に於ける被害総額714,256,000円、復旧査定額395,122,000円この比率55.3%査定額に対する復旧済額192,013,000円この進捗率19%こうして見ると未査定箇所を含めて頭初に被害と見做されたものの27%しか復旧して居ないこととなる。(昭和25年度末)

H. 新 居 郡

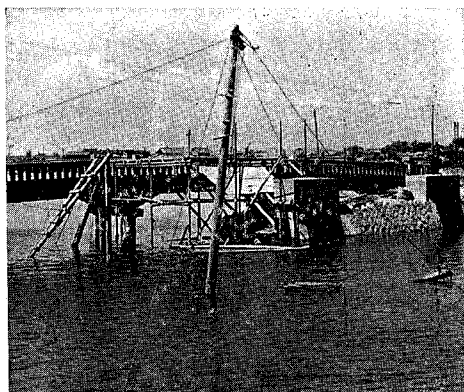
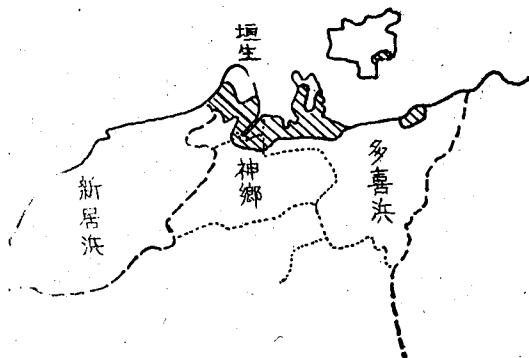
新居郡の海岸線は新居浜市、西條市を含んで居る爲割合に短い。多喜浜町に於ける沈下量39cm、地盤沈下による破壊家屋87戸、床上浸水15戸、床上浸水170戸、農作物被害面積67.7町、主穀減收4,623石、塩田被害

12,499,000円となつて居る。建設省関係では河川16,356,000円、道路3,346,000円、都市11,400,000円、海岸堤39,686,000円、農林省関係では農耕地40,853,000円、漁港231,110,000円、運輸省関係では港修38,634,000円となつて居る。これを公共事業のみ集計すると被害総額381,425,000円、これに対しての査定額が146,258,000円、査定額に対する復旧済額が69,924,000円、で進捗率48%となつて居る。次に新居郡東部の一村、垣生村を例にとつて其の二次的な被害を見ると。

- イ) 地震による被害で倒産した者はないが地盤沈下の爲漁港が破壊し漁船の碇繋場がなくなつた爲累次の颱風により漁船の破損、漁網、漁具の破損流失等により漁業者で倒産した者が相当数あり之等は現在日傭労働者、行商人等となつて辛じて生計を営んで居る。
- ロ) 地盤沈下による海水浸入及び排水不良による水害等の爲水稻の生産は22年23年け供出量に於て約40%。24年20%、25年30%と夫々減額となり、又麦は濕田化した爲栽培不能となつた耕地が相当多く毎年20~40%の供出減となつて居る。

その他税金について見ても垣生村は15ヶ年間完納を続け優良村であつたが昭和23年以降はこれが滞納甚だしいとか、物價は昂騰の一途であるとか色々問題がある。

新居郡浸水区域圖 縮尺1/200,000



新居郡垣生村(兵岩水門新設工事の状況)

I. 周 桑 郡

周桑郡は前述の宇摩郡と共に被害の大きい郡である。壬生川に於ける沈下量55cm(この沈下量は愛媛県下に於ける最大のものである)その爲吉井村から楠河村に至る海岸線全般に甚大なる被害を及ぼして居る。(海岸延長19,400m海岸沿線町村5ヶ町村)。

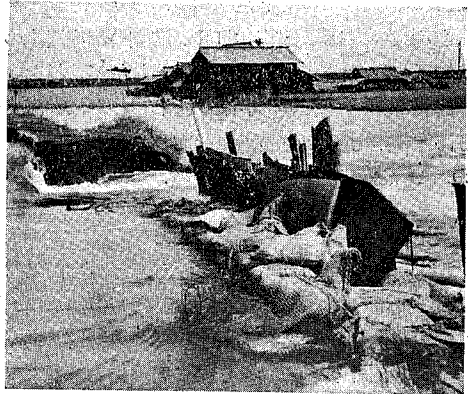
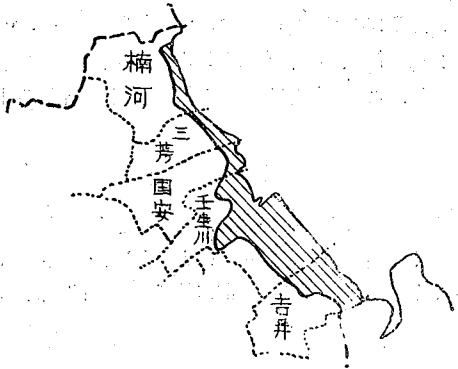
周桑郡の海岸沿い町村は中山川、大明神川のデルタ地帯である吉井村、壬生川町及国安村の一部は普藩政時代の干拓事業であつて海面に築堤して陸地とした地域である。海面側は石積とし直接波浪を受ける部分には最大満潮面より2.50m~3.00mの高さを石積して居る。

入江部分或は小河川の流入する部分には60cm~1.00mの余裕がある様に天巾は1.50m~2.00m、背面は土羽打として居る。それでも堤内の耕地と海底との等高な堤内には海水が浸潤し或は悪水が溜るのでこれを防ぐ爲堤内に潮溜を造り干潮時に樋門、又は水門に依つて排除して居る。この様にして堤内の拡大な農耕地及び住居を保護して居つた。

処が南海地震により此の軟弱地盤の全地域は石積の狂損或は崩壊を來し、加えて地盤の沈下の爲満潮時には海水溢流する箇所を各所に生じた。以下壬生川町、国安村、楠河村について被害及び復旧の状況を見れば次の如くである。

壬生川町では地震により全壊家屋380戸、被害家屋1,700戸を出し5名が死亡し25名が負傷した。キジャ

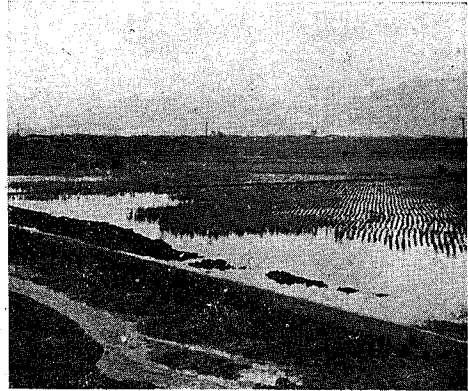
周桑郡浸水区域圖 縮尺1/200,000



周桑郡壬生川町(三津屋大曲川下流決壊の状況—昭25.9.13キツヤ颱風時)



周桑郡国安村



周桑郡壬生川町(農林省の補助で潮溜防潮壁を施工したが湧水多く作付け出来ず—干潮時)

颱風では堤防12ヶ所(150m) 道路3ヶ所(260m)が決壊又は流失し全耕地の2/3が冠水、家屋1,720戸に浸水した。昭和23年以來塩害による減収は毎年来10,000千円、麦4,000~5,000千円となつて居り従つて取扱機関たる農業協同組合には保管料、手数料等で50~70万円の収入減となつて居る。これ等の多方面に亘る被害に対して復旧は、現在までに河口川、一ツ橋川に樋門を新設し、壬生川北新田の海岸線を復旧し、50馬力2台、25馬力1台、20馬力1台の排水ポンプを設けた、然し昭和23年度に嵩上げを行つた海岸堤7,000mも其の後の潮位の変動によるものか昭和25年には又々被害を受けて居り約8,000mは至急嵩上げ補強を行わなければならない。田畑の地力も4ヶ所の排水ポンプと樋門の効果によりやつと80~90%まで復旧したが尚3町歩は作付不可能のまま放置されて居る。

国安村に於ては地震により堤防550m養魚池周壁150mが被害を受け引続く地盤沈下及び颱風高潮で護岸3ヶ所、堤防4ヶ所が破潰され畑14町歩、水田55町歩に浸水し家屋流失1戸同浸水40戸を出した。以上の被害により畑が5反歩、水田1町歩、家屋1戸が流失又は埋没されて使用不能となり畑14町歩、水田70町歩、宅地3町歩が常に浸水の危険にさらされて居る。此れに対する復旧状況は、口径340mmの軸流ポンプ(20馬力)1台を新設し護岸3ヶ所(1,200m)を割石練積にて補修し捲上樋門(鉄筋コンクリート、捲上機装置)1ヶ所、塩止井堰(コンクリート井堰、高3尺、巾27間)1ヶ所を新らしく造つた。それでも尚護岸1,500m、水田40町歩、畑14町歩、養魚池4ヶ所が未復旧であり、護岸900m、水田22町歩、畑10町歩、遊水池延7反歩、水路2,000m遊水池壁500mを修理或は復旧すべく計画して居る。

最後に簡河村でも沈下及び颱風により47町歩が被害を受け水田、宅地等5反歩が使用不能となり未復旧箇所の宅地2町歩、田畑40町歩が満潮の都度浸水の危険にさらされて居る。

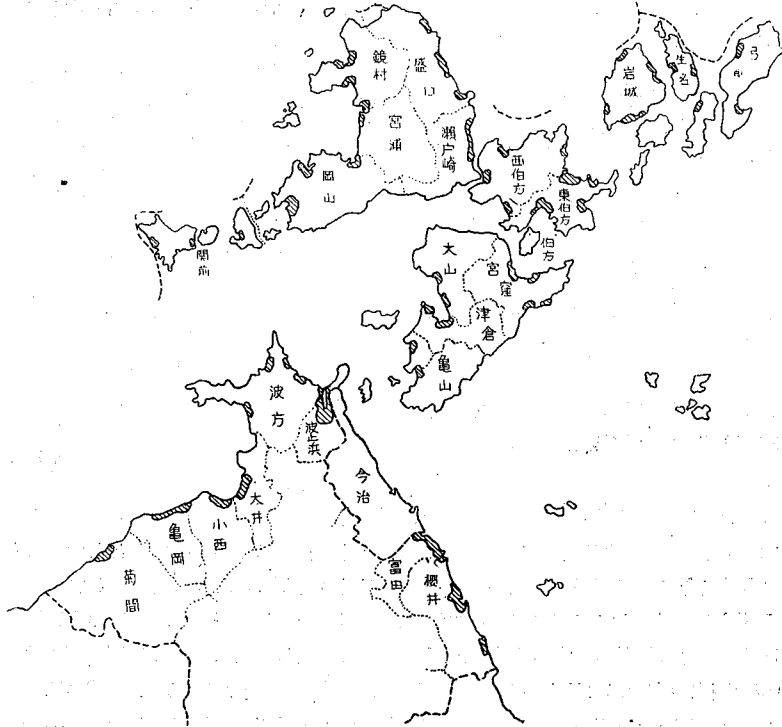
以上長々と被害復旧の状況を記述したがこれを金額的に見るに公共事業関係のみで総被額害 638,250,000円査定額389,443,000円復旧済額110,524,000円で約55%の復旧状態と言うことになる。

周桑郡特に壬生川町の沿岸は海苔の養殖の盛んな処であるがこれが沈下後大きな被害を受け干満に支配されない養殖方法を研究中である。

J. 越 智 郡

越智郡は愛媛県の島嶼部のほとんどこの郡に属して居ると言つてもよい程島が多く、大きな島だけでも大島、伯方島、大三島等がある。これ等の島は相当に大きく香川県の小さな一郡にも等しい程の面積であるが山嶽部がほとんどであり島嶼部の被害はあまり大きくない。沈下量は今治市に於て22cm 波止浜町に於て26cm菊間町で32cmとなつて居る。

越智郡浸水區域圖 縮尺1/400,000



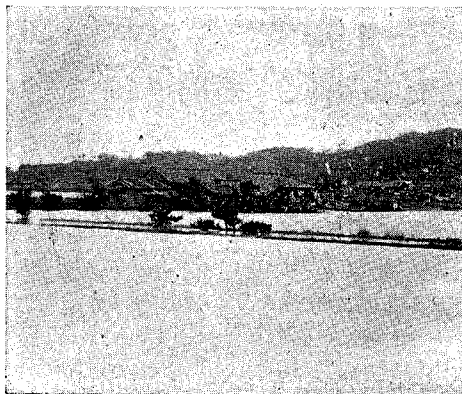
越智郡を東から順に見ると、まず櫻井町は周桑郡に接した町で被害も相当に大きい。郡ち沈下量は壬生川今治のそれより推して30~40cm位と思われるが満潮面と耕地との差は案外大きく0.50~3.00mも耕地の方が低く(勿論部分的にでありこれは沈下前から低かつたものと思われる)その爲海水が浸透し、或は排水不能の爲耕地及び市街地に浸水して居る。海岸線及び河川の堤防延長3,600mが波浪により天端を浸蝕され遂には破堤して居る。この様な直接の被害ばかりでなく今迄海岸で石灰製造を行つて居たところが沈下後海水が浸入して立退きを余儀なくされ、原石を海上搬送によつて居た爲適当な場所もなく結局轉業せざるを得なくなつた側もある。昭和15年夏の農作物減收、米272石、麦48石、甘藷8,400貫、これに対する復旧も何処も同じ様に海岸堤防1,220m修築、大川堤防130m修理、樋門2ヶ所、護岸350mを完了したのみでまだまだ海岸及び河川の堤防4,950mが未復旧のまま残つて居る、(これに要する工費48,270,000円)

その爲に大潮の満潮時に浸水の憂ある個所は田 80町歩、畑35町歩、平地 9,000坪に及んで居る。次に隣の富田村は地震による直接被害はないが沈下及び高潮で海岸堤防3ヶ所(150m)が決潰(これが富田村の海岸線全線にわたつて居る爲被害の範囲は広い)河川堤防2ヶ所(延長70m)が破壊されて居る此の爲堤内地の人家15戸に床上浸水し田25町歩(收穫皆無5町歩、減收20町歩)畑5町歩(收穫皆無3町歩、減收2町歩)に被害をあたえて居る(これはジェーン及びキジャ颱風によるもので地元富田村では沈下量は約60cmと見て居る)

これ等農地に及ぼした被害を復旧し1毛田を2毛田にすべく、又作付不能の耕地も何とか昔の状態にかえすべく樋門3ヶ所、水門3ヶ所を新設し堤防12ヶ所を補修して居るがまだまだ今後に残された問題の方が多い。その他櫻井町とて同じことであるが井戸水の使用不可能になつたものが相当あり簡易上水道の計画をもつて居る。



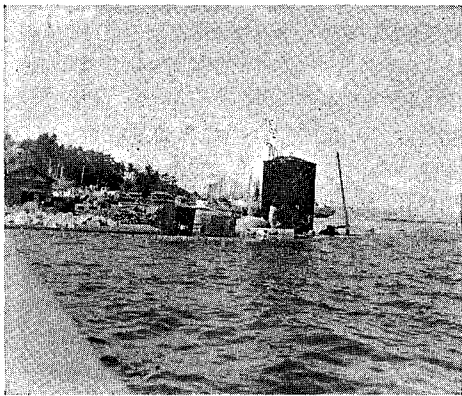
越智郡櫻井町キジャ颱風時の高潮假
防工事一約1合引 昭25.9.13午前11
時40分



越智郡波止濱町(キジャ颱風による
浸水状況)



越智郡波止濱町(キジャ颱風によ
る塩田土砂流失)

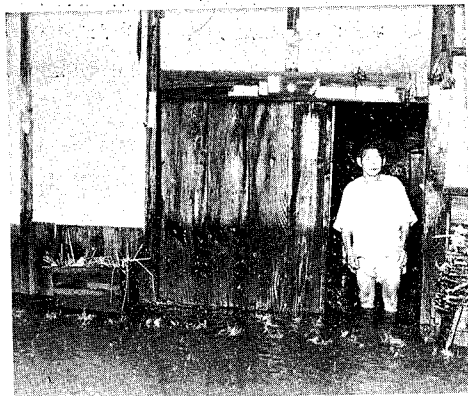


越智郡波方村(復舊前の海岸)

波止浜は往昔は浅い海であつたものの如くこれが海岸線の隆起と干拓事業によつて次第に陸地となり現在の様な耕地と塩田の分布を見るに至つたのである。従つて塩田、及び耕地の周囲は町道、農道或は堤防を構築し海水の浸透を防いで居つた。これ等町道及び堤防は昭和初年のもので既に相当の年月を経て居り塩田、耕地の維持上寒心に堪えないものであつたが数次の災害に際してはその都度部分的に補強を行つて居つた。ところが南海地震以降これ等の沿岸地帯は甚しく沈下し(地理調査所の測定によれば26cm)大潮の度毎に海水浸入し海岸一帯の塩田耕地及び住居に多大の被害をあたえる様になつた。そこで早速これ

が緊急対策として約1,400mの堤防、護岸を補強したが、いづつ災害は到底これでは防ぎ得ずキジャ颱風時には家屋867戸に被害をあたえ農耕地86町歩、農道317m、水路185戸、塩田14町歩を流失又は破壊、埋没せしめた。そこでこれが根本的解決方法として入江の狹隘部に堰堤及び大樋門を築造せんとして居る。これが完成の時は波止浜町の高潮及び沈下被害は一掃される(5万分之1地形図上で延長約80mとなる。この工費65,000,00円)

大井村に於ける被害は字九王の海岸約600m(未復旧)字三軒家の堤防1,500m(500m未復旧)脇裾の堤防約500m(200m未復旧)が破壊され約28町歩の耕地あるいは宅地に浸水した。



越智郡菊間町(キジャ颱風にともなう高潮の町内浸水状況)

菊間町に於けるキジャ颱風にともなう高潮の被害、浸水家屋487戸、流失道路70m、決潰堤防200m、港湾250m、埋没田畑4.5町歩、浸水田畑21町歩、この爲約210名の住民は「きくま」駅後方の八幡神社に避難した。これに対して海岸堤防600m、河川堤防400mを嵩上げ補修したのみで未だ根本的には解決されず約4町歩の田畑が塩害の爲耕作出来ないまま放置されて居る。町では予算措置を構ずると共に起債により海岸線及び耕地、上下水道の復旧を3年計画で実施すべく計画中である。

以上述べた町又は村のその部分の外は主として山麓海岸にせまり道路がある程度で大きな被害はない、又島嶼部は細部について調査もして居ないが地形的にも大きな被害はない様である。

越智郡の全被害額1,113,991,000円、査定額516,972,000円で昭和25年度末に於ける復旧率は38%にしかすぎず愛媛県全体の平均から見てもあまり進んで居ない郡である。

K. 温泉郡

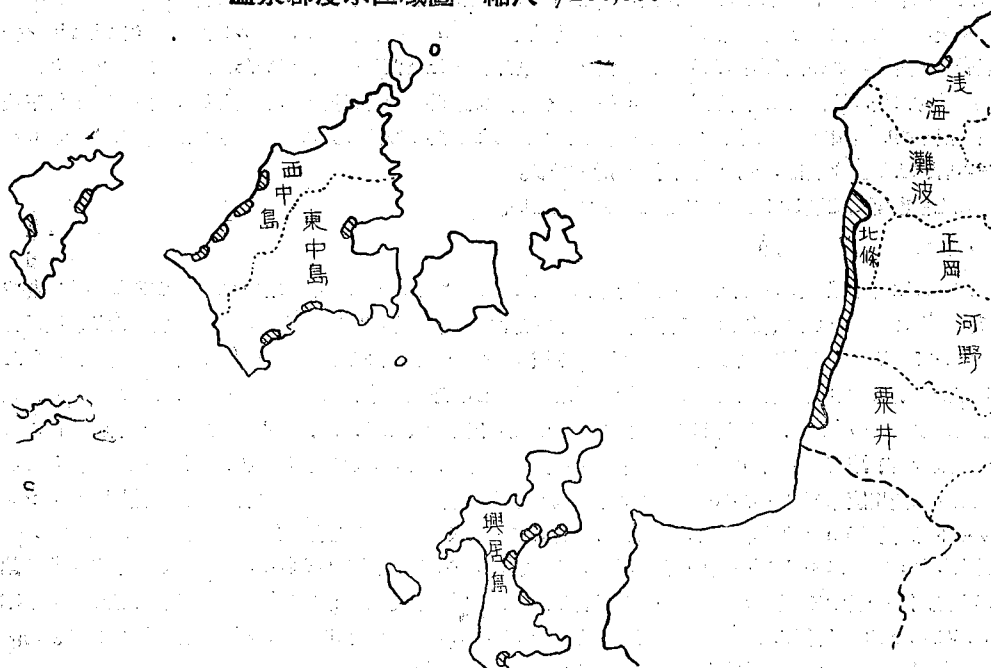
温泉郡に於ける地震及び地盤沈下の被害は次の通りである。破壊家屋165戸、床上浸水4戸床下浸水357戸、農作物に被害のあつた面積は316町歩で減収主穀1,915石、公共事業関係では河川被害4,502,000円、同査定額5,103,000円、同復旧率9%。道路では被害39,233,000円、同査定額27,617,000円、同復旧率33%砂防被害17,016,000円査定額6,807,000円を復旧完了、都市被害(主として上、下水道)12,525,000円、同査定額45,884,000円、同復旧率18%。海岸関係では被害額110,430,000円、同査定額76,151,000円で復旧率56%。農耕地被害58,109,000円、同査定額15,979,000円、復旧率は34%。漁港被害、これが群を抜いて大きく584,336,000円ところが此れに対する査定額は14,616,000円で査定に対する復旧進捗率21%。港湾関係被害14,420,000円、同査定額12,060,000円、同復旧率46%。となつて居る。これを集計して見ると40%の進捗状況と言うことになり査定額に対して今後122,981,000円を要することとなる。

此の様な被害を生じた沈下量は菊間町及び松山市のそれより推測して35cmであると考えられる。温泉郡で海岸に沿つて居る町村は北から浅海村、難波村、北條町、河野村、栗井村であるが浅海、難波の両村は海岸線が短くあまり被害はない、そこで北條町について見ると

地盤沈下及びキジャ颱風に基く高潮の被害は床上浸水224戸、床下浸水581戸、護岸決潰5ヶ所(171m)。堤防破損4ヶ所(43m)及び道路に若干の損害をあたえた。もともと北條港の内港西側は割合に高く床下浸水程度であつたが東側は一般に低く、明星川、長沢川を逆流した海水は北條門を南北に浸水し家屋耕地に被害を生じて居る。

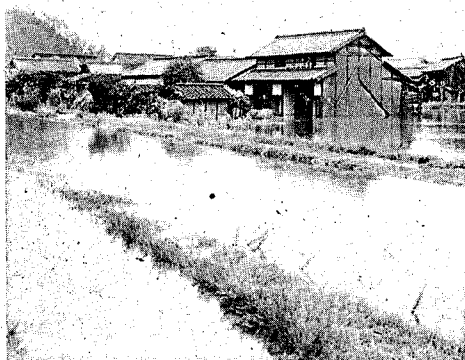
冠水田	(塩水) 20町歩	約7割の減収
冠水田	(淡水) 10町歩	
冠水畑	(塩、淡水) 2町5反歩	

温泉郡浸水区域圖 縮尺1/200,000



復旧について見ると北條港岸壁嵩上げ600m、海岸堤防復旧580m、河川堤防復旧455m、樋門、水門修理460m、道路嵩上げ425mが終つて居り計画のみで未着手の部分が相当あり、北條町内15ヘクタールの市街地、水田は常に浸水の危険にあり約6反の耕地及び約3反の宅地は沈下後ほとんど使用出来なくなつた。

鉄道より西側即ち海岸側の耕地は沈下の影響が大きく客土、水路の修理を必要とする。この工事費約20,000,000円。又北條港に接する東側住宅地は嵩上げを行つた岸壁より0.50~1.00mも低くなつて居り約100戸の住宅は日夜海水の浸入を心配して居る。これの地上げに要する工事費概算15,000,000円。その他飲料水の確保、下水道設備の早急な実施を必要とする。



温泉郡北條町字新開 (堀切川よりの
氾濫状況)



温泉郡北條町 (明星川筋の氾濫状況)

河野村の被害及復旧の状況、

沈下及びその後の高潮による被害は海岸線(約1,800m) 全般にわたり、家42戸、田20町歩が浸水を受

けた。沈下後使用不能となつた水田及び宅地約7反、常に浸水の危険にさらされて居る面積12町歩、町村工事及び県工事により現在迄に復旧済の護岸及堤防1,100m、堀切川、南川、江ノ口に捲揚機による樋門新設各一ヶ所宛、この様な遅々たる復旧で河野村の沈下対策はまだその緒についたばかりの感である。

粟井村に於ける被害は海岸線2,400mの全線高潮(大潮時)の都度浸水の危険ある地域50町歩、沈下後使用出来ない水田5町歩、家屋5戸、現在迄に復旧せる堤防及び護岸等10ヶ所、未復旧箇所12ヶ所、ヒューム管による排水設備2ヶ所、樋門7ヶ所を新設。

以上他市郡に比較してさまで大きな被害ではない。

L. 伊 豫 郡

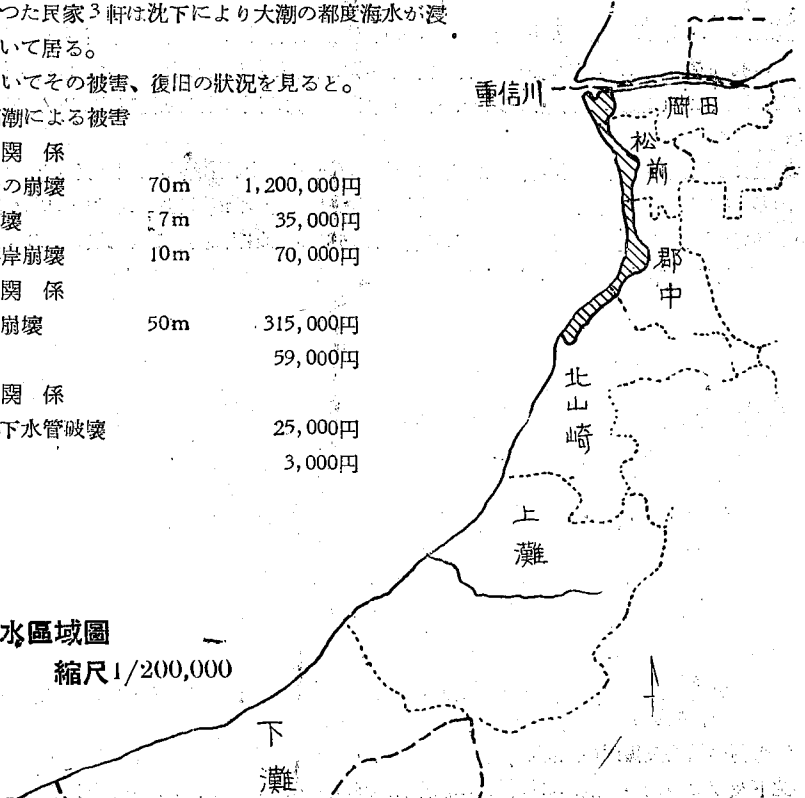
伊予郡は海岸線の長い割合に山麓が海岸にせまり、わづかに重信川の河口附近に平野があるのみで従つて被害もこのあたりに集中されて居る。此の平地部に岡田村、松前町、郡中町、北山崎村がある。岡田村について見ると、大字西高柳重信川橋以西の地域420町歩が地震により、大字塩屋地域内の海岸に面した25町歩、岡田村中央を東西に流れる国近川周辺60町歩が沈下後高潮により被害を受けた。その爲遂に大字塩屋字新開の水田約10町歩及びその他25町歩が使用出来なくなつた。現在も尙大字塩屋の新開地区25町歩と国近川下流河口地域の10町歩は大潮の都度浸水の危険にさらされて居る。次に復旧の状況を見ると、塩屋西七宝川護岸505mの内285mを50cm嵩上、塩屋西新開水田25町歩を30cm客土、西新開護岸(コンクリート)延長800mを50cm嵩上が現在までに町村に於て、又塩屋海岸線防波堤唐800m中250m(天場巾1.5m嵩上1.5m)を県に於て、重信川橋以西3.2kmを建設省に於て50cm嵩上がそれぞれ施工されて居る。その他にも樋門を新設する等種々復旧に努力して居るが未だ前述の如き浸水危険区域、使用不能地区があり根本的には解決されて居ない。主なものだけでも七宝川護岸220m、国近川護岸1,500mが未復旧である。塩屋海岸堤防附近にあつた民家3軒は沈下により大潮の都度海水が浸入する爲遂に立退いて居る。

次に松前町についてその被害、復旧の状況を見ると。

キジヤ颱風と高潮による被害

1) 港 湾 関 係		
内港新立護岸の崩壊	70m	1,200,000円
義農道護岸崩壊	7m	35,000円
仲吉橋北側護岸崩壊	10m	70,000円
2) 河 川 関 係		
長尾谷川右岸崩壊	50m	315,000円
その他		59,000円
3) 道 路 関 係		
本村西側道路下水管破壊		25,000円
その他		3,000円

伊豫郡浸水区域圖
縮尺1/200,000





伊豫郡松前町 (キジヤ颱風後の
海岸堤復舊状況)



伊豫郡松前町 (キジヤ颱風による海水
浸入状況、左岸コンクリート壁は東洋
レーヨン株式会社)



伊豫郡中町 (キジヤ颱風時の町内
浸水状況)



伊豫郡松前町 (キジヤ颱風後の状況便
所も井戸も一緒になり不衛生である)

4) 家 屋

半 壊	8戸	400,000円
床上浸水	21戸	220,000円
床下浸水	285戸	1,425,000円

5) 耕 地

水田の水害	37町 6反	1,506,000円
水田の冠水	34町 2反	1,722,000円
水田の風害	55町	2,430,000円
水田の塩害	13町 1反	804,000円
雑穀 (水害、冠水共)	2町 8反	56,000円
蔬菜 (冠水、塩害共)	21町	105,000円
甘藷 (塩害、冠水共)	4町 4反	440,000円

となつて居り松前町民の話によると砂糖黍は塩害を受けて甘い砂糖がとれず、海岸の井戸水は塩分の含有量が増加して「河豚」が一週間も生きて居るそうである。

高潮が来ると海岸の住居は便所も井戸も一緒になり不衛生極りない、此の様な状態に置かれて居る約40戸は勿論のこと別の区域も鉄分の含有量が増加して飲用に適さず町としては早急に簡易上水道を完備すべく着々とその準備を進めて居る。松前町は農家1戸当りの耕地がわづか5反2畝しかなくこれをつぶして宅地にしようとする、坪700円(1毛田)の土地代と坪400円の埋立て料がかかる。その爲に最近では東建ての家が次々と建ち始めまるでベニスの感じである。ところがこれらがことごとく月2回位は床下一杯まで浸水して居る。建築のミステークであると簡単に見逃すわけにも行くまい。

上灘から下灘に到る旱道が波浪による害を受ける爲100m間隔に30~40mの捨石による波切水制を施工して波浪を防止せんとして居る。

三津浜及長浜の沈下量が各々28cmであることから推して伊予郡一帯の沈下量は28cm前後であろう。この爲に生じた伊予郡全体の被害は破壊家屋333戸、床上浸水100戸、床下浸水575戸、農作物に被害のあつた耕地325町その減收主穀2,517石となつて居る。公共事業関係では被害総額407,823,000円、これに対する復旧査定額192,953,000円、昭和25年度末までに復旧した額88,367,000円、で今後111,586,000円を要する。復旧査定額に対する復旧進捗率は45%である。

M. 喜 多 郡

喜多郡はほとんど海岸に平地なく僅かに長浜町及び櫛生村字櫛生、出海村出海があるのみである従つて被害も大きくない。然し一般に肱川の河床が沈下した爲潮位との相対的な関係から肱川の兩岸に若干の被害を生じて居る。

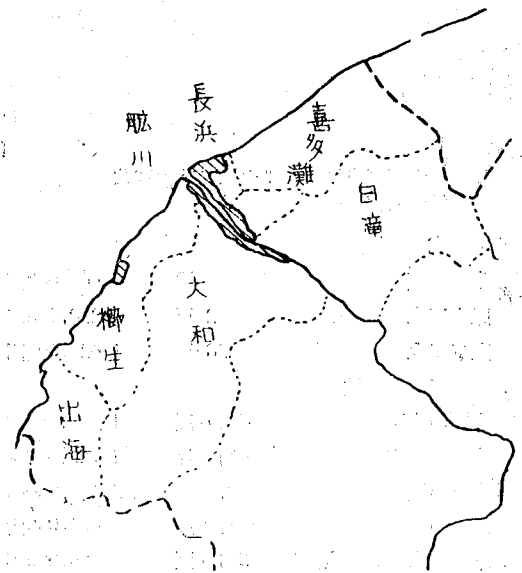
長浜に於ける沈下量28cm。この町は肱川の河口右岸側の町で僅かな面積に人家が密集して居りキジャ颱風の時は大半が浸水被害を受けた。耕地の塩害と思われるものはほとんどない。喜多郡下の被害額、復旧査定額、昭和25年度末における復旧進捗率次の如くである。即ち、河川関係14,881,000円、27,578,000円、58%、道路関係36,475,000円、33,303,000円、79%、都市関係(主として上、下水道)8,400,000円、13,412,000円、13%、海岸堤関係20,654,000円、11,185,000円、23%、農耕地関係5,340,000円、1,342,000円76%、漁港関係117,378,000円、9,900,000円、23%、港湾関係33,802,000円、26,005,000円、40%となつて居り、これを集計すれば被害総額246,930,000円、復旧査定総額122,725,000円、昭和25年度末に於ける復旧済額50,165,000円これの査定額に対する割合は46%で今後要する工事費総額62,559,000円となつて居る。

長浜に於ける細部にわたる状況がわからないのは残念であるが出海村について見ると次の様である。

直接地震によつては各所の石積に多少の「くろい」を生じた程度であるが其の後の地盤沈下により字出海の海岸約50mが被害を受け始め、

高潮の都度その被害は増大し全線にわたり約3町歩が被害を受けたそしてこの内約2町歩は今では常に浸水の危険にさらされて居る。沈下後全々使用出来なくなつた箇所も相当に多く宅地500坪、網乾場6,400m²、船場場150m²及び若干の物置場がこれである。これに対して出海村は早速対策を講じ国庫補助未定のまま借入により延長35mの護岸を修理した。然しまだ最も重要な防波堤の修理が終つて居らず、これ

喜多郡浸水区域圖 縮尺1/200,000





喜多郡出海村(キジャ颱風後の状況)



喜多郡長濱町(キジャ颱風時の海岸)

が延長60mの嵩上げ工事で50mの新堤延長を残して居る。その他網乾場の埋立6,400m²及これの護岸を建設しなければならぬが村の財政のみでは如何ともしがたく未着手である。

次に前述した様に肱川の沿岸に若干の被害があるので大和村を例にとつてその状況を見ると次の如くである。

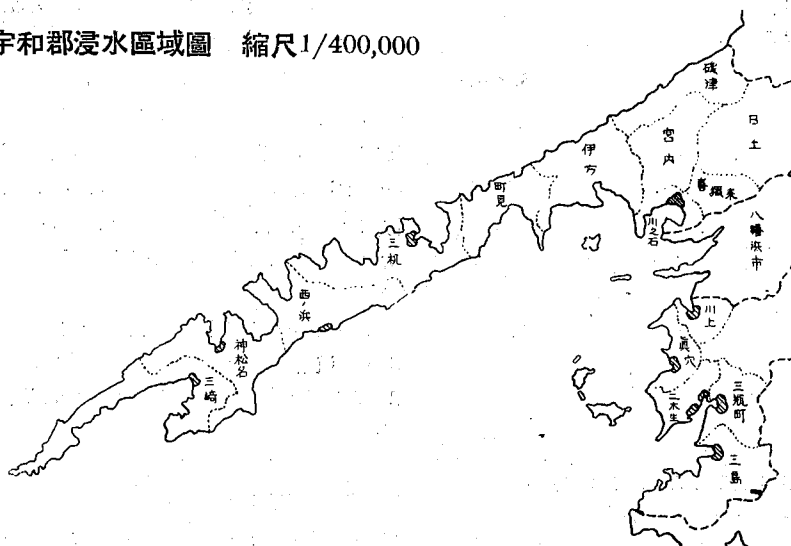
- 直接地震による被害を受けた箇所 5箇所
- 毎年の大潮満潮時に浸水の危険ある面積 3町歩
- 沈下後全々使用出来ない畑 1反5畝

この内で地震による被害5箇所中3箇所を復旧し他は未復旧

此の様に全々海に面して居ない町村ですら被害を受けて居り、地震及び地盤沈下の影響が如何に広範囲に亘つて居るかを知らる事が出来る。尙本調査から意識して除外した上浮穴郡ですら道路被害を受けて居る。

N. 西 宇 和 郡

西宇和郡浸水区域圖 縮尺1/400,000



西宇和郡はおそらく愛媛県で最も海岸線の長い郡であろう、然しその大部分は三崎半島の部分であり山ばかりで大きな被害はない。

八幡浜市に於ける沈下量16cm。

磯津村に於ける被害状況は、大字磯津に於て磯津港防波堤狂損及び一部決壊75m、飲料水用井戸の被害6ヶ所が地震により直接、人家5戸が沈下及び高潮によりそれぞれ被害を受けて居る。宅地100坪及び道路70mが常に浸水の危険にある。大字喜木津では地震により喜木津港防波堤狂損及沈下80m、井戸4ヶ所が被害、高潮により人家3戸が被害、宅地50坪、道路50mが高潮による危険区域内にある。最後に広早では防波堤50mが狂損、25mが決壊して居る。これに対して早速緊急復旧が施されて居るが未だ充分とは言えず特に各地区の飲料水確保が最も急を要する。

次に川之石町に於ても次の如き状態である。

- A) 地震による直接被害 7ヶ所 延2,950m
- B) 沈下及び高潮による被害 3ヶ所 延1,270m
- C) 大潮満潮の都度危険な区域 4ヶ所 延54,200m²
- D) 沈下後使用出来ない区域 3ヶ所 延45,800m²

これに対する復旧済は3ヶ所430mで未着手箇所は4ヶ所1,860mもある。



西宇和郡伊方村(役場前の浸水状況
—キジヤ颱風時)



西宇和郡川之石町(沈下後の海岸一帯
に護岸天端すれすれまで潮位が上る)



西宇和郡三瓶町大字安土(大潮の満
潮時の潮位)

伊方村に於ては、キジヤ颱風の時、川永田及び港浦の田約4町歩、川永田の畑5反、宅地240坪小中浦及び港浦の宅地800坪、港浦及び川永田の道路約2,000mが架さ1.0m位浸水した。この爲に田畑に於ては約4割の減収となつた。井戸について見ると91箇所中29箇の井戸が塩分が多くなつて使用出来なくなつて居る。

復旧状況は海岸護岸及び防波堤約400m 河川堤防250m、道路390m が完了又は工事中であり、防波堤29m護岸1,015m が未復旧のままである。

最後に三瓶町

荷揚場沈下並護岸決壊	940m
網乾場、護岸決壊	2ヶ所 延145m

船曳場護岸欠壊	2ヶ所	延650m
道路護岸決壊	18ヶ所	延1,235m
暗渠壁決壊	2ヶ所	延380m

毎年大潮時には町の中核地29.4ヘクタールが浸水の心配あり、
又町の南部安土地内の16.5ヘクタールは沈下後使用不能である。

現在迄に復旧済の箇所

各荷揚場嵩上工事		延940m
網干場護岸	2ヶ所	延145m
道路護岸	11ヶ所	延850m

これだけ復旧して居るが此れは應急的なものばかりで三瓶町を本格的に復旧するものとすればその進捗度はやつと40%である。

三瓶港の荷揚場は沈下後嵩上(約80cm)を行つたので逆に宅地の方が1.00m位低くなりこれの嵩上げを計画して居る。但し何分にも莫大な工費を要するので町の財政では到底望めそうもない。又海岸より200m位まで一帯の井戸は沈下後塩分が浸透して使用出来ず、排水路より逆流する海水は常に床下浸水家屋180~230戸を算す、三瓶町の復興はまず敷地の嵩上げ、上水道の完備、排水設備の充実以外にないものと考えられる。

O. 東 宇 和 郡

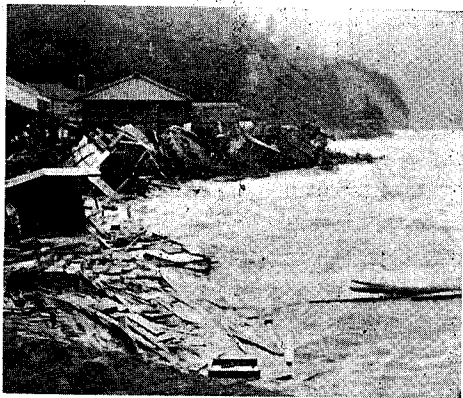
東宇和郡の沈下量は八幡浜市及び北宇和郡吉田町のそれより推察して15~19cmと見られる。高山村に於ける被害及復旧の状況は次の通り。

大字大崎に於て地震の爲畑1反使用不能

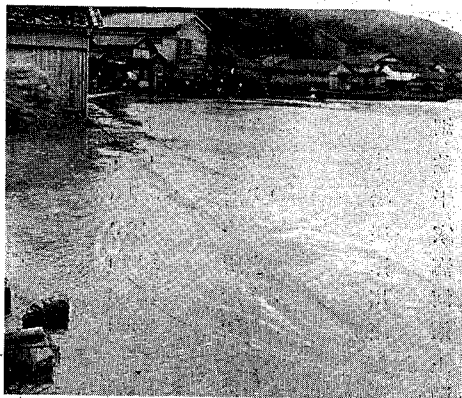
大字田ノ浜に於て海岸堤110m決壊道路被害100m、浸水危険面積16,000m²、畑1反使用不能、岩井に於て波浪の爲30mの山崩れ、20mの道路流失。向滝に於て30mの道路被害、宮野津に於て海岸護岸175m決壊、突堤50m破壊、浸水危険区域1,000m²、本浦に於て道路破壊130m、防波堤決壊71m、浸水危険区域4,500m²、大早津に於て山崩れ80m、道路決壊60m、

以上の様な被害に対して道路等はその日から交通に支障を來すので復旧されたが突堤等の如く颱風や時化でもない限りあまりその効用を認められない構造物は大部分未復旧のまままで放置されて居る。

次に玉津村について見る。玉津村は面積の割合に法花津湾を抱いて居るので海岸線が長い。そしてその長い海岸線が大なり小なりほとんど全部被害を受けて居る。

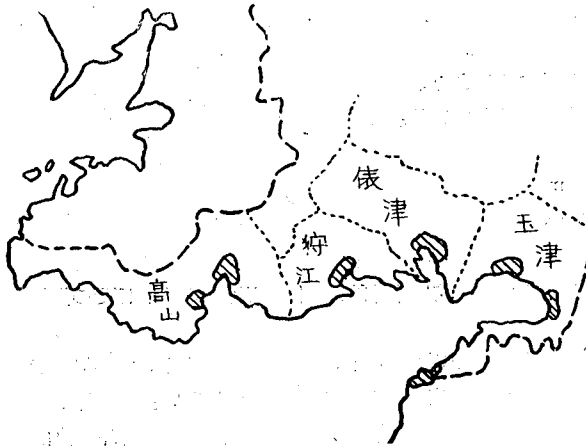


東宇和郡高山村(テラ颱風による被害状況)



東宇和郡依津村(キジヤ颱風による高潮浸入状況)

東宇和郡浸水区域圖 縮尺1/200,000



東宇和郡玉津村(キツヤ颱風時の
耕地への浸水状況)

被害の状況を見ると

	A	B	C	D
畑	1町2反5畝	8町3反4畝	5町5反	3反7畝
田	8反2畝	3町8反	1町2反3畝	7反1畝
宅地	2町3反	5町3反2畝	3町1反	3反2畝
工場	6反	8反9畝	6反	5反6畝
家屋	136戸	45戸	88戸	3戸
海岸	436m	1,650m		
河川	163m	220m		
道路	375m	1,455m		
上水道	12戸	226戸		
漁港	360m	420m		
港灣	170m	190m		

(A……地震により直接被害を受けたところ、B……沈下及びその後の高潮により被害を受けたところ
C……毎年の大潮時には浸水の憂あるところ、D……沈下後全々使用出来ないもの)

これに対して復旧は全体を通じて半分も済んで居ない。その状況を見ると。

	復旧済	未復旧
田	4ヶ所	1町 132ヶ所
畑	3ヶ所	1町6反 27ヶ所
住宅	4ヶ所	6町3反 38ヶ所
工場	9ヶ所	839m 23ヶ所
家屋		128戸 16戸
海岸	6ヶ所	528m 43ヶ所
河川	2ヶ所	125m 8ヶ所
道路	3ヶ所	439m 19ヶ所
上水道		212ヶ所
漁港	4ヶ所	420m 28ヶ所
港灣	3ヶ所	280m 6ヶ所
		570m

となつて居る。

東宇和郡に於ける被害を総括して見ると、破壊家屋252戸、床上浸水5戸、床下浸水260戸、農耕地被害29町歩、それによる減収122石、漁港関係の被害は西宇和郡、北宇和郡と共に群を抜いて大きく被害額1,288,068,000円に及んで居る。被害額その他を郡下全体集計すれば

被害額1,393,712,000円、復旧査定額107,323,000円、これに対する昭和25年度末迄の復旧進捗率58%、消化額62,438,000円、今後要する工事費44,885,000円である。西宇和郡より南は山麓が海岸にせまり、いわゆるリヤス式海岸を形成して居るので海岸沿の道路、漁港等の他はあまり被害を受けて居ない。前記被害総額1,393,712,000円中1,288,068,000円が漁港被害なることを考えて見ても其の状況を知ることが出来る。依津村大字大浦から深浦に至る道路は高潮の都度波浪に洗はれ修理に多大の費用を要するので延長約300mの隧道を新規につくり根本的に解決した。

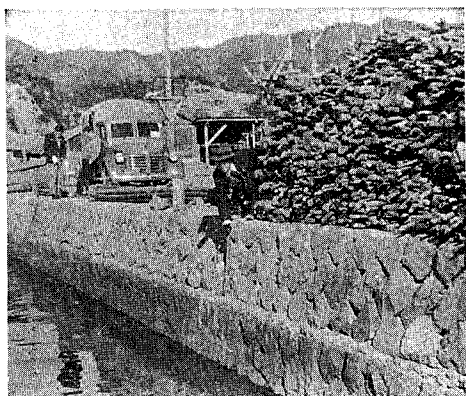
P. 北 宇 和 郡

北宇和郡一帯の沈下量は見当がたぬ。即ち吉田町は15cm、宇和島市は26~29cm、岩松町は2cm、南宇和郡内海村柏では変動量0となつて居る。

吉田町は一般に標高が低い。(海岸より約1kmの地点にて沈下前1,90mである)爲に市街形成部分全部と吉田港の周辺全部が沈下の被害を受けて居り。道路及び護岸の沈下被害6,000m、堤防沈下1,000m、護岸沈下250m荷揚場及び水門3ノ箇所破損と言う被害を出した。現在迄に復旧を終つたのは護岸700m、道路768m、橋梁1ヶ所(16.5m)、繋船岸壁50m及び水門1ヶ所で未だ計画の半分も完了して居ない。今後に残されて居るものは、道路1,320m、護岸420m、堤防嵩上500m、水門2ヶ所(新設を含む)がある。以上が直接の影響であるが二次的にも相当な被害を及ぼして居る。即ち昭和25年度地盤沈下による被害水田面積約15町歩キジヤ颱風による高潮被害減収322石。又大字浅川地区13町歩、鶴間地区2町歩は数年前耕地整理を完了し1毛田を2毛田とした区域であるが沈下の爲に此れ等水田に海水が浸透し稲は植付けても收穫なしと言う状況である。

次に三浦村について見よう、三浦村に於て沈下後颱風その他により被害のあつた面積は12町歩、全々使用出来なくなつた面積6町歩、大潮の満潮には何時も海水の浸入を心配しなければならぬ地域が11町歩となつて居りこれはほとんど山ばかりで平地のない三浦村の総面積166.5町歩の10分の1以上にあたるものである。

次は下波村、このあたりより南城辺あたりまではまつたくのリヤス式海岸であり耕地も水田はほとんどなく主として漁業により生計を立てて居る。ところがこれ等漁港には船曳の爲あまり大きな海岸堤、護岸等は従来より建造して居なかつた。そこで沈下及び高潮の被害はこの地点に集中され他市郡に比較して非常に大きな漁港被害を出して居る。永住出来なく立退きせる者3戸、轉業せる者6戸(煮干製造業者)を出した。(下波村の住民の見て居る潮位との相対的な地盤沈下は0.60~1.00mである)



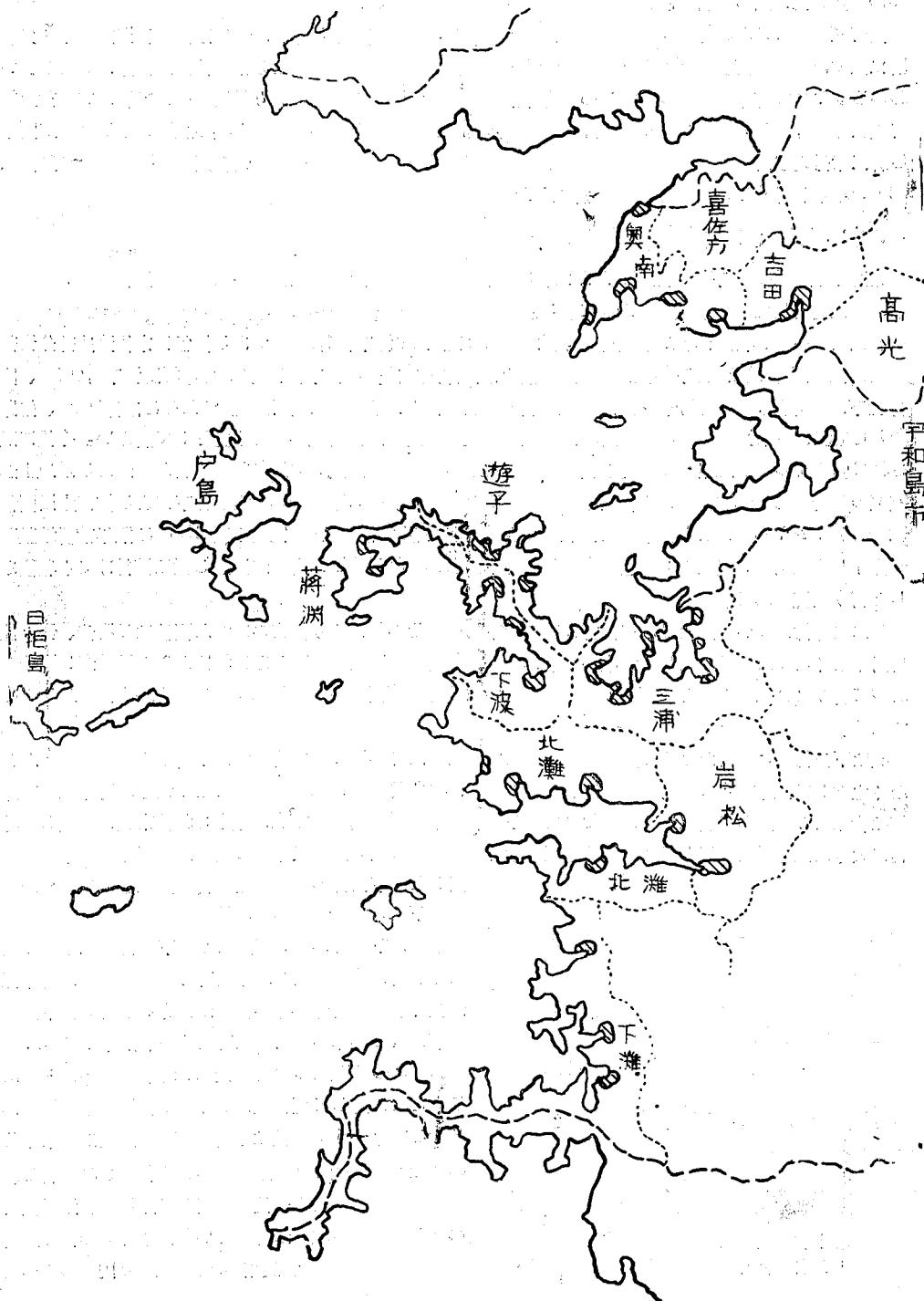
北宇和郡岩松町(沈下後に嵩上げをした岩松海岸壁)

最後に下灘村について見よう、下灘村は約半分は西方宇和海に向け突出した半島部分で面積の割に海岸線が長く従つて海岸護岸の被害が大きい、即ち沈下及び高潮による護岸の被害は全部で16ヶ所延長にして2,672m、この爲浸水の被害を受けた面積51,700m²である。これに対して現在迄に完了せる復旧工事は風浦に於ける護岸136mで他は風鳴の簡易水道が工事中その他は査定を受け又は未査定のまま放置されて居る。

北宇和郡の被害その他を総括して見ると、漁港被害の2,540,930,000円が群を抜いて大きくその他は農耕地の146,364,000円、道路の26,887,000円位のもので

ある。総計2,732,124,000円、査定額144,040,000円、で昭和25年度末で査定額の41%を復旧して居る。

北宇和郡浸水区域圖 縮尺1/200,000

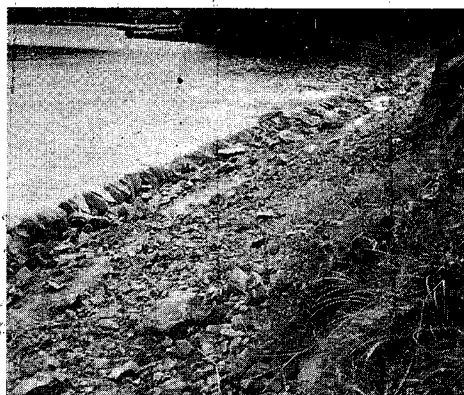


Q. 南 宇 和 郡

南宇和郡の復旧査定額を見ると上浮穴郡を除けば愛媛県で一番少ない。(57,318,000円)これがもつとも如実に物語つて居る様にこの郡は大して取上げる程の重大な被害はない。被害額 800,389,000円この内9割五分に当る760,920,000円が漁港の被害である。

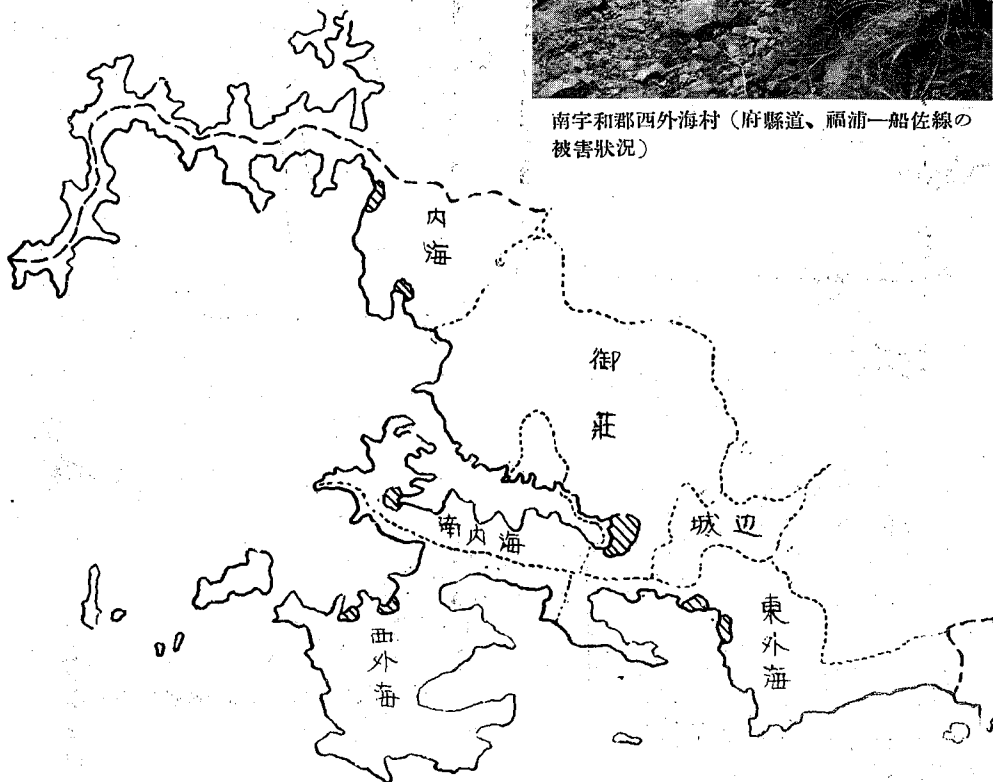
査定額から見ると海岸、道路、漁港の順となりやはり山麓のせまつた南宇和郡のよい特色が出て居る様に思われる。結局海岸沿の道路、護岸が若干の被害を受けこれを沈下による被害としてとり上げたけれども他地区とのつり合いその他を考え、そのあまり重要でないことを加味して査定された結果がこの様になつたものと思われる。

内海村字柏に於ける変動量0、高知県幡多郡宿毛町に於ける沈下量11cmとなつて居る。西宇和郡以南、宇和海に面する一帯は地盤の関係か沈下が割合に小さい(特例はあるけれども)。加えて平地部が少ないので一般に被害は少ない様である。



南宇和郡西外海村(府縣道、福浦一船佐線の被害状況)

南宇和郡浸水区域圖 縮尺1/200,000

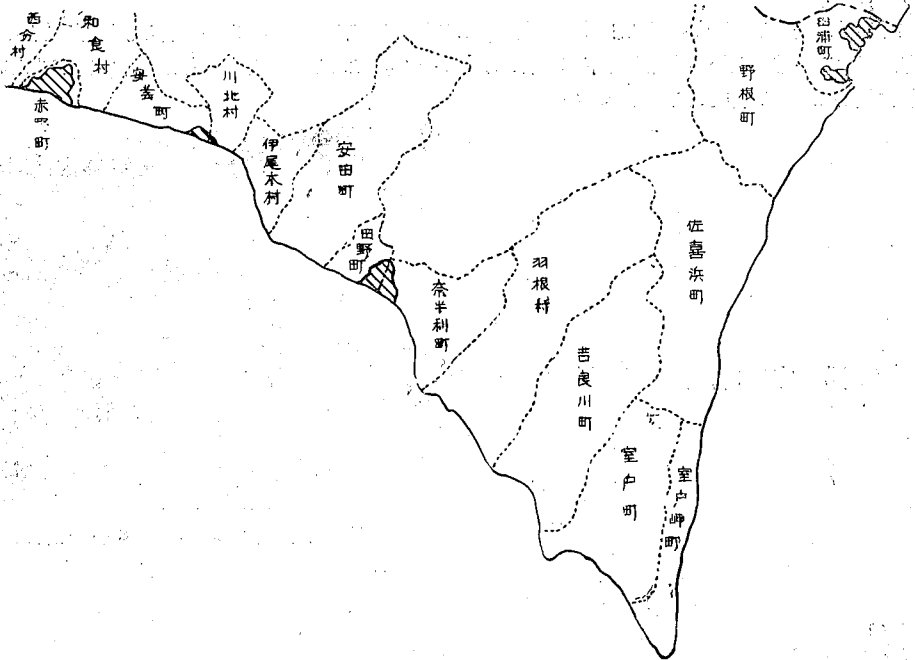


高 知 縣

A. 安 藝 郡

当郡はその北部甲浦町で平均10cm余り、安藝町で平均20cmの沈下がみとめられ、南部に向い次第に逆に隆起の傾向があり南端室戸岬では平均86cmの地盤隆起が観測されている。従つて当郡では沈下被害というよりはむしろ変動被害というべきで特異な立場にある。

安藝郡浸水区域圖 縮尺1/400,000



甲浦町における高潮による畑への浸水状況を示す



堤防決潰により水田へ漁船の避難している甲浦町

南海地震の震害は幡多郡、高岡郡について大きく、破壊家屋1,540戸、浸水家屋700戸、田畑の浸水、流失は970町歩余り、船舶の流失は16隻、道路の決壊約4km、河川堤防の崩壊、流失は4kmと云はれる。

甲浦町の地沈被害は、堤塘の崩壊500mであるが、その他23年アグネス、24年テラ、25年ジェーン等の各颶風による被害は、橋梁の損傷4ヶ所、道路の崩壊300m、堤塘の欠潰約6km、護岸の崩壊350m、その他井堰、樋門の破壊4ヶ所といはれ、その他防潮堤530mの崩壊、特殊なものをしては燈台の流失がある。現在その復旧工事の施工済のものは大約50%とみられ、別に甲浦港内港周囲一帯にバラベツト1.2km、白浜海岸に防潮堤600mが新設されている。

尙年々の大潮時浸水する耕地約20町歩あり、これに対する客土、防潮設備の設置が要望されている。

又今後の地沈防災対策として早急な施工を要望されているものは、小池川のチチウより河内川河口に至る300m、河内川の中河内より丹波屋敷に至る80mの河川付替工事による河水貯溜の防止、防波堤の新設、防潮堤の構築である。

佐喜浜町では平均46cmの地盤の隆起があり、これがため佐喜浜港の船舶の出入が危険となつた。高潮害としては河川堤防の決壊約2km、田畑の流失約8町歩、上水道の破壊1km、水路の崩壊2.5km、護岸の流失1.2km、山林崩壊13,000m²と云はれる。

現在復旧済のものは河川堤防の修築約1.2km、道路約300m、護岸600m及び耕地の復旧3町歩と云はれ今後に切望されている復旧工事、復旧対策は現在までの未復旧分の早急な復旧、佐喜浜港の浚渫であり、特に海低隆起に依る漁道の変化に対する新漁道の発見、及び新漁法の研究であると云はれている。

室戸岬町では室戸岬港内が平均95cmの隆起をうけ、地元遠洋操漁々船並びに近海操漁々船その他寄港船舶の收容が不能となつている。

地震被害は甚大で、前記当郡の被害の50%は当地区に集中されているとみられ、復旧工事は大約60%完成しているとみられる。特に上水道の貯水漏洩による飲料水の激減は町民の衛生上大きな問題で早急な復旧が望ましい。又背後山地の地盤が地盤変動により軟弱化し、山林の崩壊数10ヶ所に及ぶ、これが根本的治山対策の樹立がいそがれている。

奈半利町では震害に起因する被害が大きく特に山腹の崩壊により、水路の崩壊、耕地の埋没、又堤防弱化により高潮時地区内84町歩の耕地に海水浸入し、年々相当な減収となつている。特殊なものとしては震害以後地区一帯に地下水湧水し、関係耕地は爲に耕作不能となり裏作園藝作物の栽培が不可能となつた。これらの復旧は非常に困難であり根本的な災害対策の研究が急務である。

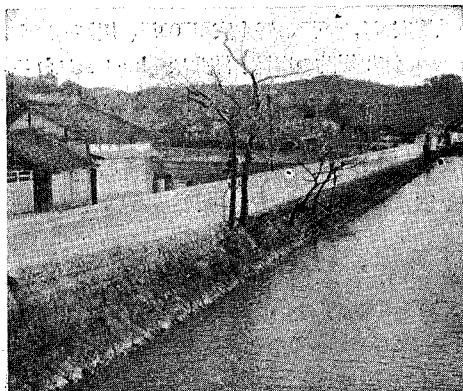
又これに隣接した田野町では、高潮時浸水の危険ある区域約15町歩、河川堤防、護岸の崩壊約500m、その他井堰、溜池の決壊3ヶ所が被害の主なるもので、復旧済50%とみられる。特に早急な復旧を望まれるものは浸水地区に対する防潮、水溝の浚渫、改修、又奈半利川河口を改修し、海浜貯木場を復旧拡張し且木材積出施設を復活し、当町産業の大半をしめる製材業並に木材積出の興隆をはかることが必要である。

赤野町の地沈及び高潮被害は浸水耕地50町歩、水路の崩壊9km、年々の大潮時冠水の危険ある耕地8町歩といはれ、現在までに復旧されたものは水路2kmの修築のみで、全水路の改修による農地の復旧、その他堤防、防潮堤の新設、復旧が要望されている。

B. 香 美 郡

当郡海岸部の地盤沈下量は30~100cm、平均55cmと観測されている。

地震及び沈下被害の分布は、夜須町、岸本町、赤河町の大部分及び吉川村、日章村の一部にわたつてをり、地震被害は破壊家屋344戸、浸水家屋60戸、耕地の浸水107町歩、道路の決壊22ヶ所約1km、夜須川、香宗川、物部川等の堤防、護岸の決壊約8kmと云はれる。地盤沈下及び高潮による被害としては、耕地の浸水約2,000町歩、河川堤防の決壊約4.5km、通路の決壊約1km、手結港防波堤、護岸の崩壊、沈下約400



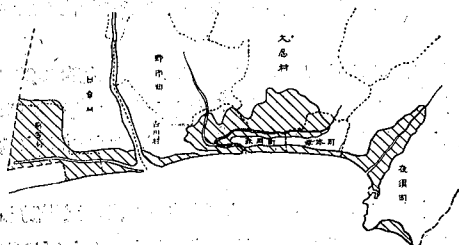
夜須町夜須川河口部のパラベットウォールの新設



高潮時及び降雨の激しい時常に冠水している夜須町の水田

mといわれる。特に沈下後。夜須川左岸の耕地約30町歩は常時の満潮時に、たまたま少々の降雨でもあれば、必ず冠水し収穫は皆無と云われる。又岸本町、赤岡町北部約80町歩は、海岸部が丘陵地帯となつてをり、一方その背後地はほとんど勾配なき平地となり、従つてその幹川流路である香宗川が流疎力なく、降

香美郡浸水区域圖 縮尺1/200,000



雨の度に雨水が貯溜され、収穫は半減又は皆無と云われ、そのうち40町歩あまりは常時冠水して湖沼化している。又香宗川、夜須川等の河口部は潮流の影響により砂洲が移動して閉塞する傾向にあり、その河水の退下をさまたげ。バツクウォーターの影響による耕地浸水がしばしば繰返され、これらの早急な解決が望ましい。

現在復旧工事の竣工又は工事中のものとしては、夜須川堤防延長430mの60~100cmの嵩上を工事中、夜須川河口部左岸延長160mにわたる平均高1mのパラベットウォールが竣工、手結港防波堤延長395mのコンクリート方塊による嵩上、及び修築を工事中、香宗川堤防延長1,180mの嵩上を工事中、後川堤防2.5km及び170mの嵩上を工事中であり大体46%の竣工とみられる。

復旧対策として今後の施工を要望されているものは、夜須町、岸本町にわたる延長1,480mの海岸堤防の嵩上又はパラベットウォールの接足し、香宗川堤防延長350m、夜須川堤防200mの修築、嵩上、及び河口閉塞を防止するための導流堤を香宗川で延長300m、夜須川で80m新設することが要望されている。

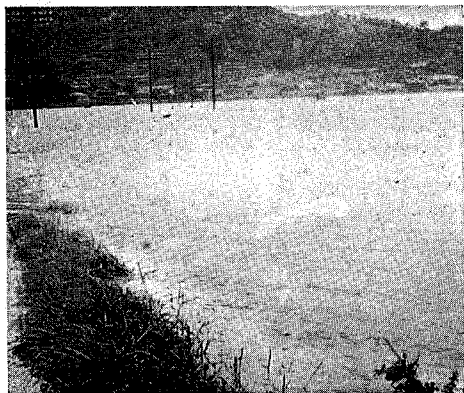
岸本町、赤岡町北部の湿地を乾上げるために、平均1mの耕地客土が現在行われているが、香宗川が海岸線に沿つて西流しているのでこの中流に放水路を造るか又は堀川の拡市により捷水路を築造して効果がありとすれば、耕地客土を行うよりはるかに簡単に目的に達成することができるのではあるまいか、検討を要する点と思われる。

手結港は高知港以東では希にみる良港で、これが大々的な復旧、改良は当地方の経済力を飛躍的に発展させることと思われる。

C. 長岡郡

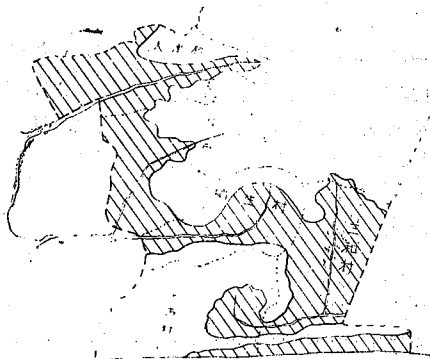
当郡海岸地帯では40~50cm、平均52cmの地盤沈下がみとめられている。

当郡の地震被害は倒壊家屋1,470戸、浸水家屋5,600戸、浸水面積約300町歩、ジェーン、キジア颱風時の被害は浸水家屋約5,000戸、冠水面積約500町歩といはれ、十市村の如きは現在尙10町歩余りが冠水のまま



高潮時物部川からの逆流により常に冠水し
潮水化する三和村の耕地

長岡郡浸水区域圖 縮尺1/200,000



放置されている。これは地盤沈下により、さなきだに当地方香長平野南部は海岸に丘陵部をもち、その背後が殆んど勾配なき平野で、主要流路たる後川の河床勾配も平均1/3,000程度で流疎力小さく、普通の降雨にても物部川水位の上昇に伴い後川への逆流と雨水の貯溜により、三和村、十市村、前浜村等数ヶ町村に冠水していたものが、地盤沈下によりその趨勢を増大し、爾後少しでも降雨が連続すれば必ず一面に冠水し、時に10数日も減水せず、部分的には深さ2mにも及ぶと云われ、年々農作物にあてる被害は甚大である。

又後川河口附近では約20町歩の耕地に塩害がみられ、減収又は耕作放棄となつている。

復旧工事は河川、道路関係で別表の如き工事が実施又は計画されているが、今後の沈下をみこし平均50cmの嵩上を基準としてをり、工事の進捗情況は約40%とみられる、その主なものとして後川下流堤防約2.5kmの50~70cmの嵩上工事が施工中である。

三和村及び関保町村で最も要望されている対策としては、貯溜される雨水を後川中流部より前浜村の丘陵部を抜き直接海に放流する延長900m(隧道部分500m)の放水路の開さくで、これによると大体1/300程度の縦断勾配がとれ、少くとも浸水の表面水を早急に海に抜き、結実期にある稲穂を水面上に出すことが出来る。従来高知の穀倉として期待されていた当地方一帯が1毛作しか出来ず、その経済的打撃は甚大である。しかも当地方は温暖な気候と土質の関係により、蔬菜、果実の速成及び温室栽培が盛んで、阪神地方に広い販路をもち、農家一戸当り年間収入は現在でも30万円をこすと云はれ、これがもし上記放水路が完成して年々の水害をまぬがれるとしたら当地方の農業生産の飛躍的な発展が期待される。

現在計画されている放水路は底巾4m、高さ4mの馬蹄形断面、縦断勾配1/300といはれるが、海面高との高差、流疎能力、その他を考慮し十分検討する必要がある、もし効果大なりとすれば早急な施工が望ましい。

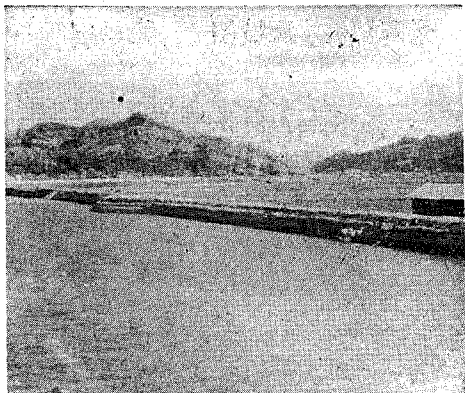
D. 高 知 市

当市は40~100cm、平均52cmの地盤沈下がみとめられてをり、この附近が高知県下では最大の沈下量を示している。

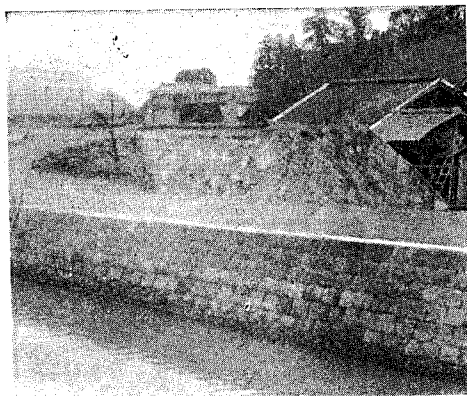
当市は被害又激甚を極め、家屋の倒壊するもの3,000戸、国分川、下田川、久万川全川にわたる堤防の決壊数10ヶ所、それによる浸水面積3,30町歩、その内耕地は1,240町歩に及び、浸水家屋は2,000戸に達したと云はれる。

その他道路の崩壊、高知港岸壁の亡出し等その被害額は公共事業関係の主なもののみとあけても当時の金額にして5億円と云われている。

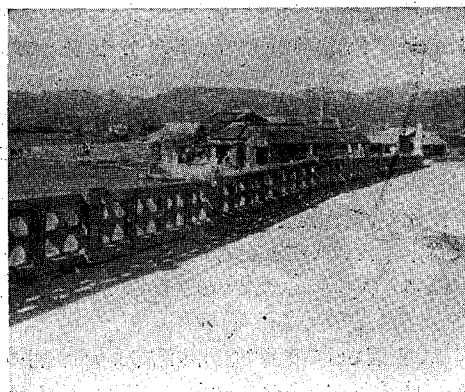
—51—



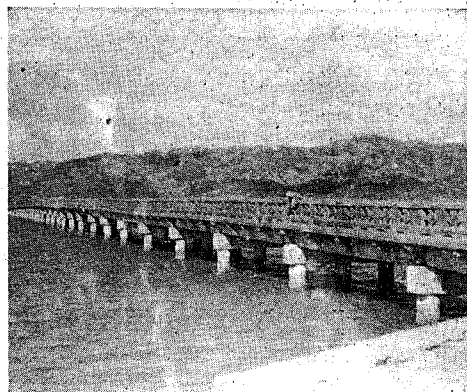
高潮時の溢水を防止するため一時的に土俵により防護している下田川左岸の堤防



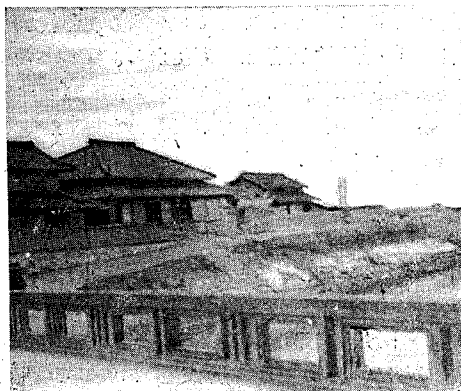
久万川に於ける堤防の改築、前方に見えるのが舊堤、後方に見えるのが新堤



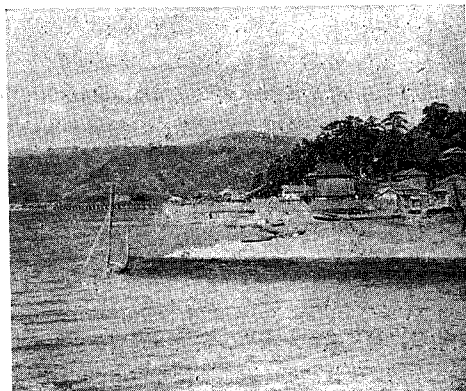
青柳橋々面の凹凸



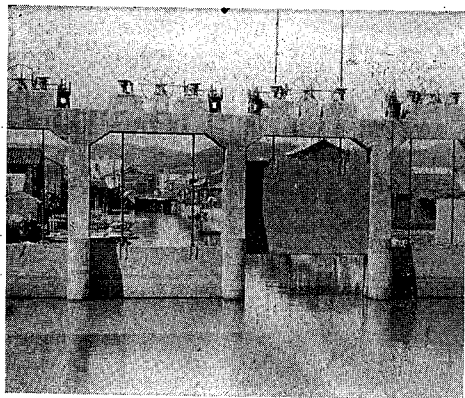
地震及び地盤沈下による青柳橋々脚の不同沈下



比島橋取附部分における堤防の嵩上げ



吸江地区における海岸堤防の新設工事



高潮時市内の堀川に海水の浸入防止を目的として新設された樋門

その後上記の如き地盤の沈下を見て、さなきだに弱化した堤防その他の施設が、度々の高潮により損壊し、葛島、下知、新田等の各地区にはいまだに海水をたたえた濕地、塩害耕地が140~150町歩にわたって存在している。

復旧工事は、原形復旧及び平均70cmの嵩上を標準として実施されてをり、その各項目別復旧査定額、竣工額は別表の通りであるが平均50%竣工しているとみられる。

尚地盤の沈下は現在尙進行中とみられてをり、現在の工事にはそれに対する安全性が考えられていないので更に相当の嵩上が行われねば今後考えられる高潮に対して安全とは思われない。

現在問題となつている地点、工事施工中の箇所早急

な復旧対策工事の実施を必要としている事項について次に詳記する。

(吸江地区海岸堤防) 浦戸湾に望み、全延長約1kmにわたるもので、震災後一應の復旧をみたのであるが平均60cmの地盤沈下をうけ、昭和23年の高潮により大部分を流失した。これの背後に存在する北吸江南吸江両部落はともに人家密集し、震災時、高潮時それにあたえた被害は甚大であり、又県道高知一赤岡線も青柳橋より下田橋に至る間約1.1kmの各所を崩壊、流失せしめた。現在この海岸堤防は全延長にわたり60~100cmの嵩上、修築を施工中で、大体60%の完成とみられるが、次期高潮迄にそれが竣工することが切望される。

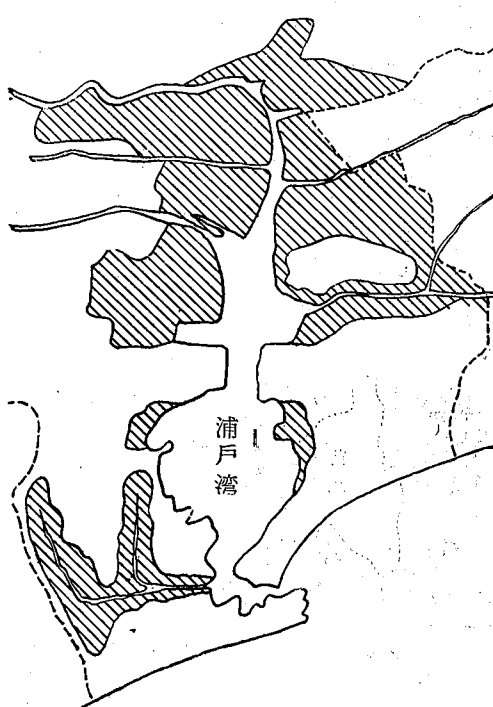
(潮江、下知、葛島地区海岸堤防) この部分は震災時その大部分を流失したもので、いまだに堤内地に海水をたたえた広大な濕地が残されており、これら耕地の排水客土と共に、高潮害防止の爲の60cm位のバラベツトウォールを全海岸線にわたって築造する必要があると思はれる。

(下田川流域河川堤防) ジェーン・キップ颱風時の異状高潮により全川各所の堤防を決潰したもので、いまだに所々に土俵を重ねて高潮の浸入を防止しているもので、その堤内地に広い塩害耕地があり、これが早急な復旧が要望されている。現在県工事により左岸2.7km、右岸3kmの復旧工事が施工中であり、又支川介良川、本江田川の両岸1.4kmは市町村工事として施工中である。

(国分川流域河川堤防) 堤防、護岸の修築、嵩上げが必要で、県工事として幹川部分に48ヶ所、約4,000万円、市町村工事として入船川、久万川等に震災8ヶ所、地沈11ヶ所、工費合計3,500百万円により復旧工事実施中である。

(青柳橋) 全橋長約400mにわたり、100~40cmの不同沈下を受け、橋面に凹凸甚しく、橋桁固定端、絞等の移動、鉄筋被覆の剝離がみられる。本

高知市浸水区域圖 縮尺1/100,000



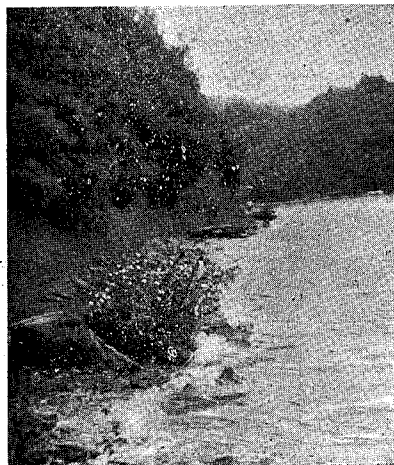
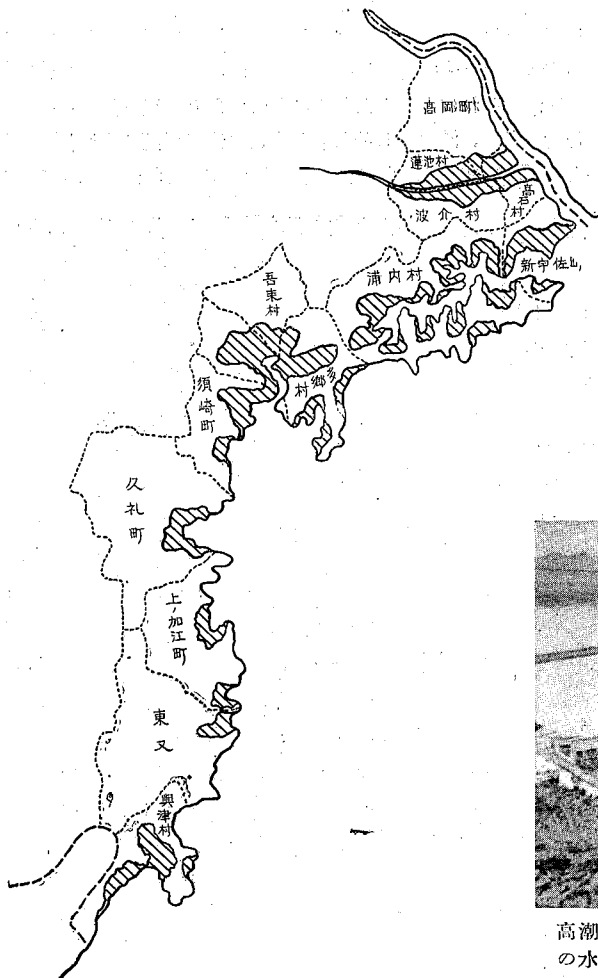
橋は主要干道高知—赤岡県に架り、交通量が非常に多いのかかわらず復旧工事は全く行われておらず、危険この上なしと思はれる。復旧対策としてピアーの接足しにより一應橋面の矯正は出来るであろうが、現在の橋巾4.5mでは今後の交通量の増大を考慮に入れるとき思い切った架替が望ましい。

(比島橋)本橋附近は平均50cmの地盤沈下を見、本橋の架る久万川兩岸の堤防を50cm嵩上げ且つ河巾を拡げたため本橋の取附部分に不都合を生じているもので、河川堤防の天端まで橋面を上げるためには、ピアー、アバット共に60cmの接足しが必要であり、且つ現在の橋長40m 3スパンのものを橋長60m 5スパンにせねばならず、しかも本橋の両側スパンがラーメンになつている爲その施工が容易でない。従來その対策として、本橋の両端に角落しの如きものを設置し、高潮時これにより橋梁部分からの河水の浸入を防止しようとする計画があつたが、何分国道橋で交通量と大きく、上記の方法による時の交通混乱を考えると、当然架替がなされるべきであると思ふ。

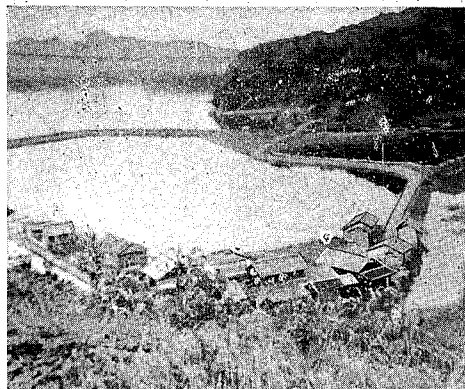
E. 高 岡 郡

当郡の海岸線は南北にのびてをり、北部浦内村、須崎町一帯は平均58cm、南部興津村一帯が30cmの沈

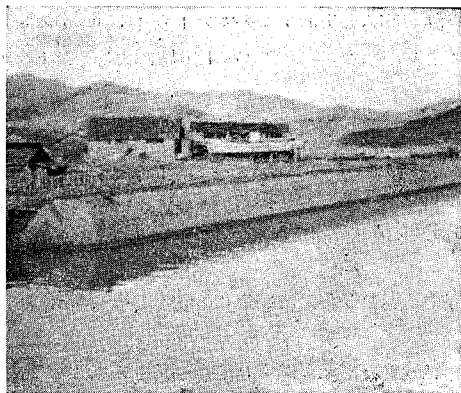
高岡郡浸水区域圖 縮尺1/400,000



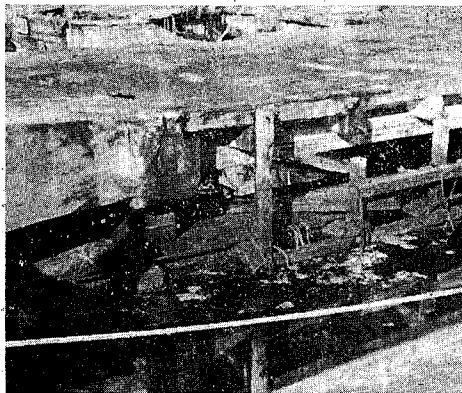
高潮による浦内村海岸道路の流失



高潮により護岸を決壊して海となつた浦内村の水田



多ノ郷村の海岸堤防修築工事



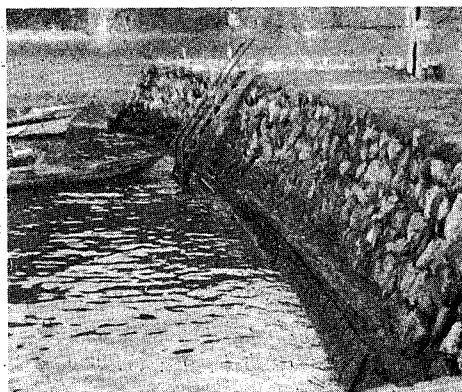
須崎港棧橋々脚の接足。海面に半ばかりくれて黒く見えるのが舊桁及び脚

下がみとめられている。

従つて沈下被害は北部宇佐町、浦内村、多郷村、須崎町が特に著しく、南部に下るに従つて漸減している。

地震被害は全海岸線に一樣に分布してをりしかも破壊家屋2,500戸、浸水家屋2,257戸、耕地の流失、浸水約700町歩、道路の決壊270ヶ所、延長約80km、船舶の流失232隻と云はれる。

宇佐町の沈下及び高潮被害としては橋梁の流失6ヶ所、道路の崩壊約3km、海岸堤の崩壊600m、浸水面積は町の約40%、耕作放棄された水田地約1町歩、その他大潮の満潮に浸水の危険あるヶ所4ヶ所、水門、樋門等の破壊5ヶ所と云はれる。町村工事、県工事等による復旧済約80%とみられる。



須崎港護岸の嵩上、海面すれれに見える練積み部分が舊護岸

浦内村の沈下及び高潮被害は村内10ヶ所に及ぶ海岸堤防、護岸、道路の破壊で、その延長は海岸堤防決壊約10km、護岸約4km、道路の流失は県道約1km、町村道約7km、更に田畑の浸水150町歩といはれ、現在收穫皆無のまま放棄されている耕地約50町歩とみられる。

復旧工事は海岸堤防、護岸、町村道が約30%、排水機設置15ヶ所及び耕地の100~80cmの嵩上げが一部なされている。これらにより被害地の内約60町歩がようやく耕作可能となつた。

今後に残された復旧を要するものは、海岸堤防、護岸、道路等の残部の修築嵩上げ、約120町歩の耕地客土、14ヶ所の排水設備でその大半で、工費約1億円と云われ、村民負担の軽減が急務である。

又本村全般はリアス式海岸で大きい浦内湾をかかえ、池浦港、深浦港等の天然の良港を控えているのでこれらの防波堤の修築、改良を行えば水産業の今後の発展が期待される。特に湾内東半は眞珠貝が繁殖しており、湾の奥、船越の部分と切斷し運河を開さくすれば交通の便とともに湾内全体に眞珠貝が繁殖し、有数な眞珠貝養殖地となるであろう。

須崎町の沈下及び高潮被害は最大1.2mの地盤沈下により激甚を極め、須崎港の如きは一時その機能を完全に失つていた。即ち岸壁、荷揚場約300m崩壊し、棧橋は常時満潮面すれすれまで沈下した。又船溜岸約500mもその大部分が沈下又は決壊した。冠水面積約300町歩、道路の破壊約1.5km、新庄川堤防の決壊約500mと云はれる。

—55—

復旧工事は具工事で40%、町村工事で80%竣工とみられ、高さ1.5mのバラベツトウォールの築造、河川堤防120mの修築嵩上、道路1.2kmの嵩上、須崎港船溜岸壁両側のコンクリート方塊による平均1.5mの嵩上等が工事中である。

又今後の復旧対策として、元來当町附近は膨大な石灰岩の埋藏を有し、現在土佐セメントの工場があるが、これの今後の大拡張が期待されている。当町は山がせまり工業用地として轉用すべき余地が少いが、須崎湾の北部、多郷付の浸水耕地約30町歩の轉用又は海面の埋立等により相当な工業用地の確保は可能であり、その上須崎港の改良、拡張及び渡川電源の開発が出来れば石灰化学工業コンビナートを中心とした大工業地帯を造成することが可能であろう。

久礼、上加江両町の被害は詳細不明であるが、久礼町は良港をひかえていることと、今後の渡川電源の開発によつて工業港化する可能性が十分考えられる。

興津村では約50町歩の耕地が浸水し、現在20町歩の耕地が塩害、冠水により使用不能となつてをり、これに対しては専門の改造新設、水溜場の拡充、客土等によりその復旧に努力しているがようやくその40%を復旧したにすぎない。大部分は1毛作を余儀なくされている。又本村は魚港として水産業により生計を維持していたのであるが、沈下により錨船に支障を來し、魚干場が使用不能となる等により従來京浜、京阪地区まで移出されていた加工水産物もその姿を消し水産業従事者の離業、倒産するものが多い。港口に防波堤を新設し、魚干場を嵩上する等の対策が急務である。

F. 幡 多 郡

当郡は東部海岸北部佐賀附近で23cm、西部海岸宿毛で11cm、南部清水で29cmの沈下がみとめられてをり、沈下量は大とは云えないが全郡下海岸線が一様に沈下しているとみられる。

安藝郡と同じく変動被害は左程大とは云えぬが、地震被害は高知県下で最も激甚を極め、破壊、流失家屋2,500戸以上、浸水家屋2,267戸、田畑の流失586町歩、船舶の被害232隻、河川堤防、護岸の破壊約20km、道路の決潰150km、漁港の被害30ヶ所と云はれる。毎年の高潮による被害としては田畑の浸水、流失は累計7,000町歩、河川の堤防護岸の決潰約30km、道路の破壊約20km、海岸堤防の決潰約7km、港湾被害30ヶ所とみられておる。

復旧工事については、漁港、河川の進捗率は100%に近いが、道路、上水道、港湾については約50%、農耕地、海岸堤防については10%余りの竣工をみるのみで、今後農耕地の復旧、災害防除に努力がそそがれるべきである。西部海岸の小筑紫町においては、地沈及びその後の高潮による被害は、耕地の流失冠水約80町歩、宅地の浸水2町歩、河川堤防の決潰約10ヶ所、道路の決潰2km防波堤の崩壊300m、耕作放棄耕地20町歩といわれ、上述の冠水耕地は毎年の大潮時に必ず浸水し収穫は半減している。

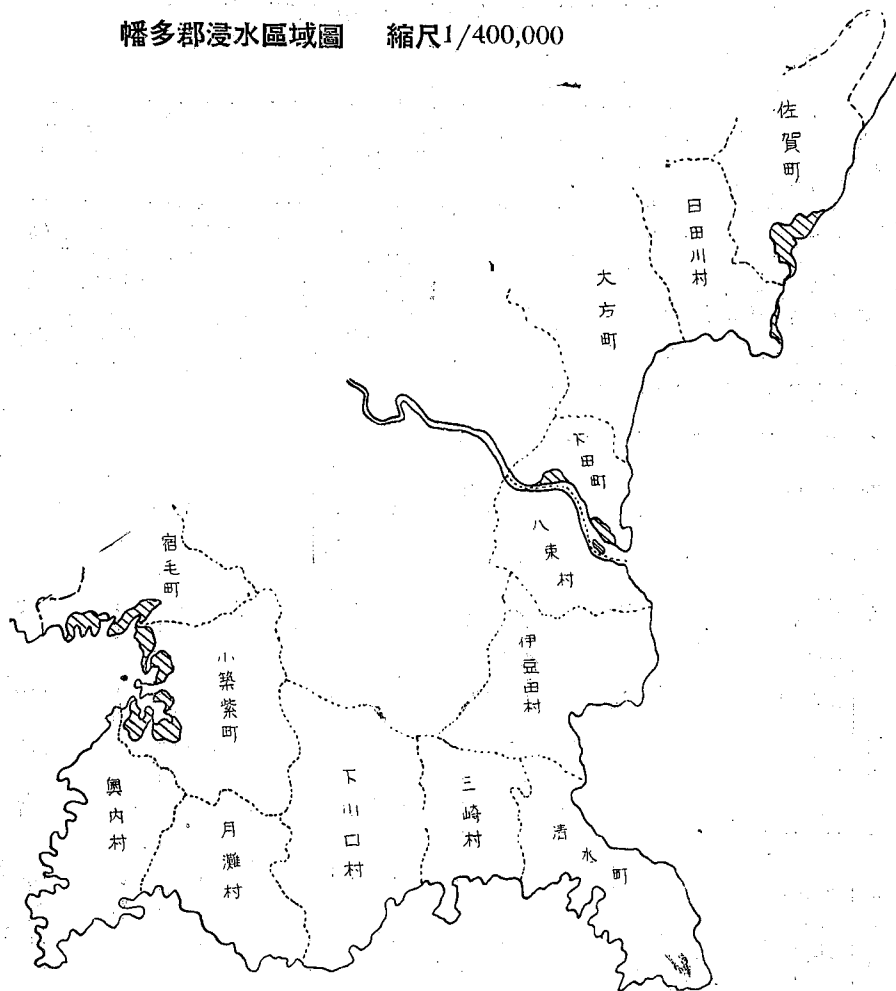
現在までに復旧されているものは堤防200m、道路1.2km、その他排水設備2ヶ所で、今後小筑紫港深浦港の防波堤の復旧、耕地の30~100cmの客土、河川の護岸、堤防の修築が切望されている。

しかし当町及びこれに隣接した宿毛町では、これら浸水耕地の工場用地への轉用が考えられるべきで、陸上交通は左程便とは云えぬが、良港をそなえ、今後渡川の電源が開発された場合はヒンターランドの木材、漁獲物に対する大規模な加工工場の造成が期待できるはづである。

東部海岸下田町では20~40cmの地盤沈下が観測されているが、これがため高潮時の浸水耕地約80町歩渡川導流堤の沈下、決潰約1.5kmと云はれ、これに対し現在までに復旧された工事の主なものは、下田港の改修、沈下浸水耕地の客土約60%、排水機設置による耕地改良、河川の護岸並に水路改修が一應竣工している。

その他町村についての詳細は不明である。

幡多郡浸水區域圖 縮尺1/400,000



第二章 各事業別被害並に復旧状況及び被害分布

1 総 括

この章に包含されている表及び被害分布図は、すべて関係各県より提出された資料にもとづき調整したものであり、昭和26年3月末現在に於ける数量、金額につき記載してある。尚表中の既往各年度の金額はすべて建設総合価格指数により、昭和25年度の金額に更正したものである。

河川より港湾に及ぶ各公共事業関係被害の集計を見るに、地震被害では高知県が他三県よりはるかに甚大であり、徳島県のその15倍となつている。地盤変動被害としては高知愛媛、徳島の順となり、大体瀬戸内海より太平洋側の方が大きいと云える。但し愛媛県、高知県の被害の大きいことはその海岸線が他に比して長大であることにも起因している故この両県の単位面積当り被害が必ずしも他県に比して甚大であるとは云えないと思う。

25年度末の復旧工事進捗率は復旧査定額に対して平均51%、被害額に対し平均29%となつており、被害額に対し査定額が非常に少いことが問題となる点である。地元県より災害の再査定要望がされるべきではないだろうか？

公共事業関係被害県別年度別集計表 ④～⑪

縣 別		徳 島 縣	香 川 縣	愛 媛 縣	高 知 縣	計	
區 分							
被 害 額 (千圓)	地震によるもの	1,593,027	628,343	7,973,672	24,561,541	34,756,583	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	680,938	606,205	—	974,606	2,261,749
		昭和22年度	348,876	522,764	1,464,135	8,190	2,343,965
		昭和23年度	584,384	1,230,922	1,165,260	3,199,339	6,179,905
		昭和24年度	511,530	638,071	1,747,288	937,345	3,834,254
		昭和25年度	624,864	883,437	1,550,620	4,808,347	7,867,268
	小計	2,750,592	3,831,419	5,927,303	9,927,827	22,487,141	
合計	4,343,619	4,509,762	13,900,975	34,489,368	57,243,724		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)		1,563,253 59	800,577 44	1,328,739 43	13,103,372 65	16,801,951 61	
26年度以後に於ける復舊所要額 (千圓)		1,104,080	1,033,401	1,782,278	6,858,889	10,778,648	
摘 要							

(註) 本表中の金額はすべて昭和25年度の金額に更正したものである

地震及沈下県別被害集計表

區 分	縣 別	德 島 縣	香 川 縣	愛 媛 縣	高 知 縣	計
① 家 屋 (戸)	流 失	416	2	1	556	975
	破 壊	3,124	1,324	3,427	14,462	22,337
	床上浸水	2,274	619	621	2,710	6,224
	床下浸水	6,855	9,866	8,278	2,896	27,895
② 農 作 物	被害面積 (町)	1,442	2,017	7,753	54,320	65,532
	主穀減收 (石)	48,999	14,597	50,851	418,882	533,139
③ 塩 田	被害額 (千圓)	46,499	74,893	55,479	—	176,871
	復舊査定額 (千圓)	31,418	38,458	32,460	—	102,336
	復舊濟額 及復舊率 (千圓・%)	31,418 100	11,315 30	7,410 23	—	50,141 50
	今後の復 舊所要額 (千圓)	—	27,145	25,050	—	52,195
④ 河 川	被害額 (千圓)	1,073,754	410,234	274,229	11,426,066	13,214,283
	復舊査定額 (千圓)	480,311	59,563	238,387	7,456,983	8,235,244
	復舊濟額 及復舊率 (千圓・%)	251,865 52	15,450 39	157,197 61	5,626,540 75	6,051,050 74
	今後の復 舊所要額 (千圓)	228,448	24,113	101,190	1,830,443	2,184,194
⑤ 道 路	被害額 (千圓)	293,697	54,132	439,455	5,474,672	6,261,956
	復舊査定額 (千圓)	267,753	21,782	364,724	2,628,660	3,282,919
	復舊濟額 及復舊率 (千圓・%)	154,065 58	8,847 41	220,167 61	1,802,998 69	2,186,077 67
	今後の復 舊所要額 (千圓)	113,688	12,935	144,557	825,662	1,096,842

區 別		德 島 縣	香 川 縣	愛 媛 縣	高 知 縣	計
分						
⑥ 砂 防	被 害 額 (千圓)	801	—	17,016	—	17,817
	復舊査定額 (千圓)	801	—	6,807	—	7,608
	復 舊 濟 額 及 復 舊 率 (千圓・%)	801 100	—	6,807 100	—	7,608 100
	今 後 の 復 舊 所 要 額 (千圓)	—	—	—	—	—
⑦ 都 市	被 害 額 (千圓)	107,854	210,992	300,989	2,492,956	3,112,791
	復舊査定額 (千圓)	32,985	72,229	554,938	205,586	865,738
	復 舊 濟 額 及 復 舊 率 (千圓・%)	3,546 11	48,899 68	101,057 18	107,291 52	260,793 30
	今 後 の 復 舊 所 要 額 (千圓)	29,439	23,330	453,881	98,295	601,945
⑧ 海 岸	被 害 額 (千圓)	555,516	1,212,831	1,394,507	1,142,136	4,304,990
	復舊査定額 (千圓)	407,286	340,864	978,688	471,819	2,198,657
	復 舊 濟 額 及 復 舊 率 (千圓・%)	259,865 64	153,968 45	470,626 48	46,424 10	930,883 42
	今 後 の 復 舊 所 要 額 (千圓)	147,421	186,896	508,062	425,395	1,267,774
⑨ 農 耕 地	被 害 額 (千圓)	1,226,997	743,663	1,525,465	6,883,797	10,379,922
	復舊査定額 (千圓)	561,423	470,248	555,252	4,967,879	6,554,802
	復 舊 濟 額 及 復 舊 率 (千圓・%)	291,395 52	376,238 80	208,165 37	1,732,386 35	2,608,184 40
	今 後 の 復 舊 所 要 額 (千圓)	270,028	94,010	347,087	3,235,493	3,946,618

縣 別		徳 島 縣	香 川 縣	愛 媛 縣	高 知 縣	計
區 分						
⑩ 漁 港	被 害 額 (千圓)	68,770	110,006	9,482,822	4,500,131	14,161,729
	復舊査定額 (千圓)	59,146	40,966	96,687	3,203,347	3,400,146
	復 舊 濟 額 及 復 舊 率 (千圓・%)	22,389 38	40,966 100	23,844 25	3,021,971 94	3,109,170 91
	今 後 の 復 舊 所 要 額 (千圓)	36,757	—	72,843	181,376	290,976
⑪ 港 灣	被 害 額 (千圓)	1,016,250	1,767,904	466,492	2,569,610	5,820,256
	復舊査定額 (千圓)	857,638	848,326	295,534	1,033,987	3,035,485
	復 舊 濟 額 及 復 舊 率 (千圓・%)	579,339 68	156,209 19	40,876 48	771,762 75	1,648,186 54
	今 後 の 復 舊 所 要 額 (千圓)	278,299	692,117	154,658	262,225	1,387,299
④ ⑪ 合 計	被 害 額 (千圓)	4,343,619	4,509,762	13,900,975	34,489,368	57,243,724
	復舊査定額 (千圓)	2,667,343	1,833,978	3,111,017	19,968,261	27,580,599
	復 舊 濟 額 及 復 舊 率 (千圓・%)	1,563,263 59	800,577 44	1,328,739 43	13,109,372 66	16,801,951 61
	今 後 の 復 舊 所 要 額 (千圓)	1,104,080	1,033,401	1,782,278	6,858,889	10,778,648
摘 要						

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の金額は各年度の被害及査定金額に物價指數を乗じ昭和25年度の金額に更正して集計したものである。

2 鹽 田

当地方の塩田は香川県西、中部、愛媛県東部、徳島県北部に分布し、ほぼ瀬戸内海岸にあるため地震被害は僅少であつたが、何分そのすべてが海岸にあり、常に海水位の影響をうけるため沈下被害は甚大であつた。

これを県別にみれば香川県、愛媛県、徳島県の順になつてゐるが、郡市別被害でみると鳴門市、三豊郡、越智郡、次いで綾歌郡、新居郡となつてゐる。その詳細については第三章及第二編を参照されたい。

25年度末迄の復旧工事進捗率は査定額に対し平均50%となつており、特に徳島県のそれは100%復旧済となつてゐるが、これは何れも原形復旧に止まり、今後続行する沈下、又大規模の高潮に対しては十分安全であるとは云えない。しかも被害額に対する復旧率は平均51%、徳島県のそれは68%と云われ、就中香川県は15%に止まり、今後の復旧、防災工事の促進には非常な努力が必要とされる。

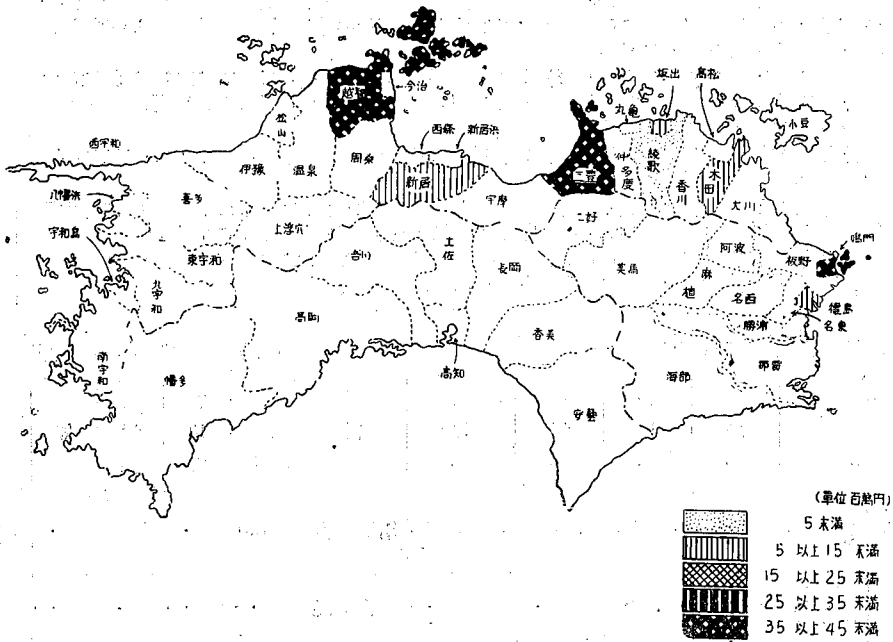
塩田被害県別年度別集計表

区 分		徳 島 県	香 川 県	愛 媛 県	高 知 県	計	
被 害 額 (千圓)	地震によるもの	—	—	—	—	—	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—
		昭和22年度後	—	—	55,479	—	55,479
		昭和23年度	46,499	64,543	—	—	111,042
		昭和24年度	—	10,350	—	—	10,350
		昭和25年度	—	—	—	—	—
小 計	46,499	74,893	55,479	—	176,871		
合 計	46,499	74,893	55,479	—	176,871		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率(%)		31,418 100	11,313 30	48,323 87	—	91,064 73	
26年度以後に於ける復舊所要額(千圓)		—	27,145	7,156	—	34,301	
摘 要							

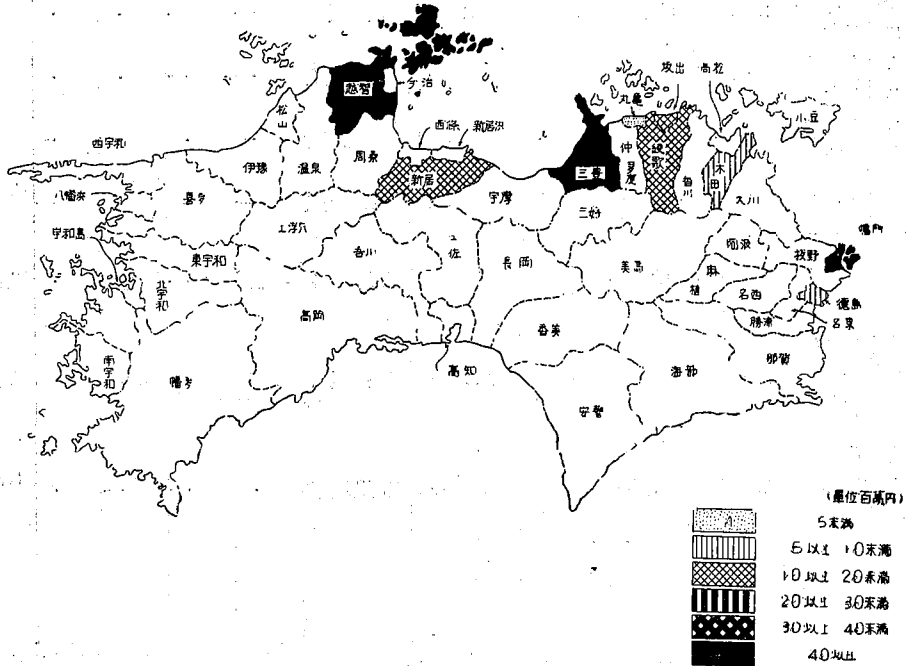
(註) 本表中の金額はすべて昭和25年度の金額に更正したものである

塩田被害市郡別分布図

(地震によるものと沈下によるものの合計)



(沈下によるもののみ)



3 河川及砂防

河川被害は被害表及び被害分布図を見ても明瞭であるように、地震被害では高知県がその大部分を占めており、沈下被害でもやはり高知県がその半ば以上を占め、次いで徳島、香川、愛媛の順になつている。

市郡別の分布に於いても高知県各郡、徳島県南部に被害が集中しているが、それはこれ等各郡が何れも香川県及び愛媛県の各郡に比して非常に面積が大きい爲で、単位面積当りの被害はこれ程大きい差は無いであろう。

各市郡の被害額が1億乃至4億円に集中しているため、被害額の階級についてはこの部分を小分けして図示してある。

査定額に対する復旧率は平均70%であるが、香川県は4%にすぎない。被害額に対する復旧率は平均46%に止まつている。地元で再査定を要望されるゆえんである。

砂防被害は地震によるもののみで、徳島県と愛媛県にみられるが極く僅少であり、且つ100%復旧済である爲分布図に記入されていない。

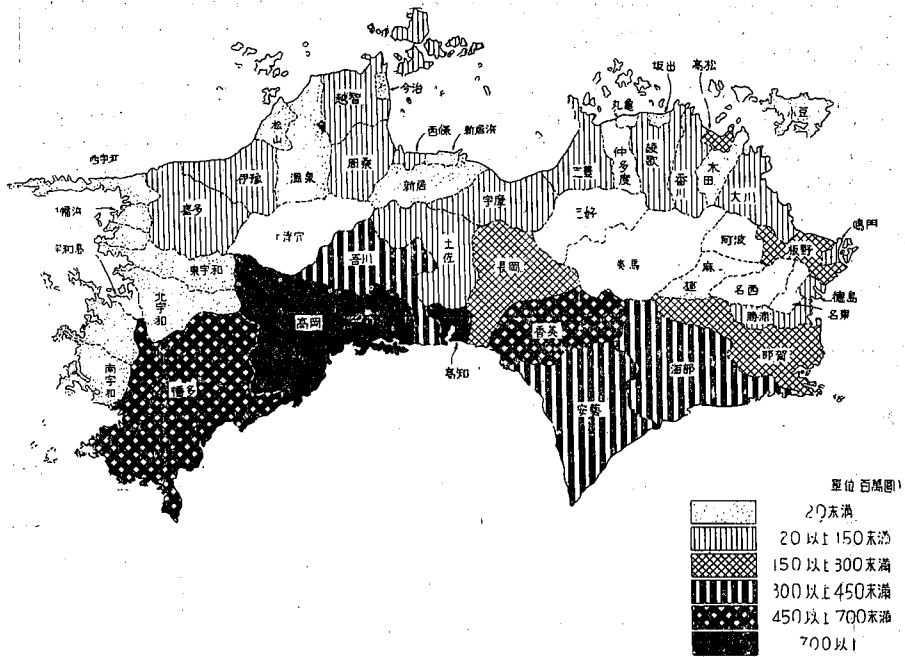
河川被害県別年度別集計表

砂防被害県別年度別集計表

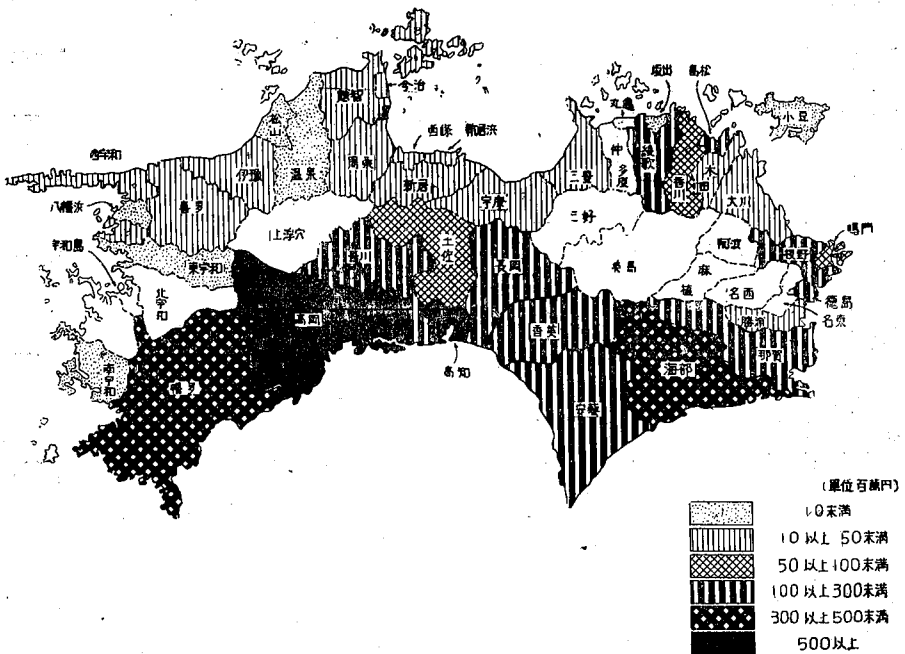
区 分	縣 別	徳 島 縣	香 川 縣	愛 媛 縣	高 知 縣	計	徳 島 縣	香 川 縣	愛 媛 縣	高 知 縣	計
		地震によるもの	172,129	3,361	22,596	8,310,936	8,509,022	801	—	17,016	—
被 害 額 (千圓)	地 盤 沈 下 によるもの	昭 和 21年度	562,862	2,145	—	—	565,007	—	—	—	—
		昭 和 22年度	—	3,861	160,543	—	164,404	—	—	—	—
		昭 和 23年度	284,975	363,753	74,146	1,725,220	2,448,094	—	—	—	—
		昭 和 24年度	53,768	36,464	16,944	—	107,176	—	—	—	—
		昭 和 25年度	—	650	—	1,389,910	1,390,560	—	—	—	—
	小 計	901,605	406,873	251,633	3,115,130	4,675,241	—	—	—	—	
	合 計	1,073,734	410,234	274,229	11,426,066	13,184,263	801	—	17,016	—	17,817
	25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓) (%)	251,863 52	15,450 4	158,197 59	5,626,540 75	6,052,050 74	801 100	—	6,807 100	—	7,608 100
	26年度以後に於ける復舊所要額 (千圓)	228,448	394,784	112,216	1,830,443	2,565,891	—	—	—	—	—
	摘 要										

(註) 本表中の金額はすべて昭和25年度の金額に更正したものである

河川及び砂防被害市郡別分布図
(地震によるものと沈下によるもの合計)



(沈下によるもののみ)



4 道 路

南海地震による道路被害は高知県及び徳島県南部に集中的で、特に高知県幡多郡、高岡郡、吾川郡、高知市のそれは甚大である。表に示すところによれば道路関係地震被害の大部分を高知県が占めている。

沈下被害に於いても高知県が首位であり、次いで愛媛県、徳島県、香川県の順となっており、高知市、今治市を結ぶ線より西の各市郡の被害が特に激しいと云える。これはこれらの区域に於ける沈下量が東部に比して大であると云うのではなく、東部は比較的平野が多いのに反して西部は山が海岸に迫り、従つて主要道路の大部分が海岸線沿いに存在している爲、沈下による影響が大であつたことによると思われる。

復旧工事進捗率は査定額に対しては平均67%を示しているが、被害額に対するそれは30%にとどまり、特に香川県は16%に過ぎない。この意味では徳島県の査定額は被害額に割合に近いものであつたと云える。

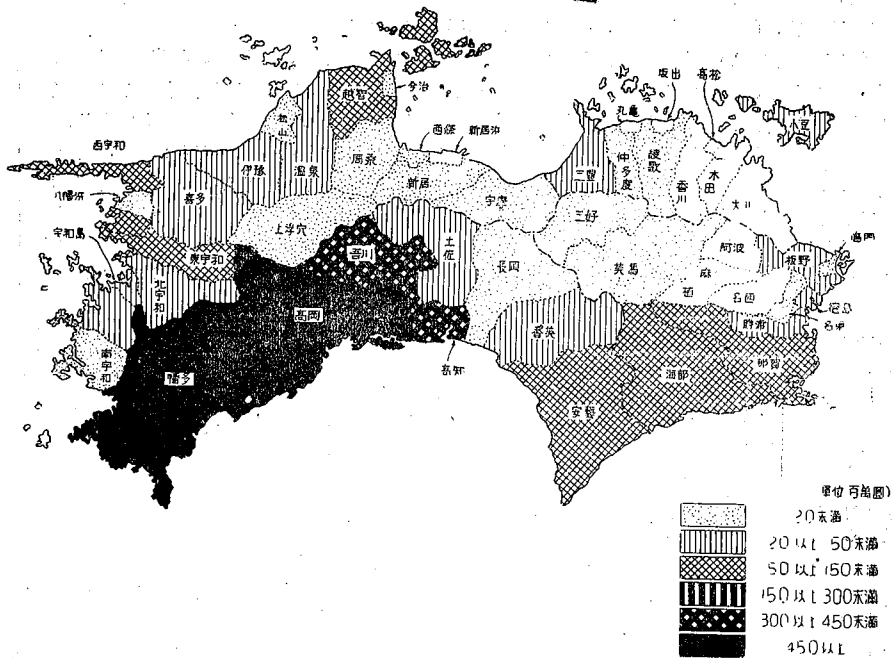
道路被害県別年度別集計表

区 分		徳 島 県	香 川 県	愛 媛 県	高 知 県	計	
被 害 額 (千圓)	地震によるもの	178,713	28,815	111,367	4,644,055	4,962,950	
	地 盤 沈 下 に よ る も の	昭 和 21年度	—	5,291	—	—	5,291
		昭 和 22年度	—	1,050	185,449	—	187,499
		昭 和 23年度	76,321	1,662	104,220	382,047	564,250
		昭 和 24年度	38,663	16,514	37,419	42,345	134,941
		昭 和 25年度	—	800	—	406,225	407,025
小 計	114,984	25,317	328,088	830,617	1,299,006		
合 計	293,697	54,132	439,455	5,474,672	6,261,956		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)		154,065 58	8,847 41	224,273 62	1,802,998 69	2,190,183 67	
25年度以後に於ける復舊所要額 (千圓)		113,688	12,935	145,157	825,662	1,098,442	
摘 要							

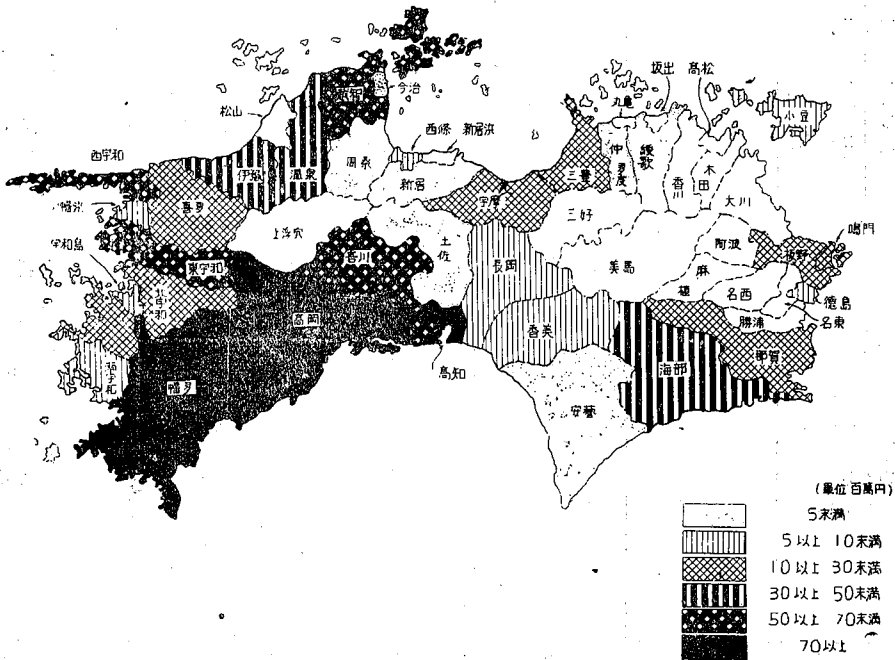
(註) 本表中の金額はすべて昭和25年度の金額に更正したものである

道路被害市郡別分布図

(地震によるものと沈下によるものの合計)



(沈下によるもののみ)



5 都 市

ここに云う都市被害とは大体上下水道関係の被害を示し、地震によるものは高知県のみで、高知市、幡多郡、高岡郡、安藝郡が特に甚大であつた。
 沈下被害に於いても高知県がその大半を占め、次いで愛媛県、香川県、徳島県の順序となつているが、被害額としては他の公共施設より比較的少く、5,000万円未満の市郡が多い関係上分布図に於いては被害の階級として5,000万円未満を小分けして図示してある。
 復旧工事の進捗率は査定額に対して平均40%であるが、被害額に対するそれは8%にすぎず、特に高知県の査定額は僅少であつたと云える。然し愛媛県においては査定額に対しては復旧率が18%であるが、被害額に対しては30%復旧済となつており、これは被害の原形復旧のみならず改良、改善のための予算処置がみこまれたためと思われ、理想的な復旧方法であるが、復旧率自体は非常に小さく今後の努力を望まれるものである。

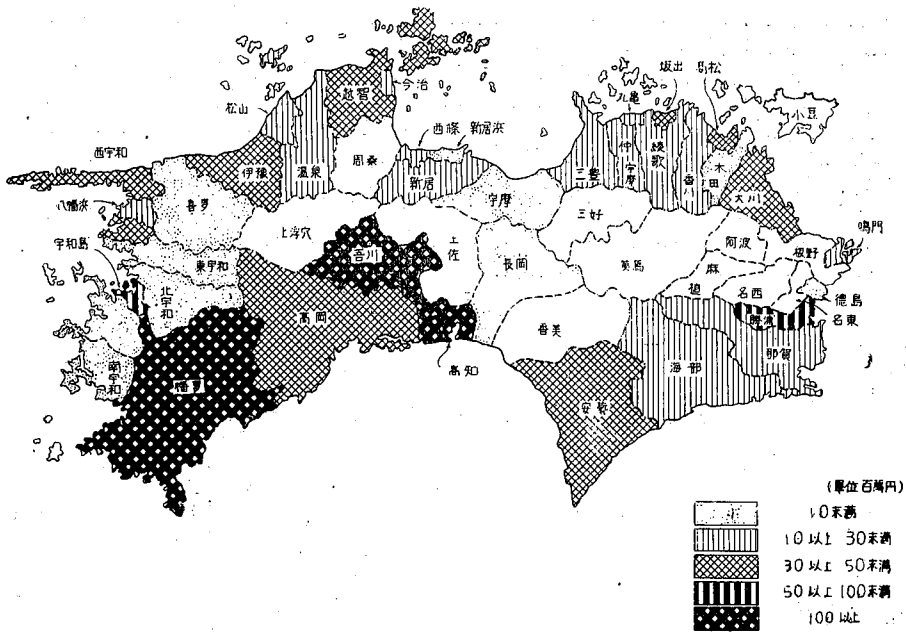
都市被害県別年度別集計表

区 分	縣 別					計	
	徳 島 縣	香 川 縣	愛 媛 縣	高 知 縣			
被 害 額 (千圓)	地震によるもの	—	—	—	894,364	894,364	
	地震沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—
		昭和22年度	—	—	—	8,190	8,190
		昭和23年度	—	—	—	179,760	179,760
		昭和24年度	—	—	300,989	895,000	1,195,989
		昭和25年度	107,854	210,992	—	515,642	834,488
小 計	107,854	210,992	300,989	1,598,592	2,218,427		
合 計	107,854	210,992	300,989	2,492,956	3,112,791		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	3,546 11	48,899 68	101,057 18	107,291 52	260,793 30		
26年度以後に於ける復舊所要額 (千圓)	29,439	23,330	453,881	98,295	604,945		
摘 要							

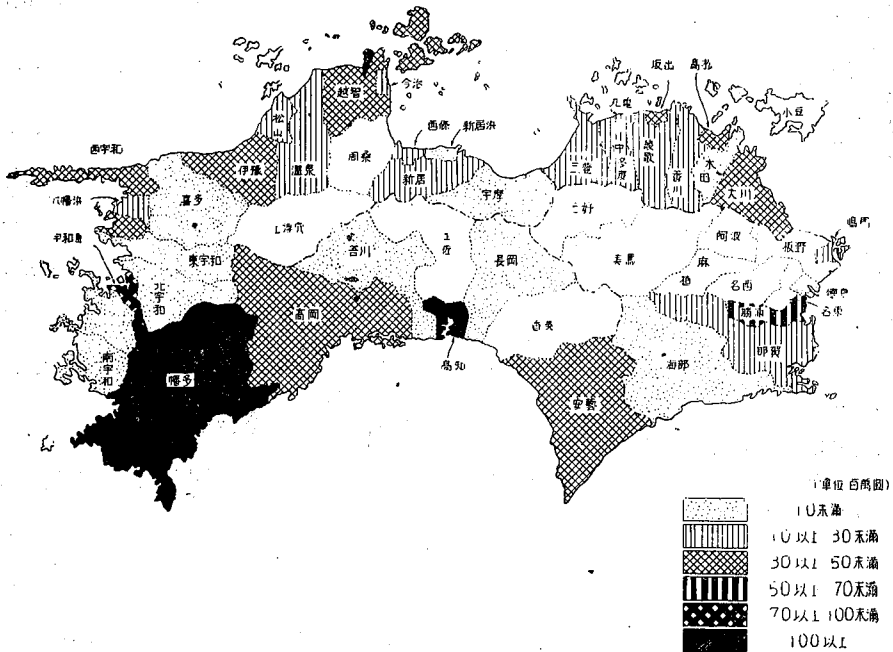
(註) 本表中の金額はすべて昭和25年度の金額に更正したものである

都市被害市郡別分布図

(地震によるものと沈下によるものの合計)



(沈下によるもののみ)



6 海 岸

地震による海岸施設被害としては高知県、徳島県が特に甚大で、愛媛県、香川県、即ち沿瀬戸内海地域は一般に僅少であつた。郡市別被害分布では高知市、高岡郡、幡多郡、那賀郡、海部郡に集中的である。

然し沈下被害は愛媛県が最も大きく、次いで香川県、高知県、徳島県の順序となつており、一般に海岸線延長の長大な県ほど被害額が大となつている。又一面愛媛県、香川県は既設の海岸施設が他県に比して多かつた爲に被害額が大きくなつているとも思われる。即ち郡市別被害分布を見るに高松市、三豊郡、宇摩郡、越智郡、周桑郡等に集中的で愛媛県西部、高知県東部等が僅少になつている。

復旧工事進捗率は査定額に対し平均92%、徳島県が最も良く64%を示している。一方被害に対する進捗率は平均2%であるが高知県は4%にすぎない、今後の復旧促進に努力を要する所以である。

海岸被害県別年度別集計表

區 分	縣 別				計		
	徳 島 縣	香 川 縣	愛 媛 縣	高 知 縣			
被 害 額 (千圓)	地震によるもの	222,966	26,374	63,577	579,923	892,840	
	地 盤 沈 下 によるもの	昭 和 21年度	118,076	2,288	—	—	120,364
		昭 和 22年度	3,168	351,148	813,362	—	1,167,678
		昭 和 23年度	202,209	441,948	441,112	398,000	1,483,269
		昭 和 24年度	9,077	363,123	76,456	—	448,676
		昭 和 25年度	—	27,950	—	164,213	192,163
	小 計	332,550	1,186,457	1,330,930	562,213	3,412,250	
合 計	555,516	1,212,831	1,394,507	1,142,136	4,305,090		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	259,865 64	153,968 13	470,626 48	46,424 10	930,833 42		
25年度以後に於ける復舊所要額 (千圓)	147,42.	1,058,863	508,062	425,395	2,139,741		
摘 要							

(註) 本表中の金額はすべて昭和25年度の金額に更正したものである

海岸被害市郡別分布図
(地震によるものと沈下によるものの合計)



(沈下によるもののみ)



7 農 耕 地

農耕地関係地震被害としては表によると高知県、愛媛県にみられるのみであるが、他2県に於ける沈下被害の21年度分には地震被害が多分に含まれていることと思われる。然し地震被害の大部分は高知県に占められている。特に幡多郡、長岡郡、安藝郡に集中的である。

沈下被害は高知県が最も大きく次いで愛媛県、徳島県、香川県の順になつているが香川県以外の3県の被害額はほぼ同額となつている。郡市別被害分布をみるに高知市、高岡郡幡多郡、安藝郡、越智郡、板野郡の被害が特に甚大であるが、高知県の3郡は他郡市より比較的面積が大で且つ海岸線が長大なので被害額が大きくなつたため、単位面積当りの被害は他郡に比較して大差は無いものと思われる。

復旧工事進捗率は査定額に対して平均40%で、香川県が特に良好で80%を示している。然し被害額に対する復旧率は平均26%にすぎない。

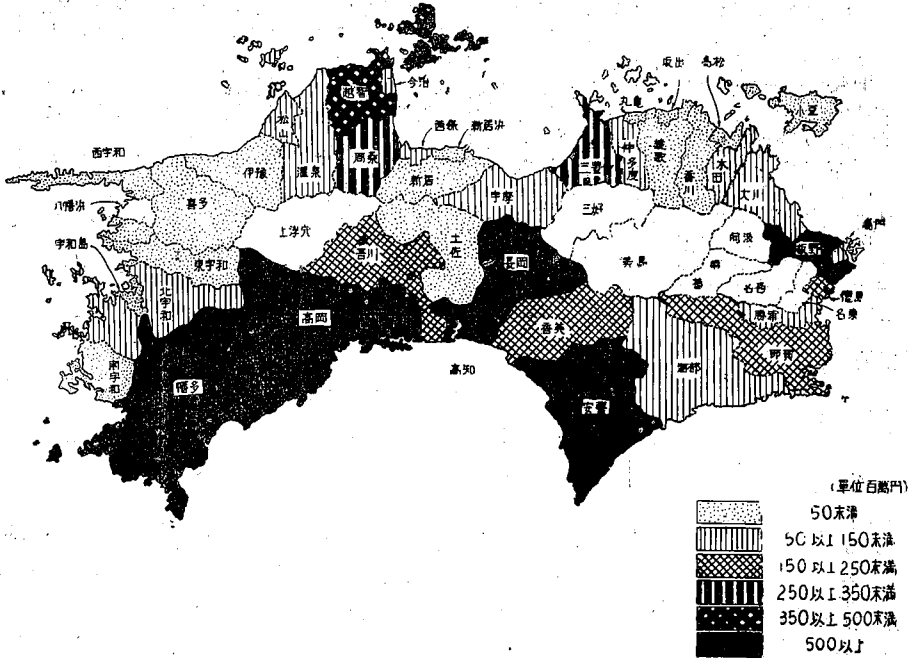
農耕地被害県別年度別集計表

縣 別 區 分		徳 島 縣	香 川 縣	愛 媛 縣	高 知 縣	計	
被 害 額 (千圓)	地震によるもの	—	—	35,304	4,963,784	4,999,088	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	595,481	—	974,646	1,571,172
		昭・和22年度	345,708	—	—	—	344,708
		昭和23年度	—	147,182	130,731	25,979	303,892
		昭和24年度	369,232	—	724,953	—	1,094,185
		昭和25年度	512,057	—	634,477	919,428	2,065,962
	小 計	1,226,997	743,663	1,490,161	1,920,013	5,380,274	
合 計	1,226,997	743,663	1,525,465	6,883,797	10,379,362		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率(千圓・%)	291,395 52	376,238 80	208,165 37	1,732,386 35	2,608,184 40		
26年度以後に於ける復舊所要額(千圓)	270,028	94,010	347,087	3,235,493	3,946,618		
摘 要							

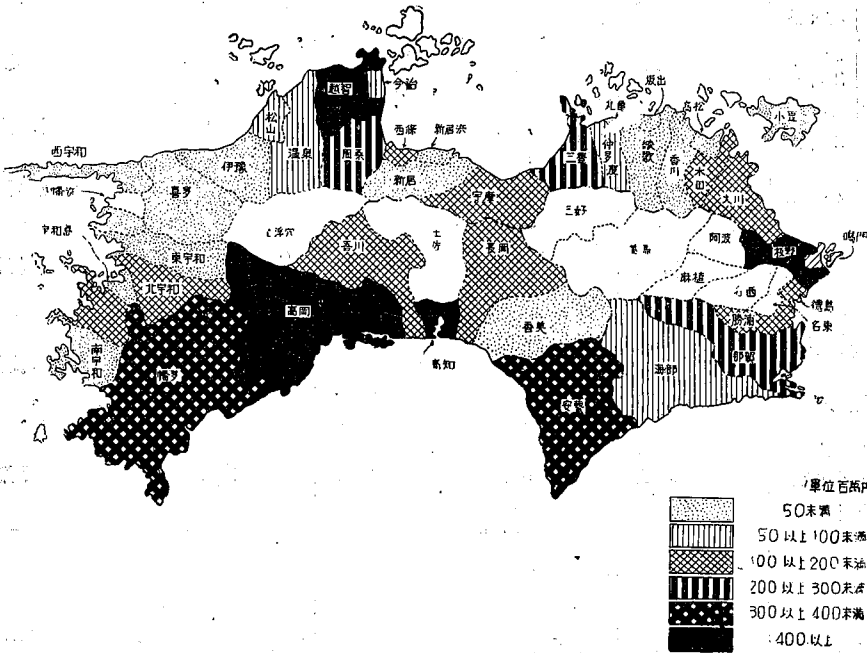
(註) 本表中の金額はすべて昭和25年度の金額に更正したものである

農耕地被害市郡別分布図

(地震によるものと沈下によるものの合計)



(沈下によるもののみ)



8 漁 港

地震による漁港被害は愛媛県が最も大きく、次いで高知県で他の2県は極く僅少である。これを被害分布図においてみるに愛媛県中部、西南部、高知県西南部及び安藝郡に集中しており所謂四国西南地域の漁港被害が特に大きかつたと云える。

沈下被害においても愛媛が最も甚大で、次いで高知県、香川県、徳島県の順序となり分布も地震被害にほぼ准じているが、唯幡多郡は沈下被害が非常に僅少となつている。これはこの地域の変動量が比較的僅少であつた爲と思われる。

沈下被害と云うのはその大部分が颱風、高潮害が地盤沈下により増大されたものを云うので、四国西南部の漁港被害が甚大であつたのは、24年デラ、25年キジャ等の颱風が殆んど豊後水道方面を通過したことによるもので、若し紀伊水道方面を通過すればこの分布状況は今少し変つた様相を示すことと考えられる。

復旧工事進捗率は査定額に対し平均91%、香川県の如きは100%となつている。然し被害額に対しては25%に過ぎない。

漁港被害県別年度別集計表

区 分		徳 島 県	香 川 県	愛 媛 県	高 知 県	計	
被 害 額 (千圓)	地震によるもの	28,000	—	7,682,458	3,998,224	11,708,682	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—
		昭和22年度	—	3,080	—	—	3,080
		昭和23年度	—	19,166	341,841	151,907	512,914
		昭和24年度	40,770	16,530	542,380	—	599,680
		昭和25年度	—	71,230	96,143	350,000	1,337,373
	小 計	40,770	110,006	1,800,364	501,907	2,453,047	
合 計	68,770	110,006	9,824,822	4,500,131	14,161,729		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	22,389 38	40,966 100	23,844 25	3,021,971 94	3,109,170 91		
26年度以後に於ける復舊所要額 (千圓)	36,757	69,040	72,843	181,376	360,016		
摘 要							

(註) 本表中の金額はすべて昭和25年度の金額に更正したものである

9 港 湾

地震による港湾被害は高知県が最も激しく、次いで徳島、香川、愛媛の順になつているが、愛媛県は僅少であつた。一般に太平洋岸各地が激甚であつたと云える。郡市別被害分布では高岡郡の地震被害が特に甚大であつたことが注目をひく。

沈下被害では高知、香川、愛媛、徳島の順序となり、徳島、愛媛が僅少であつた。香川県の港湾被害が大きいのは高松、観音寺、坂出等の大規模港湾が多数ある爲と思われる高知県では高知市、幡多郡及び安藝郡が特に被害が激しいが安藝郡は他郡市と異り室戸港を始め港底隆起による被害が大部分となつている。

復旧工事の進捗率は査定額に対するものは平均54%、高知県は特に良好で75%を示し、逆に香川県は19%に過ぎない。被害額に対する復旧率は平均28%で、徳島県は57%を示している。

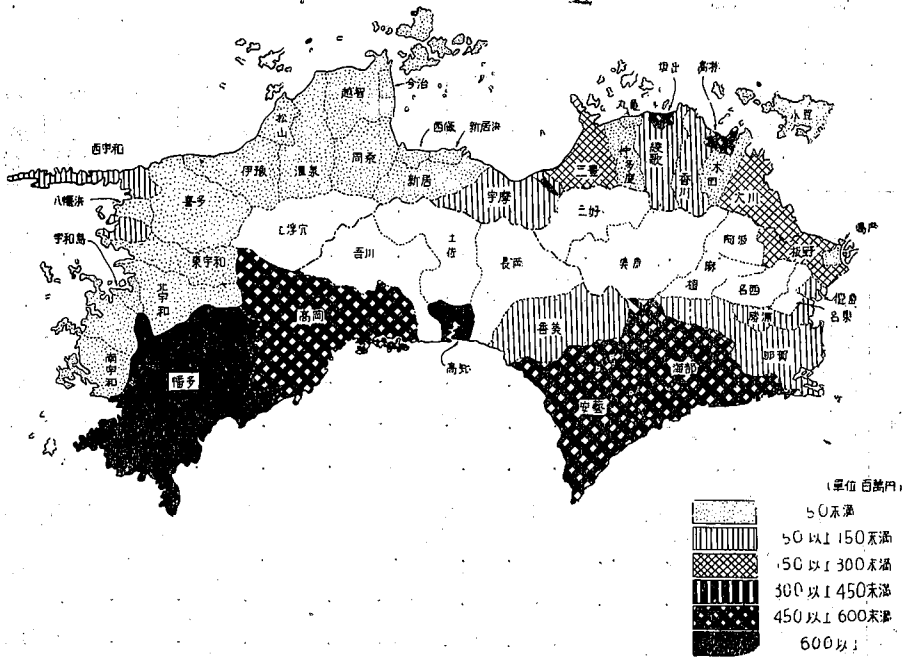
港湾被害県別年度別集計表

縣 別		徳 島 縣	香 川 縣	愛 媛 縣	高 知 縣	計	
區 分							
被 害 額 (千圓)	地震によるもの	990,418	569,793	41,354	1,170,255	2,771,820	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—
		昭和22年度	—	163,625	303,781	—	467,406
		昭和23年度	20,879	257,211	73,210	336,426	687,726
		昭和24年度	—	205,460	48,147	—	253,607
		昭和25年度	4,953	571,815	—	1,062,929	1,639,697
	小 計	25,832	1,198,111	425,138	1,399,355	3,048,436	
合 計	1,016,250	1,767,904	466,492	2,569,610	5,820,256		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	579,339 68	156,209 19	140,876 48	771,762 75	1,648,186 54		
26年度以後に於ける復舊所要額 (千圓)	278,299	692,117	154,668	262,225	1,387,309		
摘 要							

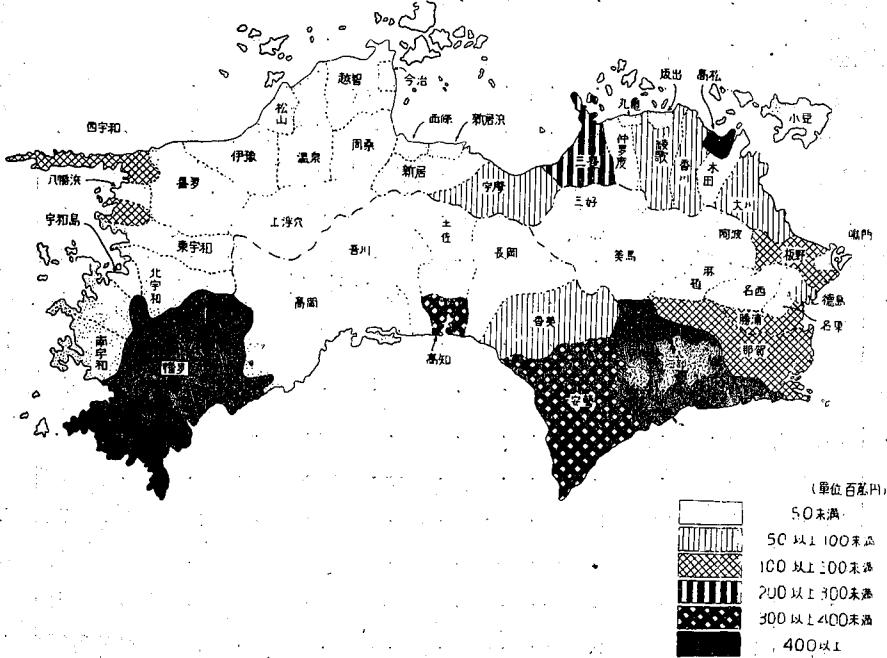
(註) 本表中の金額はすべて昭和25年度の金額に更正したものである

港湾被害市郡別分布図

(地震によるものと沈下によるものの合計)



(沈下によるもののみ)



第三章 各縣別被害状況及び復旧状況

1 徳島縣

徳島県家屋被害

被害		市	郡	別	鳴門市	徳島市	板野郡	阿波郡	麻植郡	美馬郡	三好郡	名東郡	名西郡	勝浦郡	那賀郡	海部郡	合計	
流失 地盤沈下 (戸)	地震													2	39	375	416	
	21年度																	
		22年度																
		23年度																
		24年度																
		25年度																
計																		
破壊 地盤沈下 (戸)	地震	44	57	147	15	33	68	6	31	17	40	553	1,908				2,919	
	21年度																	
		22年度																
		23年度		5	19												10	34
		24年度															3	3
		25年度															168	168
計		5	19												181	205		
床上浸水 地盤沈下 (戸)	地震															1,194	1,194	
	21年度																	
		22年度															34	34
		23年度	200		32											70	172	474
		24年度															658	658
		25年度															146	146
計	200		32											70	1,010	1,312		
床下浸水 地盤沈下 (戸)	地震															906	906	
	21年度																	
		22年度															182	182
		23年度	1,600	150	168							200	458	712			3,288	
		24年度														1,967	1,967	
		25年度														512	512	
計	1,600	150	168							200	458	3,373			5,949			

徳島県農作物被害

被害	市郡別	鳴門市	板野郡	徳島市	勝浦郡	那賀郡	河部郡	合計	
被害面積 (町歩)	地震	—	—	—	—	—	—	—	
	地盤沈下	21年度	—	—	—	—	—	—	—
		22年度	71	484	171	216	418	82	1,442
		23年度	(不明)		—	—	—	—	—
		24年度	(不明)		—	—	—	—	—
		25年度	(不明)		—	—	—	—	—
計	71	484	171	216	418	82	1,442		
主穀米 (石)	地震	—	—	—	—	—	—	—	
	地盤沈下	21年度	—	—	—	—	—	—	—
		22年度	563	5,031	1,094	1,328	4,651	513	13,180
		23年度	496	4,730	1,100	1,260	3,880	460	11,926
		24年度	451	3,004	1,176	1,657	2,608	497	9,393
		25年度	559	5,594	1,150	1,211	5,722	264	14,500
計	2,069	18,359	4,520	5,456	16,861	1,734	48,999		
雑穀米 (石)	地震	—	—	—	—	—	—	—	
	地盤沈下	21年度	—	—	—	—	—	—	—
		22年度	3	68	16	20	50	—	157
		23年度	4	91	15	19	43	—	172
		24年度	4	82	12	16	40	—	154
		25年度	8	152	28	32	64	—	284
計	19	393	71	87	197	—	767		
野菜 (千貫)	地震	—	—	—	—	—	—	—	
	地盤沈下	21年度	—	—	—	—	—	—	—
		22年度	15	250	25	15	150	100	555
		23年度	20	260	26	17.5	155	105	583.5
		24年度	22.5	270	26.5	20	165	115	619
		25年度	27.5	295	29	25	180	125	681.5
計	85	1,075	106.5	77.5	650	445	2,439		

徳島県塩田被害

市郡別 区分	鳴門市		徳島市		合計		
	概害被況	14	7	27,996	2,832	21	30,828
被害額 (千圓)	地震によるもの						
	地盤沈下によるもの	昭和21年度					
		昭和22年度					
		昭和23年度	41,839	5,660			46,499
		昭和24年度					
		昭和25年度					
	小計	41,839	5,660			46,499	
合計	41,839	5,660			46,499		
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度						
	昭和22年度						
	昭和23年度	26,006	5,412			31,418	
	昭和24年度						
	昭和25年度						
合計	26,006	5,412			31,418		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	26,006 100	5,412 100				31,410 100	
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)							
摘要							

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年=6.981 22年=28.195 23年=69.610 24年=100.000 25年=100.000)
(國土綜合開發事務處の發表「建設綜合價格指數表-昭和24年=100-による)

徳島県河川被害

区	市郡別 分	徳島市	鳴門市	板野郡	勝浦郡	那賀郡	海部郡	麻植郡	合計
		被害概況	ヶ所 延長 (m)	33	27	59	15	42	35
		16,363	13,302	16,480	9,233	12,026	9,310	253	76,966
被害額 (千圓)	地震によるもの	11,626	1,773	77,921	2,574	37,037	36,193	5,005	172,129
	昭 和 21年度	45,016	28,900	51,323	—	152,824	284,799	—	562,862
	昭 和 22年度	—	—	—	—	—	—	—	—
	昭 和 23年度	78,287	37,925	125,394	13,177	9,836	20,356	—	284,975
	昭 和 24年度	—	—	31,109	16,948	315	5,396	—	53,768
	昭 和 25年度	—	—	—	—	—	—	—	—
	小 計	123,303	66,825	207,826	30,125	162,975	310,551	—	901,605
	合 計	134,929	68,598	285,747	32,699	200,012	346,744	5,005	1,073,734
復 舊 査 定 額 (千圓)	昭 和 21年度	10,496	1,773	76,677	2,574	36,480	31,259	—	159,259
	昭 和 22年度	—	—	—	—	—	—	—	—
	昭 和 23年度	58,236	32,584	115,763	11,656	24,977	36,938	—	280,154
	昭 和 24年度	1,855	2,010	18,193	16,948	733	1,159	—	40,898
	昭 和 25年度	—	—	—	—	—	—	—	—
	合 計	70,587	36,367	210,633	31,178	62,190	69,356	—	480,311
	25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	36,705 52	6,546 18	82,147 39	22,136 71	51,618 83	52,711 76	—	251,863 52
	26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	33,882	29,821	128,486	9,042	10,572	16,645	—	228,448
	摘 要								

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
(国土綜合開発事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

徳島県道路被害

区	市郡別 分	徳島市	鳴門市	板野郡	勝浦郡	那賀郡	海部郡	三好郡	美馬郡	名東郡	合計
		被害概況	ケ所 延長 (m)	15 2,599	19 6,307	25 8,735	24 1,044	65 8,034	103 7,931	5 108	4 108
被害額 (千圓)	地震によるもの	17,718	1,973	10,568	26,241	41,441	72,758	6,120	1,687	157	178,713
	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	昭和23年度	7,335	14,468	12,342	—	24,483	17,693	—	—	—	76,321
	昭和24年度	—	1,822	9,804	—	361	26,676	—	—	—	38,663
	昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	7,335	16,290	22,146	—	24,844	44,369	—	—	—	114,984	
合計	25,053	18,263	32,714	26,241	66,285	117,127	6,120	1,687	157	293,697	
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度	15,029	1,973	10,672	26,412	39,282	69,970	6,049	1,630	157	171,174
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	昭和23年度	6,692	11,952	9,314	—	20,748	14,385	—	—	—	63,091
	昭和24年度	—	1,557	8,600	—	334	22,997	—	—	—	33,488
	昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	21,721	15,482	28,586	26,412	60,364	107,352	6,049	1,630	157	267,753	
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	19,301 82	7,265 53	5,866 8	26,412 100	49,812 82	37,573 35	6,049 100	1,630 100	157 100	154,065 58	
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	2,420	8,217	22,720	—	10,552	69,779	—	—	—	—	113,688
摘要											

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981・22年~2.8195・23年~69.610・24年~100.000・25年~100.000)
(國土綜合開発事務處の發表せる、建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

徳島県砂防被害

市郡別		板野郡	美馬郡	合計
区	分			
被害概況	ヶ所 延長 (m)	2	1	3
		62	60	122
被害額 (千圓)	地震によるもの	615	186	801
	地盤沈下によるもの 昭和21年度 昭和22年度 昭和23年度 昭和24年度 昭和25年度 小計	—	—	—
		—	—	—
		—	—	—
		—	—	—
		—	—	—
合計	615	186	801	
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度 昭和22年度 昭和23年度 昭和24年度 昭和25年度 合計	615	186	801
		—	—	—
		—	—	—
		—	—	—
		—	—	—
合計	615	186	801	
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)		615 100	186 100	801 100
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)		—	—	—
摘要				

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
(国土綜合開發事務處の發表せる、建設綜合價格指數~昭和24年=100~による)

徳島県都市被害

市 郡 別 区 分		徳島市	鳴門市	勝浦郡	那賀郡	海部郡	合 計
被害概況	ケ所面積 (m ²)	1	1 (不明)	1	1	1	5
	地震によるもの	—	—	—	—	—	—
被害額 (千圓)	昭和21年度	—	—	—	—	—	—
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—
	昭和23年度	—	—	—	—	—	—
	昭和24年度	—	—	—	—	—	—
	昭和25年度	2,870	10,434	57,000	19,600	17,950	107,854
	小計	2,870	10,434	57,000	19,600	17,950	107,854
合計	2,870	10,434	57,000	19,600	17,950	107,854	
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度	—	—	—	—	—	—
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—
	昭和23年度	—	—	—	—	—	—
	昭和24年度	—	—	—	—	—	—
	昭和25年度	1,630	5,000	11,090	9,285	5,980	32,985
合計	1,630	5,000	11,090	9,285	5,980	32,985	
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	929 57	850 17	333 3	836 9	598 10	3,546 11	
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	701	4,150	10,757	8,449	5,382	29,439	
摘 要							

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
(国土総合開発事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

徳島県海岸被害

区	市郡別	徳島市	鳴門市	板野郡	勝浦郡	那賀郡	海部郡	合計
	分							
被害概況	ケ所	2	11	4	6	89	17	129
	延長(m)	1,913	4,140	1,484	1,896	93,522	18,333	121,288
被害額 (千圓)	地震によるもの	—	43,572	22,065	2,574	136,422	18,333	222,966
	昭和21年度	52,381	—	35,593	12,012	—	18,090	118,076
	昭和22年度	—	—	—	—	—	3,168	3,168
	昭和23年度	42,966	6,080	8,863	30,583	100,743	12,974	202,209
	昭和24年度	—	5,885	—	—	986	2,226	9,097
	昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—
	小計	95,347	11,965	44,456	42,595	101,729	36,458	332,550
合計	95,347	55,537	66,521	45,169	238,151	54,801	555,516	
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度	25,654	41,813	31,760	4,404	126,026	18,190	247,847
	昭和22年度	—	—	—	—	—	4,736	4,736
	昭和23年度	—	3,073	6,180	22,660	97,265	17,963	147,141
	昭和24年度	—	4,284	664	—	986	1,628	7,562
	昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—
合計	25,654	49,170	38,604	27,064	224,277	42,517	407,286	
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	25,654 100	27,044 55	1,544 4	14,073 52	159,237 71	32,313 76	259,865 64	
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	—	23,129	37,060	12,991	65,040	10,204	147,421	
摘要								

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

徳島県農耕地被害

市 郡 別 區 分	徳島市	鳴門市	板野郡	勝浦郡	那賀郡	海部郡	合計	
被害概況 {ヶ所面積(町歩)}	45	21	41	10	37	3	157	
被害額 (千圓)	地震によるもの	—	—	—	—	—	—	
	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	
	昭和22年度	13,575	10,150	171,234	33,576	84,000	33,173	345,708
	昭和23年度	—	—	—	—	—	—	—
	昭和24年度	84,525	43,038	143,998	52,158	32,775	12,738	369,232
	昭和25年度	63,217	50,065	195,055	45,553	122,861	35,306	512,057
小計	161,317	103,253	510,287	131,287	239,636	81,217	1,226,997	
合計	161,317	103,253	510,287	131,287	239,636	81,217	1,226,997	
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	
	昭和22年度	7,322	10,150	101,266	33,576	74,634	33,173	260,121
	昭和23年度	—	—	—	—	—	—	—
	昭和24年度	69,176	35,190	117,459	42,374	25,743	10,360	301,302
	昭和25年度	—	—	(未 査 定)	—	—	—	—
合計	76,498	45,340	218,725	75,950	101,377	43,533	561,423	
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	31,266 41	20,274 45	113,495 52	38,934 51	60,914 60	26,512 61	291,395 52	
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	45,232	25,066	105,230	37,016	40,463	17,021	270,028	
摘 要								

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

徳島県漁港被害

分市郡 別	徳島市	鳴門市	板野郡	勝浦郡	那賀郡	海部郡	合計		
	被害概況	1 454	7 686	2 300	1 44	10 875	19 2,018	40 4,378	
被害額 (千圓)	地震によるもの	—	350	2,100	—	3,500	22,050	28,000	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	
		昭和22年度	—	—	—	—	—	—	
		昭和23年度	—	—	—	—	—	—	
		昭和24年度	5,920	6,768	970	322	8,577	18,213	40,770
		昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—
小計	5,920	6,768	970	322	8,577	18,213	40,770		
合計	5,920	7,118	3,070	322	12,077	40,263	68,770		
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度	—	—	—	—	—	—		
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—		
	昭和23年度	—	350	2,100	—	3,500	22,050	28,000	
	昭和24年度	5,650	5,424	—	263	8,488	11,321	31,146	
	昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	
合計	5,650	5,774	2,100	263	11,988	33,371	59,146		
25年度末に於ける復舊済額と進歩率 (千圓・%)	1,186 21	3,580 62	2,100 100	263 100	4,915 41	10,345 31	22,389 38		
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	4,464	2,194	—	—	7,073	23,026	36,757		
摘要									

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6981、22年~28.19、23年~69.610、24年~100.000、25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

徳島県港湾被害

市 郡 別 分		徳島市	鳴門市	板野郡	勝浦郡	那賀郡	海部郡	合計	
被害概況	ヶ所	3	1	5	8	4	35	56	
	延長(m)	1,378	240	345	1,790	2,856	5,796	12,405	
被害額 (千圓)	地震によるもの	93,722	—	180,709	108,852	99,785	507,350	990,418	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—
		昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—
		昭和23年度	4,459	—	—	11,820	—	4,600	20,879
		昭和24年度	—	—	—	—	—	—	—
		昭和25年度	—	2,338	—	496	1,309	810	4,953
小計	4,459	2,338	—	12,316	1,309	5,410	25,832		
合計	98,181	2,338	180,709	121,168	101,094	512,760	1,016,250		
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度	93,708	—	62,849	101,344	99,785	474,817	832,503	
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和23年度	4,458	—	—	11,820	—	4,183	20,461	
	昭和24年度	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和25年度	—	1,998	—	377	1,187	1,108	4,670	
合計	98,166	1,998	62,849	113,541	100,972	480,108	857,634		
25年度末に於ける復舊済額と進歩率 (千圓・%)	90,313 92	—	62,849 100	91,971 81	98,953 98	235,253 49	579,339 68		
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	7,853	1,998	—	21,574	2,019	244,855	278,299		
摘 要									

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

徳島県市郡別被害集計表(地震によるものと地盤沈下によるものの合計) (その1)

区	市郡別 分	徳島市	鳴門市	板野郡	阿波郡	麻植郡	美馬郡	三好郡	名東郡	名西郡	勝浦郡	那賀郡	海部郡	合計
		①	流失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	39
家屋(戸)	破壊	62	44	165	15	33	68	6	31	17	40	553	2,089	3,124
	床上浸水	—	200	32	—	—	—	—	—	—	—	70	2,204	2,506
	床下浸水	150	1,600	168	—	—	—	—	—	—	200	458	7,279	6,855
	被害面積(町)	171	71	484	—	—	—	—	—	—	216	418	82	1,442
②	主穀減収(石)	4,520	2,069	18,359	—	—	—	—	—	—	5,456	16,861	1,734	48,999
塩田	被害額(千圓)	5,660	41,839	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46,499
	復舊査定額(千圓)	5,412	26,006	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31,418
	復舊済額及復舊率(千圓・%)	5,412 100	26,006 100	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31,418 100
	今後の復所要額(千圓)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
河川	被害額(千圓)	134,929	68,598	285,747	—	5,005	—	—	—	—	32,699	200,012	346,744	1,073,734
	復舊査定額(千圓)	70,587	36,367	210,633	—	—	—	—	—	—	31,178	62,190	69,356	480,311
	復舊済額及復舊率(千圓・%)	36,705 52	6,546 18	82,147 39	—	—	—	—	—	—	22,136 71	51,618 83	52,711 76	251,863 52
	今後の復所要額(千圓)	33,882	29,821	128,486	—	—	—	—	—	—	9,042	10,572	16,645	228,448
道路	被害額(千圓)	25,053	18,263	32,714	—	—	1,687	6,120	157	—	26,241	66,285	117,127	293,697
	復舊査定額(千圓)	21,721	15,482	28,586	—	—	1,630	6,049	157	—	26,412	60,364	107,352	267,753
	復舊済額及復舊率(千圓・%)	19,301 82	7,265 53	5,866 8	—	—	1,630 100	6,049 100	157 100	—	26,412 100	49,812 82	37,573 35	154,065 58
	今後の復所要額(千圓)	2,420	8,217	22,720	—	—	—	—	—	—	10,552	69,779	—	113,688

(その2)

區	市 郡 別 分	徳島市	鳴門市	板野郡	阿波郡	麻植郡	美馬郡	三好郡	名東郡	名西郡	勝浦郡	那賀郡	海部郡	合 計
		⑥	砂防			615			186					
	被害額 (千圓)	—	—	615	—	—	186	—	—	—	—	—	—	801
	復舊査定額 (千圓)	—	—	615	—	—	186	—	—	—	—	—	—	801
	復舊濟額 及復舊率 (千圓・%)	—	—	615 100	—	—	186 100	—	—	—	—	—	—	801 100
	今後の復 舊所要額 (千圓)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑦	都市	2,870	10,434	—	—	—	—	—	—	—	57,000	19,600	17,950	107,854
	被害額 (千圓)	2,870	10,434	—	—	—	—	—	—	—	57,000	19,600	17,950	107,854
	復舊査定額 (千圓)	1,630	5,000	—	—	—	—	—	—	—	11,090	9,285	5,980	32,985
	復舊濟額 及復舊率 (千圓・%)	929 57	850 17	—	—	—	—	—	—	—	333 3	836 9	598 10	3,546 11
	今後の復 舊所要額 (千圓)	701	4,150	—	—	—	—	—	—	—	10,757	8,449	5,382	29,439
⑧	海岸	95,347	55,537	66,521	—	—	—	—	—	—	45,169	238,151	54,801	555,516
	被害額 (千圓)	95,347	55,537	66,521	—	—	—	—	—	—	45,169	238,151	54,801	555,516
	復舊査定額 (千圓)	25,654	49,170	38,604	—	—	—	—	—	—	27,054	224,277	42,517	407,286
	復舊濟額 及復舊率 (千圓・%)	25,654 100	27,044 55	1,544 4	—	—	—	—	—	—	14,073 52	159,237 71	32,313 76	259,865 64
	今後の復 舊所要額 (千圓)	—	22,126	37,060	—	—	—	—	—	—	12,991	65,041	10,204	147,421
⑨	農耕地	161,317	103,253	510,287	—	—	—	—	—	—	131,287	239,636	81,217	1,226,997
	被害額 (千圓)	161,317	103,253	510,287	—	—	—	—	—	—	131,287	239,636	81,217	1,226,997
	復舊査定額 (千圓)	76,498	45,340	218,725	—	—	—	—	—	—	75,950	101,377	43,533	561,423
	復舊濟額 及復舊率 (千圓・%)	31,266 41	20,274 45	113,495 52	—	—	—	—	—	—	38,934 51	60,914 60	26,512 61	291,395 52
	今後の復 舊所要額 (千圓)	45,232	25,066	105,230	—	—	—	—	—	—	37,016	40,463	17,021	270,028

(その3)

區	市郡別 分	徳島市	鳴門市	板野郡	阿波郡	麻植郡	美馬郡	三好郡	名東郡	名西郡	勝浦郡	那賀郡	海部郡	合計
		⑩	漁											
	被害額 (千圓)	5,920	7,118	3,070	—	—	—	—	—	—	322	12,077	40,263	68,770
	復舊査定額 (千圓)	5,650	5,774	2,100	—	—	—	—	—	—	263	11,988	33,371	59,146
	復舊濟額 及復舊率 (千圓・%)	1,186 21	3,580 62	2,100 100	—	—	—	—	—	—	263 100	4,915 41	10,345 31	22,389 38
	今後の復 舊所要額 (千圓)	4,464	2,174	—	—	—	—	—	—	—	—	7,073	23,026	36,757
⑪	港													
	被害額 (千圓)	98,181	2,338	180, 709	—	—	—	—	—	—	121, 168	101, 094	512, 760	1, 016,250
	復舊査定額 (千圓)	98,166	1,998	62,849	—	—	—	—	—	—	113, 545	100, 972	480, 108	857,637
	復舊濟額 及復舊率 (千圓・%)	90,313 92	—	62,849 100	—	—	—	—	—	—	91,971 81	98,953 98	235, 253 49	579,339 68
	今後の復 舊所要額 (千圓)	7,853	1,998	—	—	—	—	—	—	—	21,574	2,019	244, 855	278,299
④	合													
⑪	計													
	被害額 (千圓)	522, 717	265, 541	1,079, 663	—	5, 005	1,873	6,120	157	—	413, 806	876, 855	1,170, 862	4, 343,619
	復舊査定額 (千圓)	279, 312	179, 725	562, 112	—	—	1,873	6,049	157	—	285, 502	570, 454	782, 217	2, 667,401
	復舊濟額 及復舊率 (千圓・%)	205, 354 74	65,559 36	2,8, 616 48	—	—	1,873 100	6,049 100	157 100	—	194, 122 68	426, 285 75	395, 305 51	1, 563,320 59
	今後の復 舊所要額 (千圓)	94,552	93, 572	293, 496	—	—	—	—	—	—	91,380	144, 169	386, 912	1, 104,081
	摘 要													

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の金額は各年度の被害及復舊査定額に物價指數を乗じ昭和25年度の金額に更正して集計したものである。

—91—

2 香川縣 香川縣家屋被害

區	市 郡 別 分	高松市	丸龜市	坂出市	大川郡	木田郡	香川郡	綾歌郡	仲多度郡	三豊郡	小豆郡	合 計	
		地震	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流失(戸)	地盤沈下	21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		23年度	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	
		24年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		計	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	
破壊(戸)	地盤沈下	地震	—	5	8	440	—	—	16	25	660	122	1,276
		21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	12
		22年度	—	2	3	—	—	—	1	2	—	—	8
		23年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		24年度	—	—	2	3	2	—	3	—	2	—	12
		25年度	—	3	1	—	—	—	2	5	5	—	16
計	—	5	6	3	2	—	6	7	7	12	48		
床上浸水(戸)	地盤沈下	地震	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		22年度	—	10	20	—	—	—	12	15	160	—	217
		23年度	—	13	7	3	3	—	15	10	93	5	149
		24年度	—	7	12	9	6	—	4	5	55	26	124
		25年度	—	13	5	—	—	—	8	21	45	37	129
計	—	43	44	12	9	—	39	51	353	68	619		
床下浸水(戸)	地盤沈下	地震	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		21年度	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	4
		22年度	1	150	210	—	—	15	167	230	—	30	803
		23年度	4	80	120	170	82	40	87	105	1,345	80	2,113
		24年度	70	20	30	380	208	50	85	120	3,231	115	4,300
		25年度	150	52	70	—	—	200	150	190	1,500	325	2,637
計	225	302	430	550	290	309	489	645	6,076	550	9,866		

香川県農作物被害

區	市 郡 別 分	高松市	丸龜市	坂出市	大川郡	木田郡	香川郡	綾歌郡	仲多度郡	三豊郡	小豆郡	合計	
		被 害 面 積 (町)	地震	—	—	—	—	—	—	—	—	7	16
	地 盤 沈 下	21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	
		22年度	—	8	8	—	—	—	23	30	40	7	116
		23年度	—	6	7	87	24	23	12	18	413	10	600
		24年度	—	—	—	270	89	85	—	6	704	18	1,172
		25年度	—	7	6	—	—	5	7	7	45	25	102
		計	—	21	21	357	113	113	42	61	1,202	64	1,994
主 穀 (石)	地 盤 沈 下	地震	—	—	—	—	—	—	—	—	37	24	61
		21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	10
		22年度	—	6	6	—	—	32	36	50	200	16	346
		23年度	—	2	4	2,320	640	18	14	26	635	25	3,684
		24年度	—	—	—	7,200	2,320	65	—	2	448	45	10,080
		25年度	—	4	2	—	—	5	4	4	135	62	216
計	—	12	12	9,520	2,960	120	54	82	1,418	158	14,336		
雜 穀 (石)	地 盤 沈 下	地震	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	8
		21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2
		22年度	—	2	2	—	—	—	15	10	80	3	112
		23年度	—	0.2	0.5	220	65	60	3	5	185	5	542.7
		24年度	—	—	—	750	212	200	—	0.2	212	9	1,383.2
		25年度	—	0.5	—	—	—	10	0.5	0.5	10	12	33.5
計	—	2.7	2.5	970	277	270	18.5	15.7	486	31	2,073.4		
野 菜 (貫)	地 盤 沈 下	地震	—	—	—	—	—	—	—	—	200	1,600	1,800
		21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	400	400
		22年度	—	2,500	2,500	—	—	—	7,000	9,000	4,000	750	25,750
		23年度	—	1,800	2,100	87,000	24,000	1,900	3,600	5,400	3,300	1,100	130,200
		24年度	—	—	—	270,000	89,000	3,000	—	1,800	2,220	1,600	367,620
		25年度	—	2,000	1,800	—	—	2,000	2,100	2,100	300	2,200	12,500
計	—	6,300	6,400	357,000	113,000	6,900	12,700	18,300	9,820	6,050	536,470		

香川県塩田被害

区	市 郡 別 分	高松市	丸龜市	坂出市	大川郡	木田郡	香川郡	綾歌郡	仲多度郡	三豊郡	小豆郡	合 計	
		被害概況	ヶ所數 延長 (m)	—	2 880	14 8,443	—	1 170	—	2 878	—	—	—
被 害 額 (千圓)	地震によるもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		昭和23年度	—	1,767	12,691	—	5,873	—	10,612	—	33,600	—	64,543
		昭和24年度	—	350	—	—	—	—	—	—	10,000	—	10,350
		昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	—	2,117	12,691	—	5,873	—	10,612	—	43,600	—	74,893		
合計	—	2,117	12,691	—	5,873	—	10,612	—	43,600	—	74,893		
復 査 定 額 (千圓)	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和23年度	—	1,358	15,299	—	1,593	—	8,137	—	11,831	—	38,218	
	昭和24年度	—	240	—	—	—	—	—	—	—	—	240	
	昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	—	1,598	15,299	—	1,593	—	8,137	—	11,831	—	38,458		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	—	—	1,376 9	—	1,400 88	—	—	—	—	8,537 72	—	11,313 30	
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	—	1,598	13,923	—	193	—	8,137	—	3,294	—	—	27,145	
摘 要													

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數 21~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)(國土綜合開發事務處の發表になる建設綜合價格指數表—昭和24年=100—による)

香川県河川被害

區	市郡別分	高松市	丸龜市	坂出市	大川郡	木田郡	香川郡	綾歌郡	仲多度郡	三豊郡	小豆郡	合計	
		被害概況	ヶ所数 延長(m)	9 1,025	— —	2 349	11 1,351	4 545	2 140	9 890	— —	10 1,985	3 200
被害額 (千圓)	地震によるもの	—	—	—	1,573	—	—	—	—	1,788	—	3,361	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,145	2,145
		昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,861	3,861
		昭和23年度	151,900	—	2,755	8,320	18,333	72,100	106,120	—	3,140	1,085	363,753
		昭和24年度	—	—	—	11,914	—	—	—	—	24,400	150	36,464
		昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	300	350	650
	小計	151,900	—	2,755	20,234	18,333	72,100	106,120	—	27,840	7,591	406,873	
合計	151,900	—	2,755	21,807	18,333	72,100	106,120	—	29,628	7,591	410,234		
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度	—	—	—	615	—	—	—	—	658	—	1,273	
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和23年度	9,125	—	847	2,541	2,617	2,310	4,133	—	1,490	1,553	24,616	
	昭和24年度	—	—	—	9,963	—	—	—	—	3,711	—	13,674	
	昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	9,125	—	847	13,119	2,617	2,310	4,133	—	5,859	1,553	39,563		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	2,701 30	—	847 100	3,860 34	1,386 53	924 40	1,646 40	—	3,667 63	419 27	—	15,450 39	
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	6,424	—	—	9,259	1,231	1,386	2,487	—	2,192	1,134	—	24,113	
摘要													

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數 21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表になる建設綜合價格指數表~昭和24年~100~による)

香川県道路被害

市 郡 別 分	高松市	丸龜市	坂出市	大川郡	木田郡	香川郡	綾歌郡	仲多度郡	三豊郡	小豆郡	合 計	
												區
被害概況	ヶ所数						2	3	4	10	19	
	延長(m)						162	500	1,075	1,150	2,887	
被害額 (千圓)	地震によるもの						572		11,083	17,160	28,815	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度									5,291	5,291
		昭和22年度									1,050	1,050
		昭和23年度								612	1,050	1,662
		昭和24年度						540	1,354	14,500	120	16,514
		昭和25年度									800	800
	小計						540	1,354	15,112	8,311	25,317	
合計							1,112	1,354	26,195	25,471	54,132	
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度								2,345		2,345	
	昭和22年度											
	昭和23年度						44		7,781	8,008	15,833	
	昭和24年度						419	1,099	1,621	465	3,604	
	昭和25年度											
合計						463	1,099	11,747	8,473	21,782		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)							463 100	483 44	7,351 63	550 7	8,847 41	
25年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)								616	4,396	7,923	12,935	
摘 要												

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數 21年~5.981 22年~28.195 23年69.610 24年~100.000 25年~10.000)
(國土綜合開發事務處の發表になる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

香川県都市被害

(主として上下水道の被害なり
地震後昭和24年度迄は被害調査を行つて居らず全て昭和25年度に含まれて
居る、下水道の査定はまだ完了して居らず査定額欄は上水道のみである。)

区	市 郡 別 分	高松市	丸龜市	坂出市	大川郡	木田郡	香川郡	綾歌郡	仲多度郡	三豊郡	小豆郡	合 計
		被害概況	ヶ所數 延長 (m)									
被 害 額 (千圓)	地震によるもの											
	昭和21年度											
	昭和22年度											
	昭和23年度											
	昭和24年度											
	昭和25年度	31,200	18,167	30,465	31,960	2,980	21,936	17,580	28,550	28,154		210,992
小 計	31,200	18,167	30,465	31,960	2,980	21,936	17,580	28,550	28,154		210,992	
合 計	31,200	18,167	30,465	31,960	2,980	21,936	17,580	28,550	28,154		210,992	
復 舊 査 定 額 (千圓)	昭和21年度											
	昭和22年度											
	昭和23年度											
	昭和24年度											
	昭和25年度	4,000	2,907	4,188	12,396	2,547	13,006	9,475	10,350	13,360		72,229
合 計	4,000	2,907	4,188	12,396	2,547	13,006	9,475	10,350	13,360		72,229	
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	2,600 65	1,107 38	4,188 100	6,126 50	1,147 45	10,006 77	5,875 62	8,550 83	9,300 70			48,899 68
25年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	1,400	1,800		6,270	1,400	3,000	3,600	1,800	4,060			23,330
摘 要												

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數 21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

香川県海岸被害

区 別	香川県海岸被害												
	高松市	丸亀市	坂出市	大川郡	木田郡	香川郡	綾歌郡	仲多度郡	三豊郡	小豆郡	合 計		
被害概況	個所数	16	11	26	75	27	12	18	34	89	22	330	
	延長(m)	1,500	1,977	10,812	7,556	2,902	1,150	7,473	2,663	23,928	2,630	62,591	
被害額 (千圓)	地震によるもの	—	—	—	—	—	—	—	—	4,209	22,165	26,374	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	2,288	2,288	
		昭和22年度	163,625	—	—	—	—	84,000	102,753	—	770	351,148	
		昭和23年度	64,407	11,757	35,812	126,916	39,535	32,480	27,973	35,630	65,898	1,540	441,948
		昭和24年度	46,005	—	—	30,392	25,416	25,200	21,800	—	213,995	315	363,123
		昭和25年度	6,010	—	—	—	—	7,300	13,700	—	340	600	27,950
	小計	280,047	11,757	35,812	157,308	64,951	148,980	166,226	35,630	280,233	5,513	1,186,457	
合計	280,047	11,757	35,812	157,308	64,951	148,980	166,226	35,630	284,442	27,678	1,212,831		
復査定額 (千圓)	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—	300	—	—	300	
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和23年度	15,048	9,044	27,545	93,508	17,070	6,980	17,457	27,388	42,368	2,085	260,493	
	昭和24年度	—	—	—	24,717	11,580	—	—	—	41,299	2,475	80,071	
	昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	15,048	9,044	27,545	120,225	28,650	6,980	17,457	27,388	83,967	4,560	340,864		
25年度末に於ける復査済額と進捗率 (千圓・%)	8,656 58	5,188 58	8,617 31	44,612 37	14,584 53	4,788 69	4,952 28	9,885 36	50,010 60	2,676 59	—	153,968 45	
26年度以降に於ける復査所要額 (千圓)	6,392	3,856	18,928	75,613	14,066	2,192	12,505	17,503	33,937	1,884	—	186,896	
摘 要													

(註) 本表中被害額及復査学額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
 0) (国土総合開発事務處の發表せる建設総合價格指數表—昭和24年=100—による)

香川県農耕地被害

市 郡 別 區 分		高 松 市	丸 龜 市	坂 出 市	大 川 郡	木 田 郡	香 川 郡	綾 歌 郡	仲 多 度 郡	三 豊 郡	小 豆 郡	合 計	
被害概況	個所数	1	2	4	10	2	4	2	7	24	1	57	
	延長 (m)	858	974	2,342	6,465	378	2,183	1,100	4,594	15,023	342	34,259	
被 害 額 (千圓)	地震によるもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	12,627	5,262	31,989	113,413	134,420	26,298	5,262	72,358	194,852	—	596,481
		昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		昭和23年度	3,984	5,907	9,304	23,129	2,510	11,521	6,646	13,884	67,934	2,363	147,182
		昭和24年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	16,611	11,169	41,293	136,542	136,930	37,819	11,908	86,242	262,786	2,363	743,663	
合計	16,611	11,169	41,293	136,542	136,930	37,819	11,908	86,242	262,786	2,363	743,663		
復 舊 査 定 額 (千圓)	昭和21年度	7,636	3,061	27,914	85,585	100,100	15,859	3,189	30,016	86,096	—	359,456	
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和23年度	3,021	4,438	6,856	17,903	1,796	8,747	4,859	10,329	51,080	1,760	110,792	
	昭和24年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	10,657	7,499	34,773	103,488	101,896	24,605	8,048	40,345	137,176	1,760	470,248		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)		9,022 85	3,061 41	28,544 82	88,879 86	100,100 99	16,755 68	3,539 44	31,479 78	93,949 68	910 52	376,238 80	
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)		1,635	4,438	6,229	14,609	1,796	7,851	4,509	8,866	43,227	850	94,010	
摘 要													

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乘じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 4年~100.000 25年~100.000)
 0) (國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表—昭和24年=100—による)

香川県漁港被害

區	市郡別 分	高松市	丸龜市	坂出市	大川郡	木田郡	香川郡	綾歌郡	仲多度郡	三豊郡	小豆郡	合計
		被害概況	個所数 延長 (m)	2 550	— —	— —	7 710	4 273	8 1,410	3 170	15 237	18 980
被害額 (千圓)	地震によるもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	昭 和 21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	昭 和 22年度	280	—	—	—	—	—	—	—	—	2,800	3,080
	昭 和 23年度	—	—	—	—	1,204	196	—	1,512	13,272	2,982	19,166
	昭 和 24年度	—	—	—	—	—	110	—	4,420	12,000	—	16,530
	昭 和 25年度	1,000	—	—	4,930	11,000	7,000	3,000	500	17,700	26,100	71,230
	小 計	1,280	—	—	4,930	12,204	7,306	3,000	6,432	42,972	31,882	110,006
	合 計	1,280	—	—	4,930	12,204	7,306	3,000	6,432	42,972	31,882	110,006
復 舊 査 定 額 (千圓)	昭 和 21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	昭 和 22年度	280	—	—	—	—	—	—	—	—	2,800	3,080
	昭 和 23年度	—	—	—	—	1,204	196	—	1,512	13,272	2,982	19,166
	昭 和 24年度	—	—	—	—	—	110	—	4,420	12,000	—	16,530
	昭 和 25年度	1,000	—	—	930	—	260	—	—	—	—	2,190
		合 計	1,280	—	—	930	1,204	566	—	5,932	25,272	5,782
	25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	1,280 100	— —	— —	930 100	1,204 100	566 100	— —	5,932 100	25,272 100	5,782 100	40,966 100
	26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	摘 要											

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
 0) (國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表—昭和24年=100—による)

香川県港湾被害

区 分	市 郡 別										合 計		
	高 松 市	丸 龜 市	坂 出 市	大 川 郡	木 田 郡	香 川 郡	綾 歌 郡	仲 多 度 郡	三 豊 郡	小 豆 郡			
被害概況	個所数	20	1	6	14	6	12	6	16	44	53	178	
	延長(m)	2,432	241	783	1,606	997	1,150	270	2,079	5,641	4,887	20,086	
被 害 額 (千圓)	地震によるもの	—	—	552,233	17,560	—	—	—	—	—	—	569,793	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		昭和22年度	163,625	—	—	—	—	—	—	—	—	—	163,625
		昭和23年度	64,407	1,064	—	14,220	—	40,880	32,200	16,898	85,838	1,704	257,211
		昭和24年度	46,005	—	332	85,449	—	23,200	14,400	—	16,434	19,640	205,460
		昭和25年度	242,241	—	—	124,242	12,693	27,300	16,100	—	124,729	24,510	571,815
	小計	516,278	1,064	332	223,911	12,693	91,380	62,700	16,898	227,001	45,854	1,198,111	
合計	516,278	1,064	552,565	241,471	12,693	91,380	62,700	16,898	227,001	45,854	1,767,904		
復 舊 査 定 額 (千圓)	昭和21年度	—	—	552,233	—	—	—	—	—	—	—	552,233	
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和23年度	15,049	922	—	4,745	—	6,980	5,677	13,005	63,045	—	109,421	
	昭和24年度	—	—	332	28,483	—	—	—	—	12,729	—	41,544	
	昭和25年度	325	—	266	41,414	4,231	—	—	5,128	44,923	48,930	145,128	
合計	15,285	922	552,831	74,640	4,231	6,980	5,677	18,133	120,697	48,930	848,326		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率(千圓・%)	8,670 57	922 100	226 —	40,000 54	3,385 80	4,788 69	4,497 79	5,804 32	43,870 36	44,007 90	—	156,209 19	
26年度以降に於ける復舊所要額(千圓)	6,615	—	552,565	34,640	846	2,192	1,180	12,329	76,827	4,923	—	692,117	
摘 要													

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~38.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)(國土綜合開發事務所の發表せる建設綜合價格指數表—昭和24年=100—による)

香川県市郡別被害集計表(地震によるものと地盤沈下によるもの合計) (その1)

区	市郡別分	高松市	丸龜市	坂出市	大川郡	木田郡	香川郡	綾歌郡	仲多度郡	三豊郡	小豆郡	計
① 家屋(戸)	流失	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2
	破壊	—	10	14	443	2	—	22	32	667	134	1,324
	床上浸水	—	43	44	12	9	—	39	51	353	68	619
	床下浸水	225	302	430	550	290	309	489	645	6,076	550	9,866
② 農作物	被害面積(町)	—	21	21	357	113	113	42	61	1,209	80	2,017
	主穀減收(石)	—	12	12	9,520	2,960	120	54	82	1,455	182	14,397
③ 鹽田	被害額(千圓)	—	2,117	12,691	—	5,873	—	10,612	—	43,600	—	74,893
	復舊査定額(千圓)	—	1,598	15,299	—	1,593	—	8,137	—	11,831	—	38,458
	復舊済額及復舊率(千圓・%)	—	—	1,376 9	—	1,400 88	—	—	—	8,537 72	—	11,313 30
	今後の復舊所要額(千圓)	—	1,598	13,923	—	193	—	8,137	—	3,294	—	27,145
④ 河川	被害額(千圓)	151,900	—	2,755	21,807	18,333	72,100	106,120	—	29,628	7,591	410,234
	復舊査定額(千圓)	9,125	—	847	13,119	2,617	2,310	4,133	—	5,859	1,553	39,563
	復舊済額及復舊率(千圓・%)	2,701 30	—	847 100	3,860 34	1,386 53	924 40	1,646 40	—	3,667 63	419 27	15,450 39
	今後の復舊所要額(千圓)	6,424	—	—	9,259	1,231	1,386	2,487	—	2,192	1,134	24,113
⑤ 道路	被害額(千圓)	—	—	—	—	—	—	1,112	1,354	26,195	25,471	54,132
	復舊査定額(千圓)	—	—	—	—	—	—	463	1,099	11,747	8,473	21,782
	復舊済額及復舊率(千圓・%)	—	—	—	—	—	—	463 100	483 44	7,351 63	550 7	8,847 41
	今後の復舊所要額(千圓)	—	—	—	—	—	—	—	616	4,396	7,923	12,935

(その2)

區	市 郡 別 分	高松市	丸 龜 市	坂 出 市	大 川 郡	木 田 郡	香 川 郡	綾 歌 郡	仲 多 度 郡	三 豊 郡	小 豆 郡	計
⑥ 砂 防	被 害 額 (千圓)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	復 舊 査 定 額 (千圓)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	復 舊 濟 額 及 復 舊 率 (千圓・%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	今 後 の 復 舊 所 要 額 (千圓)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑦ 都 市	被 害 額 (千圓)	31,200	18,167	30,465	31,960	2,980	21,936	17,580	28,550	28,154	—	210,992
	復 舊 査 定 額 (千圓)	4,000	2,907	4,188	12,396	2,547	13,006	9,475	10,350	13,360	—	72,229
	復 舊 濟 額 及 復 舊 率 (千圓・%)	2,600 65	1,107 38	4,188 100	6,126 50	1,147 45	10,006 77	5,875 62	8,550 83	9,300 70	—	48,899 68
	今 後 の 復 舊 所 要 額 (千圓)	1,400	1,800	—	6,270	1,400	3,000	3,600	1,800	4,060	—	23,330
⑧ 海 岸	被 害 額 (千圓)	280,047	11,757	35,812	157,308	64,951	148,980	166,226	35,630	284,442	27,678	1,212,831
	復 舊 査 定 額 (千圓)	15,048	9,044	27,545	120,225	28,650	6,980	17,457	27,388	83,967	4,560	340,864
	復 舊 濟 額 及 復 舊 率 (千圓・%)	8,656 53	5,188 58	8,617 31	44,612 37	14,584 53	4,788 69	4,952 28	9,885 36	50,010 60	2,676 59	153,968 45
	今 後 の 復 舊 所 要 額 (千圓)	6,392	3,856	18,928	75,613	14,056	2,192	12,505	17,503	33,957	1,884	186,896
⑨ 農 排 地	被 害 額 (千圓)	16,611	11,169	41,293	136,542	136,930	37,819	11,908	86,242	262,786	2,363	743,663
	復 舊 査 定 額 (千圓)	10,657	7,499	34,773	103,488	101,896	24,606	8,048	40,345	137,176	1,760	470,248
	復 舊 濟 額 及 復 舊 率 (千圓・%)	9,022 85	3,061 41	28,544 82	88,879 86	100,100 99	16,755 68	3,539 44	31,479 78	93,949 68	910 52	376,238 80
	今 後 の 復 舊 所 要 額 (千圓)	1,635	4,438	6,229	14,609	1,796	7,851	4,503	8,866	43,227	850	94,010

(その3)

市 郡 別 分	高 松 市	丸 龜 市	坂 出 市	大 川 郡	木 田 郡	香 川 郡	綾 歌 郡	仲 多 度 郡	三 豊 郡	小 豆 郡	計	
												市
⑩ 漁 港	被害額 (千圓)	1,280	—	—	4,930	12,204	7,306	3,000	6,432	42,972	31,882	110,006
	復舊査定額 (千圓)	1,280	—	—	930	1,204	566	—	5,932	25,272	5,782	40,966
	復舊済額及 復舊率 (千圓・%)	1,280 100	—	—	930 100	1,204 100	566 100	—	5,932 100	25,272 100	5,782 100	40,966 100
	今後の復舊 所要額 (千圓)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑪ 港 灣	被害額 (千圓)	516,278	1,054	552,565	241,471	12,693	91,380	62,700	16,898	227,001	45,854	1,767,904
	復舊査定額 (千圓)	15,285	922	552,831	74,640	4,231	6,980	5,677	18,133	120,697	48,930	848,326
	復舊済額及 復舊率 (千圓・%)	8,670 57	922 100	266 —	40,000 54	3,385 80	4,788 69	4,497 79	5,804 32	43,870 36	44,007 90	156,209 19
	今後の復舊 所要額 (千圓)	6,615	—	552,565	34,640	846	2,192	1,180	12,329	76,827	4,923	692,117
④ ⑪ 合 計	被害額 (千圓)	997,316	42,157	662,890	594,018	248,091	379,521	368,646	175,106	901,178	140,839	4,509,762
	復舊査定額 (千圓)	55,393	20,372	620,184	324,798	141,145	54,448	45,253	103,247	398,078	71,058	1,833,978
	復舊済額及 復舊率 (千圓・%)	32,929 59	10,278 50	42,462 7	184,407 57	121,806 86	37,827 70	20,972 46	62,133 60	233,419 59	54,344 77	800,577 44
	今後の復舊 所要額 (千圓)	22,466	10,094	577,722	140,391	19,339	16,621	24,281	41,114	164,659	16,714	1,033,401
摘 要												

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の金額は各年度の被害額及復舊査定額に物價指數を乗じ昭和25年度の金額に更正して集計したものである。

3 愛媛縣
愛媛縣家屋被害

區	市郡別 分	新居濱市	西條市	今治市	松山市	八幡濱市	宇和島市	計	
流失 (戸)	地震	—	—	—	—	—	—	—	
	地盤沈下	21年度	—	—	—	—	—	—	—
		22年度	—	—	—	—	—	—	—
		23年度	—	—	—	—	—	—	—
		24年度	—	—	—	—	—	—	—
		25年度	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—		
破壊 (戸)	地震	—	248	—	171	4	8	431	
	地盤沈下	21年度	—	—	—	—	—	—	—
		22年度	—	—	—	—	—	—	—
		23年度	—	—	—	2	—	—	2
		24年度	—	—	—	—	—	—	—
		25年度	—	—	—	—	—	—	—
計	—	248	—	173	4	8	433		
床上浸水 (戸)	地震	—	—	—	—	—	—	—	
	地盤沈下	21年度	—	—	—	—	—	—	—
		22年度	—	—	—	—	—	—	—
		23年度	—	—	—	10	50	10	70
		24年度	—	—	—	—	—	—	—
		25年度	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	10	50	10	70		
床下浸水 (戸)	地震	—	—	—	—	—	—	—	
	地盤沈下	21年度	—	—	—	—	—	—	—
		22年度	—	—	—	—	—	—	—
		23年度	50	36	128	693	452	501	1,860
		24年度	—	—	—	—	—	—	—
		25年度	—	—	—	—	—	—	—
計	50	36	128	693	452	501	1,860		

愛媛県家屋(その二)

被害	別		宇摩郡	新居郡	周桑郡	越智郡	温泉郡	伊豫郡	喜多郡	西宇和郡	東宇和郡	北宇和郡	南宇和郡	計	
	郡	市													
流失 (戸)	地震												1	1	
	地盤沈下	昭和21年度		84											
		昭和22年度													
		昭和23年度													
		昭和24年度 昭和25年度													
計												1	1		
破壊 (戸)	地震		2	84	1,841	7	163	321		14	242	85	52	2,912	
	地盤沈下	昭和21年度							11						21
		昭和22年度	10												
		昭和23年度		3				2		13	2	10		30	60
		昭和24年度 昭和25年度							1						1
計	12	87	18,411	7	165	333	13	16	252	186	82	2,994			
床上浸水 (戸)	地震														
	地盤沈下	昭和21年度													
		昭和22年度	22												22
		昭和23年度		15		300	4	100	9	76	5	15	5	529	
		昭和24年度 昭和25年度													
計	22	15		300	4	100	9	76	5	15	5	551			
床下浸水 (戸)	地震														
	地盤沈下	昭和21年度							271						543
		昭和22年度	272												
		昭和23年度		170	313	2,336	357	501	145	1,000	260	871	119	5,872	
		昭和24年度 昭和25年度						3							3
計	272	170	313	2,336	357	575	145	1,000	260	871	119	6,418			

東 宇 和 郡	北 宇 和 郡	南 宇 和 郡	松 山 市	今 治 市	宇 和 島 市	八 幡 濱 市	新 居 濱 市	西 條 市	計
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	34	18	81	23	7	—	28	109	995
5	43	23	101	28	9	—	35	137	1,249
6	55	29	129	36	12	1	55	175	1,603
7	61	33	145	41	13	1	61	196	1,902
7	63	34	150	42	14	1	63	204	2,004
29	256	137	606	170	55	3	242	821	7,753
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	126	21	186	115	—	—	149	426	5,111
9	149	53	572	135	15	—	191	714	6,582
38	318	114	894	248	62	8	393	1,161	9,985
30	377	124	839	232	53	7	349	1,003	10,237
45	428	205	1,728	379	97	8	541	2,122	18,916
122	1,398	517	4,219	1,109	27	23	1,623	5,426	50,861
—	—	—	—	—	7	—	—	—	7
—	—	—	9	10	—	—	—	—	245
—	—	—	8	11	—	—	—	—	267
—	—	—	6	13	—	—	5	—	313
—	3	—	2	15	—	—	2	1	399
1	4	1	2	9	—	—	2	3	482
1	7	1	27	58	—	—	9	4	1,706
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	2,400	—	—	—	2,400	—	21,600
—	—	—	2,700	—	—	—	2,700	2,700	29,700
—	—	—	5,100	—	—	—	5,100	2,700	51,300

愛媛県 塩田被害

區 別	市 郡 別	新居濱市	西條市	今治市	松山市	八幡濱市	宇和島市	宇摩郡	新居郡	周桑郡	越智郡
	所 別										
被害概況	ケ								4		13
	延長(m)								1,135		8,267
被害額 (千圓)	地震によるもの										
	地盤沈下によるもの	昭和21年度									
		昭和22年度							12,499		42,980
		昭和23年度									
		昭和24年度									
		昭和25年度									
小計								12,499		42,980	
合計								12,499		42,980	
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度										
	昭和22年度							9,750		22,710	
	昭和23年度										
	昭和24年度										
	昭和25年度										
合計								9,750		22,710	
25年度末に於ける復舊済額と進歩率 (千圓・%)								1,750		5,660	
								18		25	
25年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)								8,000		17,050	
摘 要											

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

愛媛県河川被害

市 郡 別		新居濱市	西條市	今治市	松山市	八幡濱市	宇和島市	宇摩郡	新居郡	周桑郡	
被害概況	ヶ 所	5	14	9	5	2	—	14	10	12	
	延長 (m)	2,665	4,475	2,229	1,018	145	—	1,685	4,417	6,194	
被害額 (千圓)	地震によるもの	—	472	—	1,030	—	—	—	429	—	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		昭和22年度	9,983	19,231	10,107	—	—	—	18,972	12,909	26,109
		昭和23年度	4,661	3,653	591	6,147	1,246	—	177	628	23,410
		昭和24年度	948	2,908	3,167	2,797	—	—	1,586	2,390	—
		昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	15,592	25,792	13,865	8,944	1,246	—	20,735	15,927	49,519	
合計	15,592	26,264	13,865	9,974	1,246	—	20,735	16,356	49,519		
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度	—	504	—	965	—	—	—	417	—	
	昭和22年度	5,885	15,700	23,175	—	—	—	14,132	18,471	26,570	
	昭和23年度	4,131	2,529	532	5,759	1,247	—	80	560	14,449	
	昭和24年度	722	2,908	—	2,797	—	—	1,483	2,390	—	
	昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	10,738	21,641	23,207	9,521	1,247	—	15,695	21,838	41,019		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)		10,738 100	16,508 76	21,550 91	805 9	904 73	—	13,269 84	7,665 35	27,401 67	
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)		—	5,133	2,157	8,716	343	—	2,426	14,173	13,618	
摘 要		—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和26年度の金額に更正したものである (物價指數21年~5.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000) (國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

愛媛県 道路被害(橋梁を含む)

市 郡 別		新居濱市	西條市	今治市	松山市	八幡濱市	宇和島市	宇摩郡	新居郡	周桑郡	
被害概況	ケ 所		5	3	6	19	43	7	6	2	
	延長(m)		1,878	754	539	2,084	2,951	1,480	741	34	
被害額 (千圓)	地震によるもの		586	787	1,973	—	18,433	901	272	—	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度									
		昭和22年度				4,043	137		11,683		249
		昭和23年度		608	2,604	435	3,592	5,132	2,937	3,074	—
		昭和24年度		4,675			2,645	502	105		338
		昭和25年度									
小計		5,283	2,604	4,478	6,194	5,634	14,725	3,074	587		
合計			5,869	3,391	6,451	6,194	24,067	15,625	3,346	587	
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度		586	658	1,759	9,424	13,814	858	272	—	
	昭和22年度				2,388	140		2,940		2,468	
	昭和23年度		352	2,199	434	3,361	11,214	1,704	2,997	—	
	昭和24年度		4,675			1,664	369	105		338	
	昭和25年度										
合計			5,626	2,857	5,581	14,589	25,397	5,607	3,269	2,806	
25年度末に於ける復舊済額と進捗率(千圓・%)			1,951 35	709 25	1,851 33	6,815 47	20,485 81	3,791 68	1,202 37	2,806 100	
23年度以降に於ける復舊所要額(千圓)			3,675	2,148	3,730	7,774	4,912	1,816	2,067	0	
摘 要											

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~59.610 24年~100.000 25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

愛媛県 砂防被害

区	市 郡 別	新居濱市	西條市	今治市	松山市	八幡濱市	宇和島市	宇摩郡	新居郡	周桑郡	
	別										
被害概況	ヶ 所										
	延長(m)										
被害額 (千圓)	地震によるもの										
	地盤沈下によるもの	昭和21年度									
		昭和22年度									
		昭和23年度									
		昭和24年度									
		昭和25年度									
小計											
合計											
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度										
	昭和22年度										
	昭和23年度										
	昭和24年度										
	昭和25年度										
合計											
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)											
25年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)											
摘 要											

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

愛媛県都市被害(地震被害及昭和21年~23年迄の被害は不明、すべて昭和24年に含まれる25年度は未調査である)

区	市 郡 別 分	新居濱市	西條市	今治市	松山市	八幡濱市	宇和島市	宇摩郡	新居郡	周桑郡	
		被害概況	ケ 所 数	2	3	2	3	2	9	12	7
被 害 額 (千圓)	地震によるもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		昭和23年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		昭和24年度	9,389	13,505	12,817	23,691	15,465	75,702	4,840	11,400	—
		昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小 計	9,389	13,505	12,817	23,691	15,465	75,702	4,840	11,400	—		
合 計	9,389	13,505	12,817	23,691	15,465	75,702	4,840	11,400	—		
復 舊 査 定 額 (千圓)	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和23年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和24年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和25年度	19,512	8,463	50,196	11,346	7,960	30,093	34,188	31,070	—	
合 計	19,512	8,463	50,196	11,346	7,960	30,093	34,188	31,070	—		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	0 0	1,790 21	0 0	1,782 16	3,172 40	1,832 61	5,802 17	5,298 17	—	—	
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	19,512	6,673	50,196	9,564	4,788	28,261	28,386	25,772	—		
摘 要	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數~昭和24年=100~による)

越智郡	温泉郡	伊豫郡	上浮穴郡	喜多郡	西宇和郡	東宇和郡	北宇和郡	南宇和郡	合計
36	15	8	—	2	50	11	32	5	199
31,335	12,525	37,630	—	8,400	32,350	3,850	7,040	1,050	300,989
31,335	12,525	37,630	—	8,400	32,350	3,850	7,040	1,050	300,989
31,335	12,525	37,630	—	8,400	32,350	3,850	7,040	1,050	300,989
85,399	45,884	36,950	—	13,412	103,700	16,290	51,285	9,190	554,938
85,399	45,884	36,950	—	13,412	103,700	16,290	51,285	9,190	554,938
21,588 25	8,164 18	7,130 19	—	1,776 15	18,578 18	3,584 22	17,436 34	3,125 34	101,057 18
63,811	37,720	29,820	—	11,636	85,122	12,706	33,849	6,065	453,881

愛媛県海岸被害

市 郡 別 区 分		新居濱市	西條市	今治市	松山市	八幡濱市	宇和島市	宇摩郡	新居郡	周桑郡	
被害概況	ヶ 所	6	11	17	16			95	11	34	
	延長(m)	3,475	3,288	2,032	3,293			14,781	5,567	24,859	
被害額 (千圓)	地震によるもの							30,745		2,031	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度									
		昭和22年度	143,419	9,058	23,832	14,924			168,949	32,267	149,762
		昭和23年度	7,662	14,789	22,182	28,451			52,392	7,419	126,015
		昭和24年度	7,427	1,706	1,425	1,089			7,065		381
		昭和25年度									
	小計	158,508	25,553	47,439	44,464			228,406	39,686	276,158	
合計	158,508	25,553	47,439	44,464			259,151	39,686	278,189		
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度							13,385		1,945	
	昭和22年度	34,454	9,058	18,757	8,827			147,899	30,295	134,481	
	昭和23年度	680	10,283	15,323	24,373			45,126	6,846	56,328	
	昭和24年度	4,959	1,706	296	1,089			7,061		276	
	昭和25年度										
	合計	40,093	21,047	34,376	34,289			213,471	37,141	193,030	
25年度末に於ける復舊済額と進捗率(千圓・%)		8,420 21	9,261 44	7,563 22	6,429 19			106,731 50	24,791 65	119,679 62	
25年度以降に於ける復舊所要額(千圓)		31,673	11,786	26,813	27,860			106,740	12,350	73,351	
摘 要											

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
(国土総合開発事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

愛媛県 農耕地被害

区別		新居濱市	西條市	今治市	松山市	八幡濱市	宇和島市	宇摩郡	新居郡	周桑郡
被害概況	ケ所延長(m)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	地震によるもの	—	257	—	—	—	—	—	858	16,874
被害額 (千圓)	昭21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	昭22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	昭23年度	—	1,078	—	6,678	—	7,840	28,420	3,409	72,772
	昭24年度	5,700	52,861	23,875	50,377	—	17,194	61,190	24,886	155,953
	昭25年度	—	58,000	38,690	30,400	—	9,800	21,650	11,700	59,050
	小計	5,700	111,939	62,565	87,455	—	34,834	111,260	39,995	287,775
合計		5,700	112,196	62,565	87,455	—	34,834	111,260	40,853	304,649
復舊査定額 (千圓)	昭21年度	—	257	—	—	—	—	—	229	16,474
	昭22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	昭23年度	—	714	—	4,432	—	5,244	19,027	2,287	38,569
	昭24年度	3,744	33,735	17,387	33,914	—	7,720	49,425	18,081	92,862
	昭25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		3,744	34,706	17,387	38,346	—	12,964	68,452	20,598	147,905
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)		3,521 94	4,512 13	3,477 20	13,038 34	—	10,190 80	35,580 52	4,522 22	60,638 41
25年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)		223	30,194	13,910	25,308	—	2,774	32,872	16,060	87,267
摘要		—	—	—	—	—	—	—	—	—

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

愛媛県 漁港被害

市 郡 別		新居濱市	西條市	今治市	松山市	八幡濱市	宇和島市	宇摩郡	新居郡	周桑郡	
被害概況	ケ 所			6	12		23	22	4		
	延長(m)			133	877		1,875	750	590		
被害額 (千圓)	地震によるもの			12,441	31,460		541,970	134,848	197,340		
	地盤沈下によるもの 小計	昭和21年度									
		昭和22年度									
		昭和23年度				24,615		7,000		770	
		昭和24年度			30,300	20,500		4,040	32,000	26,000	
		昭和25年度			481	40,702		28,400	36,860	7,000	
合計			30,781	85,817		39,440	68,860	33,770			
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度										
	昭和22年度										
	昭和23年度										
	昭和24年度			500	1,000		1,360		3,000		
	昭和25年度			788	4,060		3,750	9,780	515		
合計			1,288	5,060		5,110	9,780	3,515			
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)				250 19	600 12		1,023 20	0 0	1,933 45		
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)				1,038	4,460		4,087	9,780	1,582		
摘 要											

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100,000 25年~100,000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

愛媛県 港湾被害

市 郡 別 区 別		新居濱市	西條市	今治市	松山市	八幡濱市	宇和島市	宇摩郡	新居郡	周桑郡	
被害概況	ケ 所	3	2	6	11	10	4	8	6	1	
	延長(m)	307	359	1,692	1,277	1,409	391	2,066	1,263	206	
被害額 (千圓)	地震によるもの	—	400	30,316	2,645	—	2,216	—	—	—	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		昭和22年度	2,184	—	3,850	9,500	—	—	92,099	38,195	5,306
		昭和23年度	450	299	11,813	3,737	10,819	—	—	—	—
		昭和24年度	—	—	—	—	23,373	—	6,837	489	—
		昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	2,634	299	15,663	13,237	34,192	—	98,936	38,684	5,306	
合計	2,634	699	45,979	15,882	34,192	2,216	98,936	38,684	5,306		
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度	—	400	1,716	3,203	—	2,002	—	—	—	
	昭和22年度	2,184	—	431	7,924	—	—	42,903	28,577	4,683	
	昭和23年度	872	544	11,616	3,205	9,318	—	—	—	—	
	昭和24年度	—	—	—	—	23,024	—	5,026	250	—	
	昭和25年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	3,056	944	13,763	14,332	32,342	2,002	47,929	28,827	4,683		
25年度末に於ける復舊済額と進歩率 (千圓・%)	986 32	66 7	6,882 50	9,029 63	3,230 10	2,002 100	26,840 56	24,503 85	0 0	0 0	
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	2,770	878	6,881	5,303	23,112	—	21,089	4,324	4,683	—	
摘 要	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

愛媛県市郡別被害集計表(地震によるものと地盤沈下によるものの合計)

市 郡 別 區 分		新居 濱市	西 條市	今 治市	松 山市	大 幡 濱市	宇 和 島市	宇 摩 郡	新 居 郡	周 桑 郡
① 家 屋 (戸)	流 失	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	破 壊	—	248	—	173	4	8	12	87	1,841
	床上浸水	—	—	—	10	50	10	22	15	—
	床下浸水	50	36	128	693	452	501	272	170	313
② 農 作物	被害面積(町)	242	821	170	606	3	55	812	672	1,861
	主穀減収(石)	1,623	5,426	1,109	4,219	23	227	5,918	4,623	12,210
③ 塩 田	被害額(千圓)	—	—	—	—	—	—	—	12,499	—
	復舊査定額(千圓)	—	—	—	—	—	—	—	9,750	—
	復舊済額及復舊率 (千圓・%)	—	—	—	—	—	—	—	1,750	—
	今後の復舊所要額 (千圓)	—	—	—	—	—	—	—	18	8,000
④ 河 川	被害額(千圓)	15,592	26,264	13,865	9,974	1,246	—	20,735	16,356	49,519
	復舊査定額(千圓)	10,738	21,641	23,707	9,521	1,247	—	15,695	21,838	41,019
	復舊済額及復舊率 (千圓・%)	10,738	16,508	21,550	805	904	—	13,269	7,665	27,401
	今後の復舊所要額 (千圓)	100	76	91	9	73	—	84	35	67
		5,133	2,157	8,716	343	—	2,426	14,173	13,618	
⑤ 道 路	被害額(千圓)	—	5,869	3,391	6,451	6,194	24,067	15,626	3,346	587
	復舊査定額(千圓)	—	5,629	2,857	5,581	14,589	25,397	5,607	3,269	2,806
	復舊済額及復舊率 (千圓・%)	—	1,951	709	1,851	6,815	20,485	3,791	1,202	2,806
	今後の復舊所要額 (千圓)	—	35	25	33	47	81	68	37	100
		3,675	2,148	3,730	7,774	4,912	1,816	2,067	—	
⑥ 砂 防	被害額(千圓)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	復舊査定額(千圓)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	復舊済額及復舊率 (千圓・%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	今後の復舊所要額 (千圓)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑦ 都 市	被害額(千圓)	9,389	13,505	12,817	23,691	15,465	75,702	4,840	11,400	—
	復舊査定額(千圓)	19,512	8,463	50,196	11,346	7,960	30,093	34,188	31,070	—
	復舊済額及復舊率 (千圓・%)	—	1,790	—	1,782	3,172	1,832	5,802	5,298	—
	今後の復舊所要額 (千圓)	19,512	21	50,196	16	40	61	17	17	—
		6,675	—	9,564	4,788	28,261	28,386	25,772	—	

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の金額は各年度の被害及復舊査定額に物價指數を乗じ昭和25年度の金額を更正して集計したものである。

越智郡	温泉郡	伊豫郡	上浮穴郡	喜多郡	西宇和郡	東宇和郡	北宇和郡	南宇和郡	合計
								1	1
7	1,65	333		13	16	252	186	82	3,427
300	4	100		9	76	5	15	5	621
2,336	357	575		145	1,000	260	871	119	8,278
1,336	316	325			112	29	256	137	7,753
8,608	1,915	2,517			406	122	1,398	517	50,861
42,980									55,479
22,710									32,460
5,660									7,410
25									23
17,050									25,050
38,104	4,502	22,066		24,881	19,713	3,961	6,221	1,430	274,229
43,571	5,109	18,391		27,578	10,542	1,302	5,509	979	258,387
20,319	478	10,035		15,854	6,503	762	3,916	490	157,197
47	9	55		58	62	69	71	50	61
23,252	4,631	8,356		11,724	4,039	540	1,593	489	101,190
70,608	39,233	47,030	11,025	36,475	26,782	66,041	26,887	13,843	439,455
51,011	27,617	34,239	10,310	33,303	47,161	58,836	23,949	12,566	364,724
12,065	9,111	26,042	10,310	26,308	20,644	47,738	17,478	10,861	220,167
24	33	76	100	79	44	81	73	86	61
38,946	18,506	8,197		6,995	26,517	11,098	6,471	1,705	144,557
	17,016								17,016
	6,807								6,807
	6,807								6,807
	100								100
31,335	12,525	37,630		8,400	32,350	3,850	7,040	1,050	300,989
85,399	45,884	36,950		13,412	103,700	16,290	51,285	9,190	554,938
21,588	8,164	7,150		1,776	18,578	3,584	17,436	3,125	101,057
25	18	19		13	18	22	34	34	18
63,811	37,720	29,820		11,636	85,122	12,706	33,849	6,065	453,881

続愛媛県市郡別被害集計表(地震によるものと地盤沈下によるものの合計)

区 分	新居 濱市	西 條市	今 治市	松 山市	八 幡 濱市	宇 和 島市	宇 摩 郡	新 居 郡	周 桑 郡
⑧ 海 岸	被害額(千圓)	158,508	23,553	47,439	44,464	—	259,151	39,686	278,189
	復舊査定額(千圓)	40,093	21,047	34,376	34,289	—	213,471	37,141	193,030
	復舊済額及復舊率 (千圓・%)	8,420 21	9,261 44	7,563 22	6,429 19	—	106,731 50	24,791 65	119,679 62
	今後の復舊所要額 (千圓)	31,673	11,786	26,813	27,860	—	106,740	12,350	73,351
⑨ 農 耕 地	被害額(千圓)	5,700	112,196	62,565	87,455	—	34,834	111,260	304,649
	復舊査定額(千圓)	3,744	34,706	17,387	38,346	—	12,964	68,452	147,905
	復舊済額及復舊率 (千圓・%)	3,521 94	4,512 13	3,477 20	13,038 34	—	10,190 80	35,580 52	4,532 22
	今後の復舊所要額 (千圓)	223	30,194	13,910	25,308	—	2,774	32,872	16,066
⑩ 漁 港	被害額(千圓)	—	—	43,222	117,277	—	581,410	203,708	231,110
	復舊査定額(千圓)	—	—	1,288	5,060	—	5,110	9,780	3,515
	復舊済額及復舊率 (千圓・%)	—	—	250 19	600 12	—	1,023 20	—	1,933 45
	今後の復舊所要額 (千圓)	—	—	1,038	4,460	—	4,087	9,780	1,582
⑪ 港 灣	被害額(千圓)	2,634	699	45,979	15,882	34,192	2,216	98,936	38,684
	復舊査定額(千圓)	3,056	944	13,763	14,332	32,342	2,002	47,929	28,827
	復舊済額及復舊率 (千圓・%)	986 32	66 7	6,882 50	9,029 63	3,230 10	2,002 100	26,840 56	24,503 85
	今後の復舊所要額 (千圓)	2,070	878	6,881	5,303	29,112	—	21,089	4,324
○	被害額(千圓)	—	—	—	—	—	—	—	—
	復舊査定額(千圓)	—	—	—	—	—	—	—	—
	復舊済額及復舊率 (千圓・%)	—	—	—	—	—	—	—	—
	今後の復舊所要額 (千圓)	—	—	—	—	—	—	—	—
④ ⑪ 合 計	被害額(千圓)	191,823	184,086	229,278	305,194	57,097	718,229	714,256	381,435
	復舊査定額(千圓)	77,143	92,427	143,574	118,475	56,138	75,566	395,122	146,258
	復舊済額及復舊率 (千圓・%)	23,665 31	34,088 37	40,431 28	33,534 28	14,121 25	35,532 47	192,013 49	69,924 48
	今後の復舊所要額 (千圓)	53,478	58,339	103,143	84,941	42,017	40,034	203,109	76,334
摘 要	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の金額は各年度の被害及復舊査定額に物價指數を乗じて昭和25年度の金額を更正して集計したものである。

4 高知縣

高知縣 家屋被害

區	市 郡 別 分		高知市	安藝郡	香美郡	長岡郡	土佐郡	吾川郡	高岡郡	幡多郡	合計	
	流 失 (戸)	地震		0	8	0	0		0	550	8	566
地 盤 沈 下		21年度	不 明									
		22年度										
		23年度										
		24年度										
		25年度計										
地震		3,134	1,544	344	476		348	2,390	1,226	14,462		
破 壊 (戸)	地震		3,134	1,544	344	476		348	2,390	1,226	14,462	
	地 盤 沈 下	21年度	不 明									
		22年度										
		23年度										
		24年度										
		25年度計										
地震		830	300	0	0		0	1,150	420	2,710		
床 上 浸 水 (戸)	地震		830	300	0	0		0	1,150	420	2,710	
	地 盤 沈 下	21年度	不 明									
		22年度										
		23年度										
		24年度										
		25年度計										
地震		1,051	400	50	0		0	1,105	280	2,896		
床 下 浸 水 (戸)	地震		1,051	400	50	0		0	1,105	280	2,896	
	地 盤 沈 下	21年度	不 明									
		22年度										
		23年度										
		24年度										
		25年度計										

高知県 農作物被害

區	市郡別 分		高知市	安藝郡	香美郡	長岡郡	土佐郡	吾川郡	高岡郡	幡多郡	合計
	被害面積 (町歩)	地震			不			明			
地盤 沈下		21年度	2,338	931	486	1,523	123	1,080	4,534	1,980	12,995
		22年度	2,338	666	479	1,523	57	1,081	4,494	1,865	12,502
		23年度	2,147	472	355	1,455	25	1,080	4,044	1,213	10,791
		24年度	547	472	321	1,441	25	1,080	3,925	1,213	9,024
		25年度	547	472	321	1,441	25	1,072	917	1,213	9,008
		計	7,917	3,013	1,962	7,383	255	5,392	20,914	7,484	54,320
主穀 (米・麥) (石)	地震			不			明				
	地盤 沈下	21年度	28,065	10,175	3,835	18,255	1,485	12,960	58,920	23,760	157,455
		22年度	24,325	6,929	4,992	15,835	598	11,502	46,774	19,396	130,349
		23年度	20,628	4,536	3,420	13,968	240	10,368	38,832	11,652	103,644
		24年度	878	756	514	2,306	40	1,730	6,282	1,942	14,448
		25年度	790	680	463	2,075	36	1,552	5,643	1,747	12,986
		計	74,684	23,076	13,224	52,439	2,399	38,112	156,451	58,497	418,882
雑穀 (石)	地震			不			明				
	地盤 沈下	21年度	410	160	75	270	10	185	840	345	2,295
		22年度	410	115	75	270	5	185	790	325	2,175
		23年度	380	75	55	255	—	185	720	210	1,880
		24年度	90	75	50	250	—	185	700	210	1,560
		25年度	90	75	50	250	—	185	700	210	1,560
		計	1,380	500	305	1,295	15	925	3,750	1,300	9,470
野菜 (貫)	地震			不			明				
	地盤 沈下	21年度	446	184	94	302	22	214	964	394	2,620
		22年度	446	123	94	302	10	214	896	372	2,475
		23年度	426	92	70	290	10	214	806	242	2,150
		24年度	106	92	62	286	4	214	784	242	1,790
		25年度	106	92	62	286	4	212	782	242	1,786
		計	1,530	583	382	1,466	50	1,058	4,222	1,492	10,803

高知県 河川被害

區	市郡別 分	安藝	香美	長岡	高知	土佐	吾川	高岡	幡多	合	
		郡	郡	郡	市	郡	郡	郡	郡	計	
被害概況	ケ所	15	45	18	57	2	20	123	235	513	
	延長(m)	6,029	12,878	10,000	32,628	4,700	12,977	41,677	51,660	172,549	
被害額 (千圓)	地震によるもの	253,000	448,500	616	7,125,000	—	50,120	366,500	67,200	8,310,936	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		昭和23年度	145,700	79,200	138,000	577,000	8,420	251,000	351,000	174,900	1,725,220
		昭和24年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		昭和25年度	28,170	114,600	17,840	124,400	45,200	14,400	716,500	318,800	1,389,910
	小計	173,870	193,800	155,840	711,400	53,620	265,400	1,067,500	493,700	3,115,130	
合計	426,870	942,300	156,456	7,936,400	53,620	315,520	1,434,000	560,900	11,426,066		
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度	253,000	178,500	543	5,130,000	—	367,000	333,800	262,200	6,535,043	
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和23年度	145,800	38,900	115,900	79,200	8,440	161,000	212,900	159,800	921,940	
	昭和24年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和25年度	—	—	(未査定)	—	—	—	—	—	—	
合計	403,800	217,400	116,443	5,209,200	8,440	528,000	546,700	422,000	7,456,983		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)		81,760 20	130,440 60	12,809 11	4,584,026 88	6,746 80	105,600 20	371,756 68	333,333 79	5,626,540 75	
25年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)		327,040	86,960	103,634	625,104	1,694	422,400	174,944	88,667	1,830,443	
摘要		—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.175 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

高知県 道路被害

区	市郡別 別	安藝郡	香美郡	長岡郡	高知市	土佐郡	吾川郡	高岡郡	幡多郡	合計	
被害概況	ケ所	84	66	15	136	8	32	393	658	1,392	
	延長(m)	3,910	1,050	3,774	38,729	2,801	27,869	137,202	162,726	378,061	
被害額 (千圓)	地震によるもの	70,756	22,222	3,604	223,395	30,102	325,754	1,373,086	2,595,136	4,644,055	
	地盤沈下によるもの 小計	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		昭和23年度	1,316	3,914	657	147,949	2,583	4,269	145,549	76,810	382,047
		昭和24年度	—	2,688	—	19,417	794	1,750	14,995	2,701	42,345
		昭和25年度	—	—	7,457	54,703	—	44,100	181,294	118,671	406,225
合計	1,316	5,602	8,114	222,069	3,377	50,119	341,838	198,182	830,617		
合計	72,072	27,824	11,718	445,464	33,479	357,873	1,714,924	2,793,319	5,474,672		
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度	66,981	20,184	3,589	231,102	26,527	124,038	1,022,064	895,380	2,389,865	
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和23年度	112	—	587	52,928	2,164	3,594	107,518	59,840	220,743	
	昭和24年度	—	956	—	2,140	674	—	8,282	—	12,052	
	昭和25年度	—	—	(未査定)	—	—	—	—	—	—	
合計	67,093	21,140	4,176	286,170	29,365	127,632	1,137,864	955,220	2,628,660		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	51,662 77	14,164 67	2,150 51	223,213 78	29,071 99	122,527 96	1,035,456 91	324,775 34	1,802,998 69		
25年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	15,431	6,976	2,046	62,957	294	5,105	102,408	630,445	825,662		
摘要	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~39.610 24年~100.000 25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

高知県 都市被害

区	市郡別 分	安藝 郡	長岡 郡	高知 市	吾 川 郡	高岡 郡	幡 多 郡	合 計	
被害概況	ヶ所	12	3	24	1	11	19	70	
	延長(m)	—	—	—	—	—	—	—	
被害額 (千圓)	地震によるもの	—	—	24,596	7,579	—	862,189	894,364	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—
		昭和22年度	1,960	—	—	—	—	6,230	8,190
		昭和23年度	—	—	118,398	—	2,352	59,010	179,760
		昭和24年度	—	—	887,000	—	5,000	3,000	895,000
		昭和25年度	43,100	6,760	384,593	939	39,900	40,350	515,642
小計	45,060	6,760	1,389,991	939	47,252	108,590	1,598,592		
合計	45,060	6,760	1,414,587	8,518	47,252	970,779	2,492,956		
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度	—	—	—	—	—	—	—	
	昭和22年度	770	—	3,360	—	—	7,147	11,277	
	昭和23年度	—	—	41,493	—	2,352	22,400	66,245	
	昭和24年度	—	—	31,100	—	3,400	12,000	46,500	
	昭和25年度	6,162	2,608	41,300	660	12,766	18,168	81,664	
合計	6,832	2,608	117,253	660	18,518	59,715	205,586		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	1,913 23	1,617 62	63,317 54	198 30	12,777 69	27,469 46	107,291 52		
25年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	4,920	991	53,936	462	5,741	32,246	98,295		
摘要	—	—	—	—	—	—	—		

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100.000 25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

高知県 海岸被害

區	市郡別		安藝郡	香美郡	長岡郡	高知市	土佐郡	吾川郡	高岡郡	幡多郡	合計	
	ケ	所										
被害概況	延長(m)	6	4			14		4	41	19	88	
		2,610	4,089			5,678		2,915	8,022	6,761	30,073	
被害額 (千圓)	地震によるもの	2,360				548,977			28,586		579,923	
	地盤沈下によるもの 小計	昭和21年度										
		昭和22年度										
		昭和23年度	58,444	59,999			7,343		46,043	136,707	89,464	398,000
		昭和24年度										
		昭和25年度	40,527	10,770			19,933			16,418	76,565	164,213
合計	98,971	70,769			27,276		46,043	153,125	166,029	562,213		
合計	101,331	70,769			576,253		46,043	181,711	166,029	1,142,136		
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度	2,360				263,907			24,925		291,192	
	昭和22年度											
	昭和23年度		7,116			7,071		8,887	104,909	52,644	180,627	
	昭和24年度											
	昭和25年度					(未査定)						
合計	2,360	7,116			270,978		8,887	129,834	52,644	471,819		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	2,360 100	2,135 50			27,098 10		1,777 20	7,790 6	5,264 10		46,424 10	
25年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	0	4,981			243,880		7,110	122,044	47,380		425,395	
摘要												

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~5,981 22年~23,195 23年~69,610 24年~100,000 25年~100,000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

高知県 農耕地被害

市郡別 区分	高 知 市	安 藝 郡	香 美 郡	長 岡 郡	土 佐 郡	吾 川 郡	高 岡 郡	幡 多 郡	合 計	
被害概況	ヶ所 延長(町歩)	48 25,052	145 106,767	55 25,934	31 23,486	2 1,160	23 16,275	144 64,260	113 80,039	561 344,983
被害額 (千圓)	地震によるもの	1,551,550	1,233,275	125,769	506,435	4,652	69,713	1,094,594	595,595	4,963,784
	昭 和 21年度	362,691	37,895	10,124	82,654	—	89,876	254,626	136,780	974,646
	昭 和 22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	昭 和 23年度	5,261	11,319	—	3,970	—	1,134	931	3,324	25,939
	昭 和 24年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	昭 和 25年度	44,176	266,688	29,263	104,252	—	44,614	226,878	203,557	919,428
小計	412,128	315,902	39,387	190,876	—	135,624	482,435	343,661	1,920,013	
合計	1,964,678	1,549,177	165,156	697,311	4,662	205,337	1,349,220	939,256	6,883,797	
復 査 定 額 (千圓)	昭 和 21年度	1,914,241	1,271,170	135,893	589,089	4,662	159,588	134,922	732,375	4,941,940
	昭 和 22年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	昭 和 23年度	5,261	11,319	—	3,970	—	1,134	931	3,324	25,939
	昭 和 24年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	昭 和 25年度	—	—	—	(未 査 定)	—	—	—	—	—
合計	1,919,502	1,282,489	135,893	593,059	4,662	160,722	135,852	735,699	4,967,879	
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	940,556 49	346,272 27	33,973 25	177,918 30	4,662 100	33,752 21	40,756 50	154,497 21	1,732,386 35	
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	978,946	936,217	101,920	415,141	—	1,35,970	95,097	581,202	3,235,493	
摘 要	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69,610 24年~100.000 25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

高知県 漁港被害

市 郡 別 區 分		安藝 郡	香美 郡	高知 市	高岡 郡	幡 多 郡	合 計	
被害概況	ヶ 所	22	1	3	19	34	79	
	延長(m)	38,679	234	199	5,800	1,681	46,593	
被 害 額 (千圓)	地震によるもの	1,520,019	27,885	25,669	1,081,652	1,342,999	3,998,224	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—	—
		昭和22年度	—	—	—	—	—	—
		昭和23年度	25,600	—	1,092	121,940	2,275	151,907
		昭和24年度	—	—	—	—	—	—
		昭和25年度	200,000	—	—	150,000	—	350,000
	小計	225,600	—	1,092	271,940	2,275	501,907	
合計	1,746,619	27,885	26,761	1,353,592	1,345,274	4,500,131		
復 舊 査 定 額 (千圓)	昭和21年度	1,172,371	21,450	27,742	832,231	1,033,003	3,086,797	
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—	
	昭和23年度	20,440	—	—	94,360	1,750	116,550	
	昭和24年度	—	—	—	—	—	—	
	昭和25年度	—	—	(未査定)	—	—	—	
合計	1,192,811	21,450	27,742	926,591	1,034,753	3,203,347		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)		1,168,955 98	21,450 100	27,742 100	769,071 83	1,034,753 100	3,021,971 94	
25年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)		23,856	—	—	157,520	—	181,376	
摘 要		—	—	—	—	—	—	

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~6.981 22年~28.195 23年~69.610 24年~100,000 25年~100,000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

高知県 港湾被害

区	市郡別	安藝郡	香美郡	高知市	高岡郡	幡多郡	合計	
被害概況	ケ所	25	4	21	17	45	112	
	延長(m)	1,291	416	3,994	2,282	5,133	13,116	
被害額 (千圓)	地震によるもの	183,846	558	357,500	431,646	190,705	1,170,255	
	地盤沈下によるもの	昭和21年度	—	—	—	—	—	—
		昭和22年度	—	—	—	—	—	—
		昭和23年度	40,782	73,616	35,060	44,685	142,283	336,426
		昭和24年度	—	—	—	—	—	—
		昭和25年度	345,929	—	297,000	—	420,000	1,062,929
	小計	386,711	73,616	332,060	44,685	562,283	1,399,355	
合計	576,557	74,174	689,560	476,331	752,988	2,569,610		
復舊査定額 (千圓)	昭和21年度	136,236	386	244,902	289,032	136,498	787,044	
	昭和22年度	—	—	—	—	—	—	
	昭和23年度	14,615	56,629	31,874	34,374	109,451	246,943	
	昭和24年度	—	—	—	—	—	—	
	昭和25年度	—	—	(未査定)	—	—	—	
合計	140,841	57,015	276,776	323,406	235,949	1,033,987		
25年度末に於ける復舊済額と進捗率 (千圓・%)	88,730 63	8,552 15	265,705 96	281,363 87	127,412 54	771,762 75		
26年度以降に於ける復舊所要額 (千圓)	52,111	48,463	11,071	42,043	108,537	262,225		
摘要	—	—	—	—	—	—		

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の各年度の金額は物價指數を乗じて昭和25年度の金額に更正したものである(物價指數21年~5.981 22年~23.195 23年~59.610 24年~100.000 25年~100.000)
(國土綜合開發事務處の發表せる建設綜合價格指數表~昭和24年=100~による)

高知県市郡別被害集計表 (地震によるものと地盤沈下によるものの合計) (その1)

市郡別 区分	高知市	安藝郡	香美郡	長岡郡	土佐郡	吾川郡	高岡郡	幡多郡	合計
① 家屋(戸)	流失	0	8	0	0	0	550	8	566
	破壊	3,134	1,544	344	353	123	348	1,226	14,462
	床上浸水	850	300	0	0	0	0	420	2,770
	床下浸水	1,052	400	50	0	0	0	250	2,896
② 農作物	被害面積(畝)	7,917	3,013	1,962	7,383	255	5,392	7,484	54,320
	主穀減収(石)	74,684	23,076	13,224	52,439	2,399	38,112	156,451	418,882
③ 塩田	被害額(千円)	—	—	—	—	—	—	—	—
	復舊査定額(千円)	—	—	—	—	—	—	—	—
	復舊済額及復舊率(千円%)	—	—	—	—	—	—	—	—
	今後の復舊所要額(千円)	—	—	—	—	—	—	—	—
④ 河川	被害額(千円)	7,936,400	426,870	642,300	156,456	53,620	315,520	1,434,000	11,426,066
	復舊査定額(千円)	5,209,200	408,800	217,400	116,443	8,440	528,000	546,700	7,456,983
	復舊済額及復舊率(千円%)	4,584,096	81,750	120,440	12,809	6,746	105,600	371,756	5,626,504
	今後の復舊所要額(千円)	88	20	60	11	80	20	68	79
⑤ 道路	被害額(千円)	45,464	72,072	27,824	11,718	33,479	375,873	1,714,924	2,793,319
	復舊査定額(千円)	286,170	67,093	21,140	4,176	29,365	127,632	1,137,864	955,220
	復舊済額及復舊率(千円%)	223,213	51,662	14,164	2,130	29,071	122,527	1,035,456	324,775
	今後の復舊所要額(千円)	78	77	67	51	99	96	91	34
⑥ 砂防	被害額(千円)	—	—	—	—	—	—	—	—
	復舊査定額(千円)	—	—	—	—	—	—	—	—
	復舊済額及復舊率(千円%)	—	—	—	—	—	—	—	—
	今後の復舊所要額(千円)	—	—	—	—	—	—	—	—
⑦ 都市	被害額(千円)	1,414,587	45,060	—	6,760	—	8,518	47,252	970,779
	復舊査定額(千円)	117,253	6,832	—	2,608	—	660	18,518	59,715
	復舊済額及復舊率(千円%)	63,317	1,913	—	1,617	—	198	12,777	27,469
	今後の復舊所要額(千円)	54	28	—	62	—	30	99	46
⑧ 海岸	被害額(千円)	576,253	101,331	70,769	—	—	46,042	181,711	166,029
	復舊査定額(千円)	270,978	12,360	7,116	—	—	8,887	129,834	52,644
	復舊済額及復舊率(千円%)	27,098	2,360	2,135	—	—	1,777	7,790	5,264
	今後の復舊所要額(千円)	10	100	30	—	—	20	6	10
摘要	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の金額は各年度の被害額及復舊査定額に物價指數を乗じ昭和25年度の金額に更正して集計したものである。

(その2)

区 分	市 郡 別	高 知 市	安 藝 郡	香 美 郡	長 岡 郡	土 佐 郡	吾 川 郡	高 岡 郡	幡 多 郡	合 計
⑨ 農 耕 地	被 害 額 (千圓)	1,963,678	1,549,177	165,156	697,311	4,662	205,237	1,349,220	939,256	6,883,797
	復 舊 査 定 額 (千圓)	1,919,502	1,282,489	135,893	593,059	4,662	160,722	135,853	735,699	4,967,879
	復 舊 済 額 及 復 舊 率 (千圓%)	940,556 49	346,272 27	33,973 25	177,918 30	4,662 100	33,752 21	40,756 30	154,497 21	1,732,386 35
	今 後 の 復 舊 所 要 額 (千圓)	978,946	926,217	101,920	415,141	—	125,970	95,097	581,202	3,235,493
⑩ 漁 港	被 害 額 (千圓)	25,761	1,746,619	27,885	—	—	—	1,353,592	1,345,274	4,500,131
	復 舊 査 定 額 (千圓)	27,742	1,192,811	21,450	—	—	—	925,591	1,034,753	3,203,347
	復 舊 済 額 及 復 舊 率 (千圓%)	27,742 100	1,168,955 98	21,450 100	—	—	—	769,071 83	1,034,753 100	3,021,971 94
	今 後 の 復 舊 所 要 額 (千圓)	—	23,856	—	—	—	—	157,520	—	181,376
⑪ 灣	被 害 額 (千圓)	689,536	576,557	74,174	—	—	—	476,331	752,988	2,569,610
	復 舊 査 定 額 (千圓)	276,776	140,841	57,015	—	—	—	323,406	235,949	1,033,987
	復 舊 済 額 及 復 舊 率 (千圓%)	265,705 96	88,730 63	8,552 15	—	—	—	281,263 87	127,412 54	771,762 75
	今 後 の 復 舊 所 要 額 (千圓)	11,071	52,111	48,463	—	—	—	42,043	108,537	262,225
④ ⑪ 合 計	被 害 額 (千圓)	13,052,703	4,517,686	1,008,108	872,245	91,761	951,291	6,557,030	6,655,545	34,489,368
	復 舊 査 定 額 (千圓)	3,107,621	3,101,227	460,014	716,286	42,467	825,901	3,218,766	3,495,980	19,968,262
	復 舊 済 額 及 復 舊 率 (千圓%)	6,131,727 76	1,741,652 56	210,714 46	194,474 27	40,479 95	263,854 32	2,518,969 78	2,007,503 57	13,109,372 66
	今 後 の 復 舊 所 要 額 (千圓)	1,975,894	1,359,575	249,300	251,812	1,988	562,047	699,797	1,488,477	6,858,890
摘 要										

(註) 本表中被害額及復舊査定額欄の金額は各年度の被害額及復舊査定額に物價指數を乗じ昭和25年度の金額に更正して集計したものである

5 鐵 道

線 別		豫 讃 線						計	
區 分	種 別	路 盤 下	建造物 變 状	建 物 損 破	電 柱 損 折	電 柱 傾 斜	支 線 失 失		
被害 状況	種 別	M	ヶ 所	戸	本	本	本		
	箇 所 又 は 量	2,692	16	117	1	65	1		
被 害 額 (千圓)	地 震	—	—	—	—	—	—	—	
	地 盤 下	21年度	13,442	19,591	19,191	29	343	—	57,596
		22年度	—	—	—	—	21	—	21
		23年度	—	—	—	—	—	—	—
		24年度	—	—	—	—	—	—	—
		25年度	—	—	—	—	—	—	—
	計	13,442	19,591	19,191	29	364	—	57,617	
合 計	13,442	19,591	19,191	29	364	—	57,617		
復 舊 額 (千圓)	21年度	2,889	5,277	16,688	29	343	—	25,226	
	22年度	—	—	—	—	21	—	21	
	23年度	—	—	—	—	—	—	—	
	24年度	—	152	—	—	—	—	152	
	25年度	—	—	—	—	—	—	—	
	計	2,889	5,429	16,688	29	364	—	25,399	
25年度末の復舊率 (%)	42	78	100	100	100	—	80		
今後の復舊所要額 (千圓)	4,000	1,495	—	—	—	—	5,495		
摘 要									

続・鉄道被害

線別		高 徳 線							
區 分	種 別	路 盤 下	建 造 物 變 狀	橋 梁 變 狀	建 破 物 損	電 柱 傾 斜	計	路 盤 下	
被害状況	箇所又は量	M 850	ヶ所 1	ヶ所 1	戸 30	本 35		M 220	
被 害 額 (千圓)	地震	—	—	—	—	—	—	—	
	地 盤 沈 下	21年度	1,716	4,290	143	4,934	186	11,269	1,001
		22年度	—	—	—	—	4.5	4.5	—
		23年度	—	—	—	—	—	—	—
		24年度	—	—	—	—	—	—	—
		25年度	—	—	—	—	—	—	—
	計	1,716	4,290	143	4,934	190.5	11,273.5	1,001	
合 計	1,716	4,290	143	4,934	190.5	11,273.5	1,001		
復 舊 額 (千圓)	21年度	915	329	143	4,276	186	5,849	229	
	22年度	—	—	—	—	4.5	4.5	—	
	23年度	—	—	—	—	—	—	—	
	24年度	—	—	—	—	—	—	—	
	25年度	—	—	—	—	—	—	—	
計	915	329	143	4,276	190.5	5,853.5	229		
25年度末の復舊率 (%)	100	100	100	100	100	100	100		
今後の復舊所要額 (千圓)	—	—	—	—	—	—	—		
摘 要									

		小 松 島 線						
電 柱	支 線	計	路 盤	建造物	袖石垣	建 物	電 柱	計
傾 斜	流 失		沈 下	状 状	状 状	損 損	斜 斜	
本	本		M	ヶ所	ヶ所	戸	本	
35	2		360	1	3	20	2	
186	14	51,509	1,044	715	143	3,289	14	5,205
10.5		14						
19.65	14	51,523	1,044	715	143	3,289	14	5,205
196.5	14	51,523	1,044	715	143	3,289	14	5,205
186	14	24,396	386	329	587	2,846	14	4,162
10.5		14						
196.5	14	24,410	386	329	587	2,846	14	4,162
100	100	100	100	100	100	100	100	100
					587			

続・鉄道被害

線別 区分		土 讃 線							
被害状況	種別	路盤下	建造物 變状	落石	橋梁破 損變状	道床 流失	路線水 浸	建築限界 障	
	箇所又は 數量	M 5,780	ヶ所 8	ヶ所 2	ヶ所 2	M 24,000	M 5,640	ヶ所 100	
被害 額 (千圓)	地震	—	—	—	—	—	—	—	
	地盤 沈下	21年度	23,338	7,822	14	3,003	25,597	200	—
		22年度	—	—	—	—	—	—	—
		23年度	—	—	—	—	—	—	—
		24年度	—	—	—	—	—	—	—
		25年度	—	—	—	—	—	—	—
	計	23,338	7,822	14	3,003	25,597	200	—	
合計	23,338	7,822	14	3,003	25,597	200	—		
復 舊 額 (千圓)	21年度	6,206	2,631	29	286	8,080	100	—	
	22年度	1,243	—	—	—	—	—	—	
	23年度	310	—	—	—	—	—	—	
	24年度	—	—	—	—	—	—	—	
	25年度	397	—	—	—	—	—	—	
計	8,156	2,631	29	286	8,080	100	—		
今後の復舊所要 額 (千圓)	19	100	100	100	100	100	100		
25年度末の復舊 率 (%)	43,843	—	—	—	—	—	—		
摘 要									

